

Dec. 1914

(80)

INTERNATIONAL PROSECUTION SECTION

EVIDENTIARY DOCUMENT NUMBER 1914

TITLE: "Examples of Chemical Warfare in The China Incident",
booklet published by NARSHINO Army School

Table of Contents

SOURCE: SAGAMI Army Arsenal

MICROFILMING

Document 1914 Source: SAGAMI Army Arsenal

has been microfilmed on 21 Oct 1948 for
permanent historical record.

(None) (Part) of this document had been extracted for court use.

F. MATTISON
Files Unit
Document Division

校長

秘

校附支那事變

副官

ニ於ケル

EX # 1914

1914

S.A. 10066B

Part 2

31

Handwritten signature
May 29 3

化學戰例証集

陸軍習志野學校案



序

本例註集ハ支那事變ニ於ケル化學戰取例中特異ノモノヲ修條シ始
メテ圖解ニ依リ簡潔ニ教訓ヲ闡明シ以テ軍隊ノ現況ニ即應スル瓦
斯用法待ニあか筒ノ輕快機敏ナル用法ノ具現實行ニ變セントスル
モノナリ

敘述ノ難敵及内容ノ檢討共ニ其ノ餘地少シトセザルモ作戰ニ習情
ニ戦力ノ補備増強ヲ緊切トスル現時局ニ對處シ現地軍隊ノ參考ト
ナラハ幸甚ナリ

若シ夫ハ戰場ヲ異ニシ狀況變化スルニ於テハ本例註中一版相違ズ
ル運用ノ要諦ヲ把握シ濃刺タル企圖心ト遠慮ヲ許サザル創意トニ依リ
以テ防護ノ空隙ニ乘ジ以テ其ノ妙法ニ透徹セザルベカラズ

昭和十七年十一月三日

1914

支那事變 化學戰例証集
ニ於ケル

目次

緒言

第一 障地攻撃

其ノ一 あか及煙

(一) あか筒ノ放射

一 敵障地ノ正面ニ放射シテ主力ノ側面攻撃ヲ容易ナラシメタル例

二 敵障地ノ側面ニ放射シテ主力ノ正面攻撃ヲ容易ナラシメ敵ヲ掃捉殲滅シタル例

例

三 敵ノ側方障地ニ對シあか筒ヲ使用シテ主力ノ正面攻撃ヲ容易ナラシメタル例

例

四 あか筒ヲ眼達前ニ放射シテ縱深障地ヲ一舉ニ突破シタル例 (其ノ一、其ノ

二)

(二) あか筒ノ投射

五 あか筒ヲ投射シテ敵ノ側防機關銃ヲ制壓シ第一線ノ陣内突破ヲ容易ナラシメタル例

六 あか筒ヲ投射シテ側面ヨリ進襲スル敵ヲ制壓シ主力ノ攻撃ヲ容易ナラシメタル例

(三) あか筒射撃

七 少數ノ山砲あか筒射撃ニヨリ堅陣ニ捺シテ頑敵ヲ潰亂セシメ火力及白兵ト相俟ツテ之ヲ捕捉殲滅シタル例

八 あか筒射撃ニヨリ深隙地ノ突破ヲ容易ナラシメタル例

(四) あか筒及あか筒ノ大規模使用

九 獨立師團ガあか筒及あか筒ヲ稍々大規模ニ使用シテ敵ヲ包圍殲滅シタル例

一〇 機動作戦中軍ノ外翼師團ガあか筒及あか筒ヲ稍々大規模ニ使用シテ敵陣突破ヲ容易ナラシメタル例

一一 あか筒ノ大規模放射ニ於テ成功ヲタラセモ局地氣象ノタラシ局所ニ響應ノ進歩

及進歩ヲ生シ成果利用部隊ノ行動ヲ妨害シタル例

二 砲兵ノ大規模放射ニ於テ成功シタルモ、局地氣象ノ及
及海軍ノ生シテ成果利用部隊ノ行動ヲ妨害シタル例

(五) 煙

- 一 小發煙筒トあか筒ヲ併用シ狹正面ヲ以テ敵陣ノ中央ヲ突破シタル例
- 二 一部ノ火力及煙ヲ巧ニ併用シ敵ヲ牽制歎驅シテ主力ノ攻撃ヲ容易ナラシメタル例
- 三 小發煙筒ヲ連續使用シテ第一線ノ隘路通過ヲ容易ナラシメタル例
- 四 砲兵ヲ交互ニ躍進セシメテ山頂ニ煙幕ヲ構成シテ敵火ノ損害ヲ避ケテ谷地内ヲ通過シタル例

(六) 失敗ノ例

- 一 毒煙ノ效力ニ疑念ヲ抱キ成果ノ利用不十分ナリシ例
- 二 局地氣象ノ研究不十分ナリシタメ毒煙ガ目標外ニ流動シ放射失敗シタル例
- 三 放射部隊ノ掩護不十分ナリシタメ側背ヨリ敵ノ奇襲ヲ受ケ放射ヲ困難ナラシメタル例
- 四 放射ニ關スル通信連絡不徹底ナリシタメ過早ニ點火シタル例

其ノ二
さい

二 砲か筒ノ大規模放射 於テ成功シタルモ局地無事ノタメ局所ニシテ砲ノ
及掃射ヲ生シ成呆利用部隊ノ行動ヲ妨害シタル例

二 砲か筒ヲ以テ敵陣地内ノ要點ヲ善化シ敵ニ甚大ナル損害ヲ與ヘタル例

二 砲か筒ヲ以テ共進軍ノ根據地ヲ善化シ殲滅的打撃ヲ與ヘタル例

二 砲か筒、あか弾及あか筒ヲ巧ニ併用シテ小部隊ヲ以テ敵陣地ノ中央ヲ突破
シタル例

二 酷寒時砲か筒ノ凍結ノタメ戰機ヲ逸シタル例

第二 遭 遇 戦

二 討伐隊ガ優勢ナル敵ニ遭遇シタル際小數ノあか筒ヲ使用シ甚大ナル損害ヲ
與ヘタル例

二 主力ニ追及中ノ部隊ガ不意ニ敵ニ遭遇シタル際あか筒ヲ放射シテ之ヲ潰走
セシメタル例

第三 夜間攻撃

其ノ一 あか筒ノ放射

二 夜間あか筒ヲ放射シテ縱深陣地ヲ突破シタル例

二 砲か筒ヲ放射シテ側方ノ敵ヲ制壓シ正面ノ敵ニ對スル夜襲ヲ容易ナラシメ

二七 あか筒ヲ放射シテ側方ノ敵ヲ制壓シ其面ノ敵ヲ...

タル例

二八 將校斥候ヲ夜暗ヲ利用シテ敵ノ背後ニ潛入シあか筒ヲ以テ奇襲シ主力ノ夜間攻撃ヲ容易ナラシメタル例

三

其ノ二 あか筒ノ投射

二九 夜間攻撃ニ於テあか筒ヲ投射シテ敵陣ノ奪取ヲ容易ナラシメタル例

其ノ三 煙

三〇 月明時發射發煙筒ヲ隱進的ニ使用シテ敵前至近ノ距離ニ近迫シタル後あか筒ヲ放射シ夜襲シタル例

其ノ四 失敗ノ例

三一 夜間ニ於ケル放射位置ノ選定不適當ナリシタメ點火ノ際敵火ヲ吸收シテ放射部隊ノ損害甚大ナリシ例

第四 防禦

其ノ一 あか及煙

三二 障地ノ間隙ヨリ侵入セル敵ヲ對シあか筒ヲ火力及白兵ノ協同ニ依リ之ヲ

二七 あか筒ヲ放射シテ側方ノ敵ヲ制壓シ正面ノ敵ニ對シテ包圍攻撃ヲ施スル例

捕捉殲滅シタル例

三三 陣地前ノ死角内ニ固着セシ敵ニ對シテあか筒ヲ投射シテ殲滅的打撃ヲ與ヘタル例

三四 僅少ノあか筒ヲ放射シテ兵力ノ劣勢ヲ補ヒ優勢ナル敵ニ對シテ長時間陣地ヲ確保シ遂ニ敵ノ攻撃企圖ヲ挫折セシメタル例

三五 あか筒ノ一斉發射台ヲ使用シ少數ノ人員ヲ以テ優勢ナル敵ノ包圍攻撃ヲ頓挫セシメタル例

三六 敵ノ包圍下ニ在リテ分隊ニ對シテあか筒ヲ以テ彼我共ニ包圍シ危急ヲ救ヒタル例

三七 發射發煙筒ト小あか筒トヲ連發使用シテ效果甚大ナリシ例

其其ノ二

- 三八 さい刺ノ應用爆撒ニ依リ陣地前ノ要點ヲ封鎖シテ效果大ナリシ例
- 三九 さい彈射撃ニ依リ遮蔽陣地ニ在リテ遂成ヲ逞クシウツアリシ敵砲兵ヲ沈黙セシメタル例

四〇 さい彈反あか彈ヲ稍々大規模ニ使用シ優勢ナル敵ノ包圍攻撃ヲ頓挫セシメタル例

第五 追撃及戰場離脱

其ノ一 あか

四一 騎兵隊ガ敵ヲ急追シテあか筒ヲ放射シ之ヲ捕捉殲滅シタル例

四二 あか彈射撃ニ依リ敵ノ收容部隊ヲ迅速ニ撃退シ退却中ノ敵主力ヲ捕捉殲滅シタル例

シタル例

四三 毒氣ノ制壓效力ト遮蔽效果ヲ併用シテ戰場離脱ヲ容易ナラシメタル例

其ノ二 さ い

四四 さい筒ヲ以テ敵進路ノ要點ヲ封鎖シテ部隊ノ撤退ヲ容易ナラシメタル例

第六 特殊地形ニ於ケル戰闘

其ノ一 山地ノ戰闘

四五 谷風ノ特性ヲ利用シテあか筒ヲ放射シ敵陣地ヲ奪取シ敵ニ甚大ナル損害ヲ與ヘタル例

四六 山風ノ特性ヲ利用シテ山頂ヨリあか筒ヲ放射シテ敵ノ攻隊全圖ヲ挫折セシメタル例

四七 山頂ヨリあか筒ヲ吊リ下グ攻隊前進中ノ敵ヲ潰亂セシメタル例

其ノ二 河川ノ戦闘

四八 渡河攻隊ニ於テあか筒ヲ投射シテ敵ヲ捕捉殲滅シタル例

四九 迫撃砲ノあか筒射撃ニ依リ友軍ノ敵前渡河ヲ容易ナラシメタル例

五〇 あか筒及あか筒ヲ大規模ニ使用シテ軍ノ敵前渡河ヲ容易ナラシメタル例

其ノ三 住民地ノ戦闘

五一 村落攻隊ニ於テあか筒ノ急襲的投射ト火力及白兵ノ密接ナル協調ニ依リ敵ヲ捕捉殲滅シタル例

五二 あか筒ヲ放射シ城壁ノ攻隊ヲ容易ナラシメタル例

其ノ四 洞窟ノ戦闘

五三 洞窟内ニ潜伏スル敵ニ對シ發射あか筒ヲ使用シテ之ヲ捕捉殲滅シタル例

第七 敵ノ游撃隊ニ對スル自衛戦闘

五四 輸送部隊ガ少數ノあか筒ヲ巧ニ使用シテ優勢ナル敵ノ游撃隊ヲ擊退シタル

例

五五 軍通信線ノ銃前哨ガ僅少ノ發射あか筒ヲ以テ敵ノ游撃隊ヲ擊退シ通信線ノ補修ヲ容易ナラシメタル例

五六 さい刺ノ應用爆撒ニ依リ敵游撃隊ノ軌跡ナル通信線ノ破壊企圖ヲ挫折セシメタル例

緒言

今ヤ支那軍ハ皇軍ノ精銳殊ニ其ノ優良裝備ニ抗シ得ズ我ガ眞面目ノ攻撃ニ對シテハ巧ニ之ヲ交通不便ナル山地等ニ退避シ或ハ之ヲ主要進路外ニ避ケ我ガ進攻作戰後其ノ主力ヲ反轉スルニ至ルカ或ハ某正面ニ我ガ兵力ノ減少ヲ察セリト見ルヤ其ノ數ヲ賴ンテ逆襲シ我ガ戦力ノ消耗ヲ策シツツアル傾向アリ

之ガ對策トシテハ我ガ進攻作戰ニ方リテハ其ノ企圖秘匿ヲ絶對ノ條件トシ一度之ヲ決行スルヤ卓拔ナル企圖ノ下ニ神速果敢ナル機動ヲ以テ徹底的戰場捕捉ノ殲滅戰ヲ遂行シ敵ノ抗戰意志ヲ根底ヨリ挫折スルコト緊要ナリ此ノ際廣大ナル地域ヲ有スル敵ニ對シ土地ヲ占領スルノミヲ以テシテハ其ノ成果僅少ナルコト多カルベシ之ガ爲化學戦力ヲ行施スルニ方タテハ特ニ左記著意ヲ緊要トス

一 編制裝備

歩兵ハ發射(小)「あか」筒同發煙筒及中「あか」筒等

ヲ隨時携行シ又各大(中)隊ニハ「あか」筒投射機ヲ裝備ス
其ノ他ノ部隊ニモ適宜自衛用トシテ此等ヲ裝備携行セシメ以テ
個々ノ部隊ニ相當ノ突破力ト自衛戰鬪力トヲ具備セシム

二 企圖ノ秘匿欺騙

大ナル正面ヲ以テスル整正ノ攻撃ヲ行フニ方ヲテハ特ニ企圖ノ
欺騙秘匿ニ勉メ敵ヲシテ我ガ攻撃ニ先ダテ退避セシメザルコト
最モ緊要ナリ

三 攻撃要領

1. 要線ニ沿ヒ楔狀的攻撃ニヨリテ敵ヲ戰場ニ捕捉スルノ態ヲ
占メタル後俄然正面ヨリ攻勢ニ前進ス(擲圖第一参照)
2. 或ハ道路ニ沿ヒ陽ニ追撃シ途中急遽側方ニ反轉シテ路外ノ
敵ヲ掃滅ス(擲圖第一参照)
3. 或ハ一部隊ヲ以テ敵線内ニ突進的ニ攻撃セシメ茲ニ敵兵力ヲ
牽制消耗スルノミナラズ適時有力部隊ヲ以テ側方ヨリ之ニ協

カシ捕提殲滅戦ヲ行ヘシム（挿圖第二参照）

註ノ2.3.共其ノ著想ハ支隊、兵團ヨリ軍ニ至ル各部隊ノ指揮運

用ニ適應スベク又特ニ一部ノ穿貫的攻撃ニ方リテハ化兵ノ利用ニ

リ兵力ノ弱少ヲ補ヒ突破力ヲ増強ス

4. 主力ノ進攻作戦ニ方リ後方要地ノ守備兵力ニハ特ニ致死劑及

持久劑等ヲ豊富ニ使用シテ敵ノ戦力ヲ消耗セシム

5. 進攻作戦後ノ撤兵ニ方リテハ右項同様殘置部隊ヲシテ敵兵力

ノ牽制消耗ニ任ゼシムルト共ニ主力ハ隨時反轉シ之ト協力シ

テ殲滅戦ヲ遂行ス（挿圖第三参照）

以下列記スル戦列ハ某敵線ヲ突破シ或ハ某陣地ヲ攻略シ又ハ

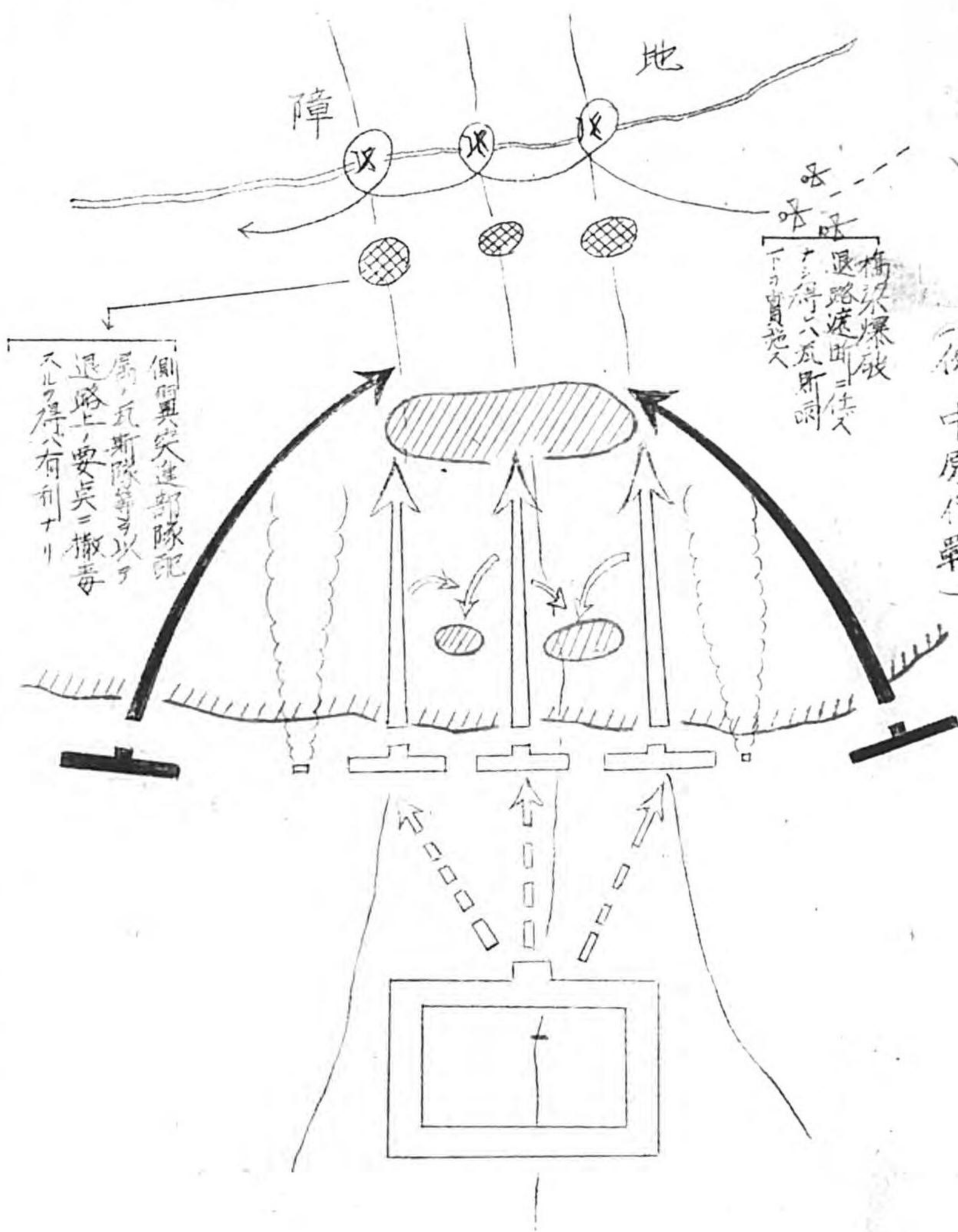
單ニ敵ヲ擊退シタル等ヲ例少カラザルヲ以テ此等ヲ巧ニ綜合

運用シテ常ニ彼上ノ如キ捕捉殲滅戦ヲ指導誘起スルノ策案ヲ

樹ツルコト最モ緊要ナリ

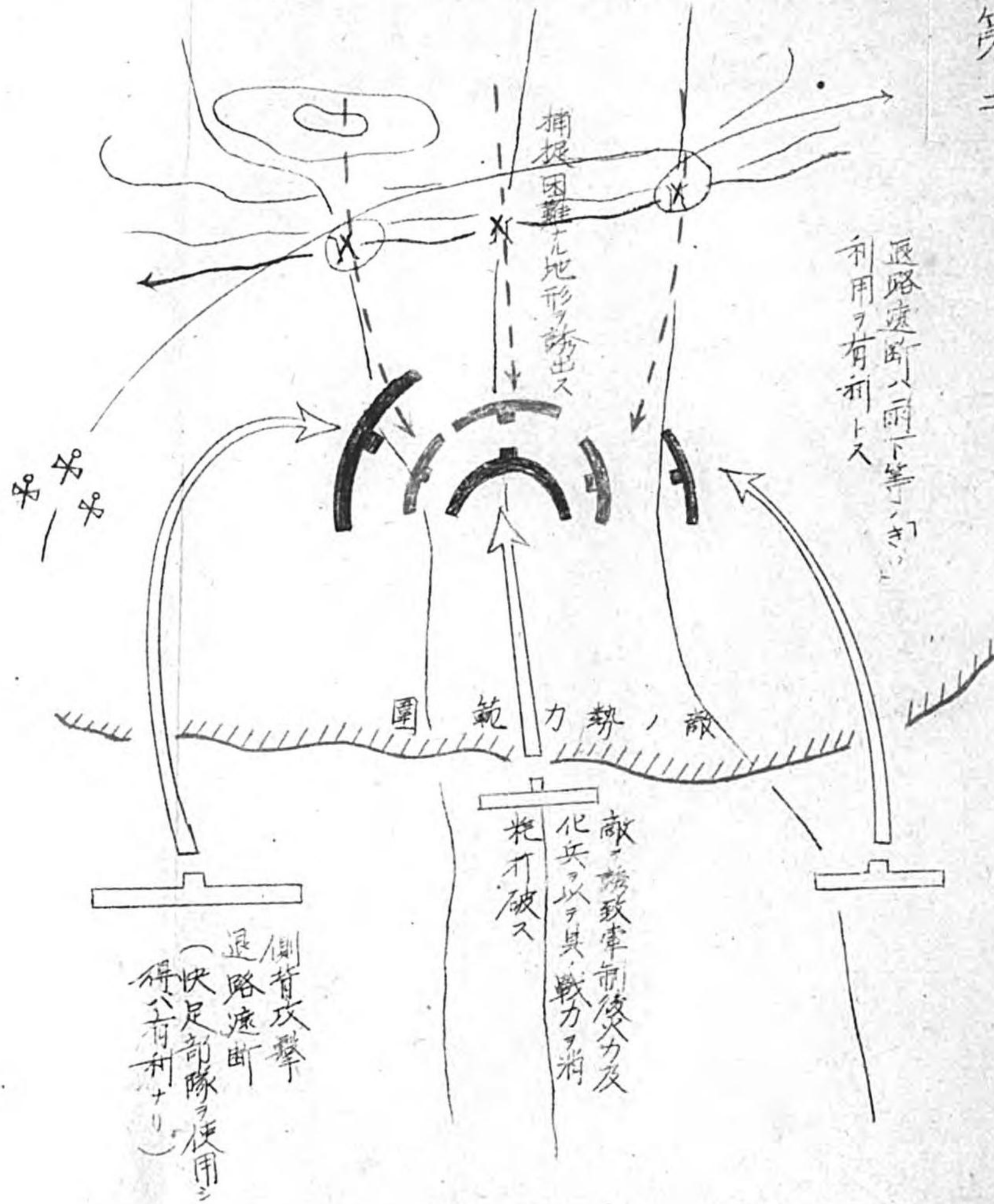
梯圖第一

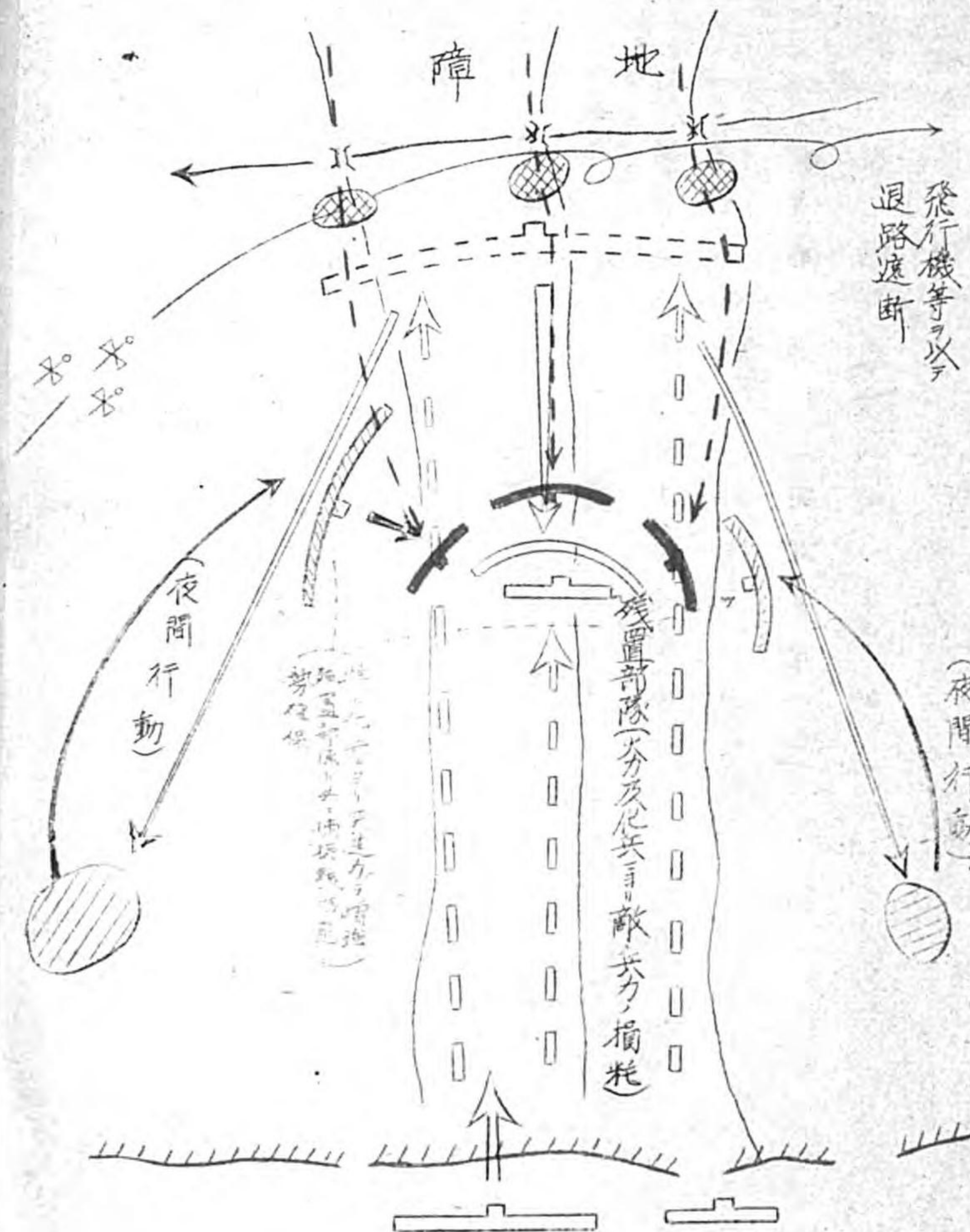
(例中原作戰)



挿圖第二

錯雜困難之山地





挿圖第三

第一 陣地攻撃

其ノ一 あか及煙

(一) あか筒ノ放射 (例一——四)

(二) あか筒ノ投射 (例五——六)

(三) あか弾射撃 (例七——八)

(四) あか筒及あか弾大規模使用 (例九)

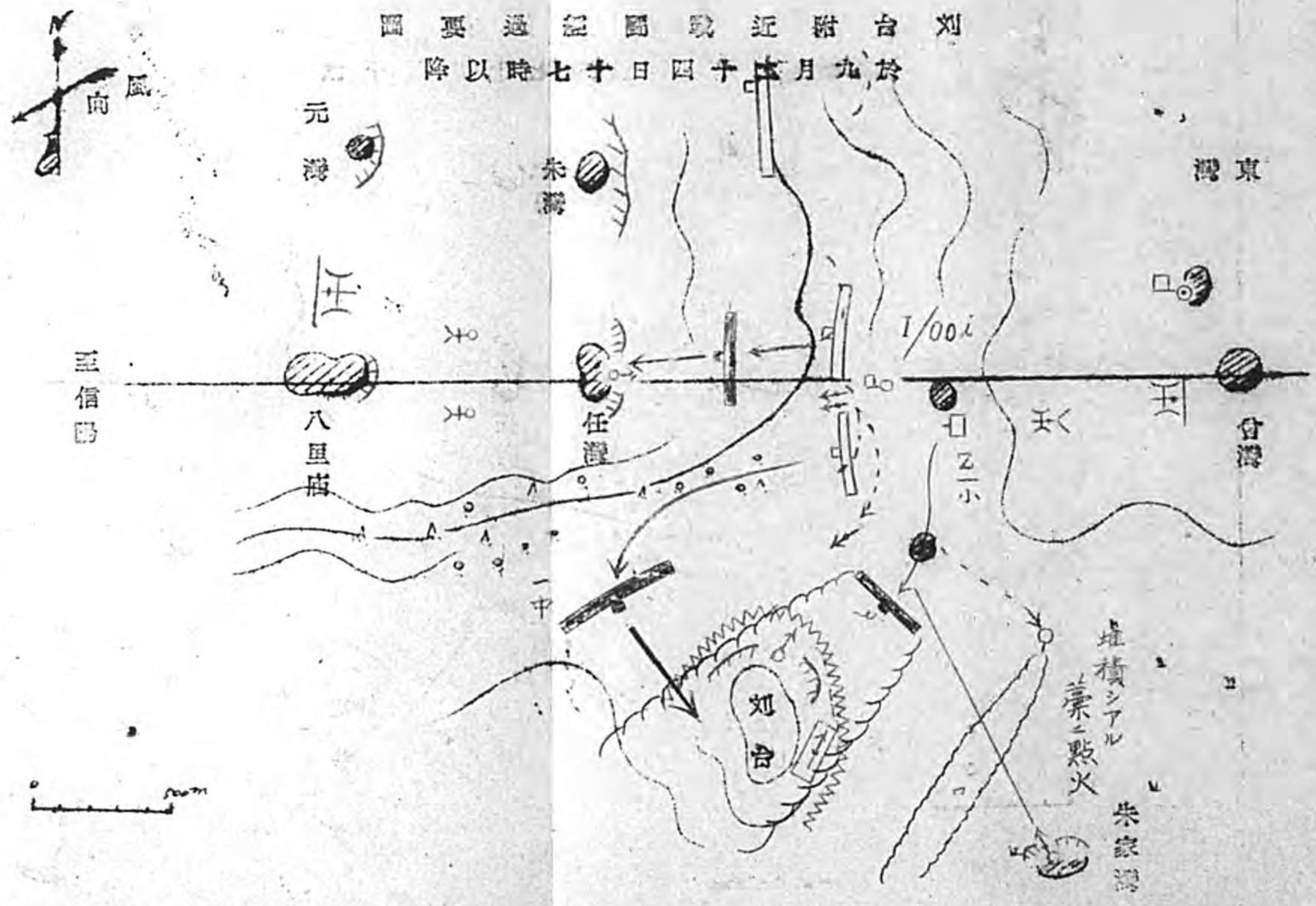
(五) 煙 (例一二——一五)

(六) 失敗ノ例 (例一六——一九)

其ノ二 きい (例二〇——二三)

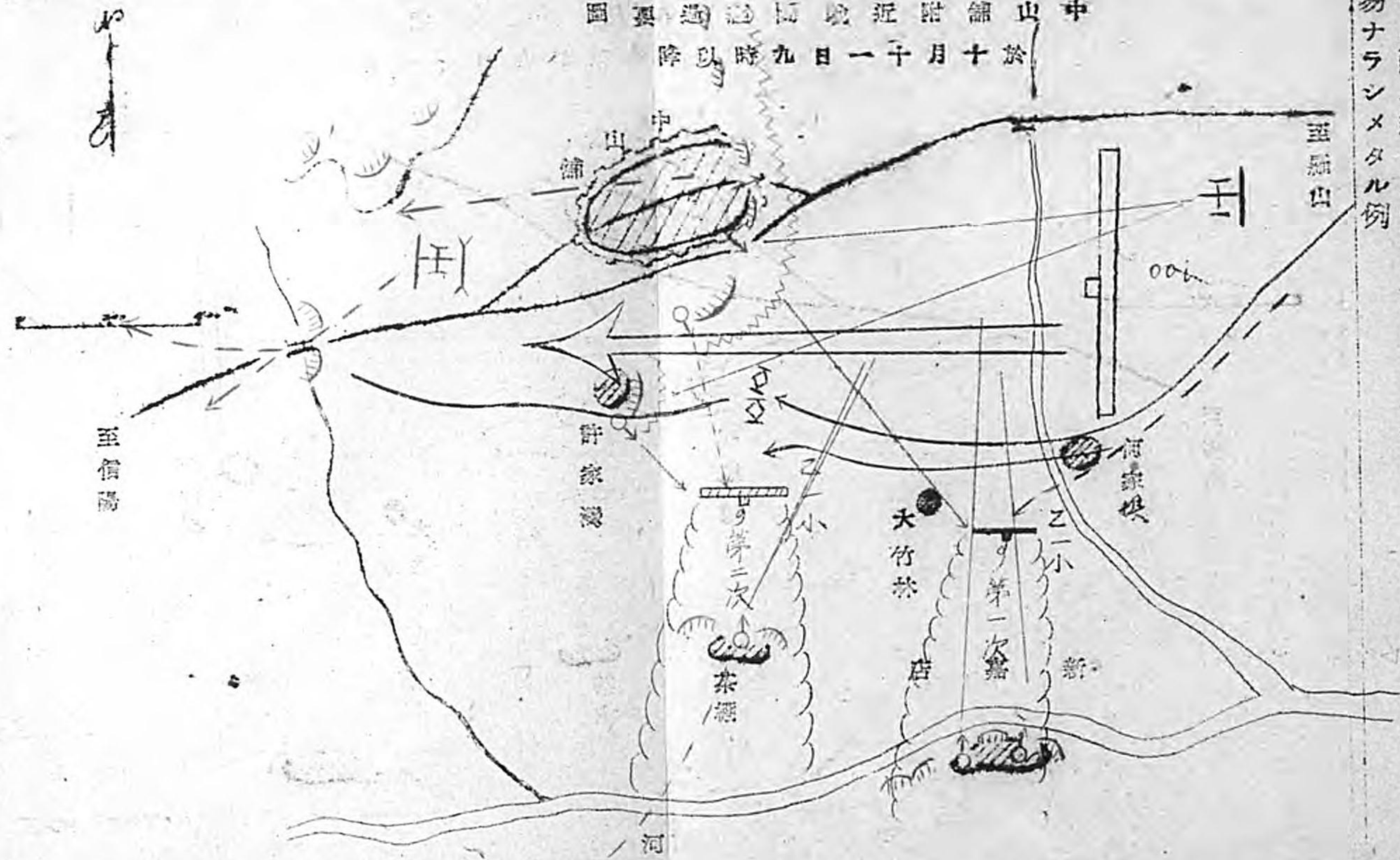
一〇敵陣地ノ正面ヨリ放射シ主力ノ側面攻撃ヲ容易ナランメタル例

訓	敵	要概ノ経過圖取	況狀ノ般一
<p>一 砲撃ノ効果ニシテ少ク堅固ナラズ</p> <p>二 砲撃ノ効果ニシテ少ク堅固ナラズ</p> <p>三 砲撃ノ効果ニシテ少ク堅固ナラズ</p> <p>四 砲撃ノ効果ニシテ少ク堅固ナラズ</p> <p>五 砲撃ノ効果ニシテ少ク堅固ナラズ</p> <p>六 砲撃ノ効果ニシテ少ク堅固ナラズ</p> <p>七 砲撃ノ効果ニシテ少ク堅固ナラズ</p> <p>八 砲撃ノ効果ニシテ少ク堅固ナラズ</p> <p>九 砲撃ノ効果ニシテ少ク堅固ナラズ</p> <p>十 砲撃ノ効果ニシテ少ク堅固ナラズ</p>	<p>一 砲撃ノ効果ニシテ少ク堅固ナラズ</p> <p>二 砲撃ノ効果ニシテ少ク堅固ナラズ</p> <p>三 砲撃ノ効果ニシテ少ク堅固ナラズ</p> <p>四 砲撃ノ効果ニシテ少ク堅固ナラズ</p> <p>五 砲撃ノ効果ニシテ少ク堅固ナラズ</p> <p>六 砲撃ノ効果ニシテ少ク堅固ナラズ</p> <p>七 砲撃ノ効果ニシテ少ク堅固ナラズ</p> <p>八 砲撃ノ効果ニシテ少ク堅固ナラズ</p> <p>九 砲撃ノ効果ニシテ少ク堅固ナラズ</p> <p>十 砲撃ノ効果ニシテ少ク堅固ナラズ</p>	<p>一 砲撃ノ効果ニシテ少ク堅固ナラズ</p> <p>二 砲撃ノ効果ニシテ少ク堅固ナラズ</p> <p>三 砲撃ノ効果ニシテ少ク堅固ナラズ</p> <p>四 砲撃ノ効果ニシテ少ク堅固ナラズ</p> <p>五 砲撃ノ効果ニシテ少ク堅固ナラズ</p> <p>六 砲撃ノ効果ニシテ少ク堅固ナラズ</p> <p>七 砲撃ノ効果ニシテ少ク堅固ナラズ</p> <p>八 砲撃ノ効果ニシテ少ク堅固ナラズ</p> <p>九 砲撃ノ効果ニシテ少ク堅固ナラズ</p> <p>十 砲撃ノ効果ニシテ少ク堅固ナラズ</p>	



訓	敵	要 概 / 過 程 圖 戰	況 狀 ノ 般 一
射ヲ受ケザル如ク注意	一 陣地攻撃ニ方テ 二 陣地攻撃ニ方テ 三 陣地攻撃ニ方テ 四 陣地攻撃ニ方テ 五 陣地攻撃ニ方テ 六 陣地攻撃ニ方テ 七 陣地攻撃ニ方テ 八 陣地攻撃ニ方テ 九 陣地攻撃ニ方テ 十 陣地攻撃ニ方テ	一 陣地攻撃ニ方テ 二 陣地攻撃ニ方テ 三 陣地攻撃ニ方テ 四 陣地攻撃ニ方テ 五 陣地攻撃ニ方テ 六 陣地攻撃ニ方テ 七 陣地攻撃ニ方テ 八 陣地攻撃ニ方テ 九 陣地攻撃ニ方テ 十 陣地攻撃ニ方テ	一 陣地攻撃ニ方テ 二 陣地攻撃ニ方テ 三 陣地攻撃ニ方テ 四 陣地攻撃ニ方テ 五 陣地攻撃ニ方テ 六 陣地攻撃ニ方テ 七 陣地攻撃ニ方テ 八 陣地攻撃ニ方テ 九 陣地攻撃ニ方テ 十 陣地攻撃ニ方テ

中山麓附近の戦況概略
 於十月十一日九時以降

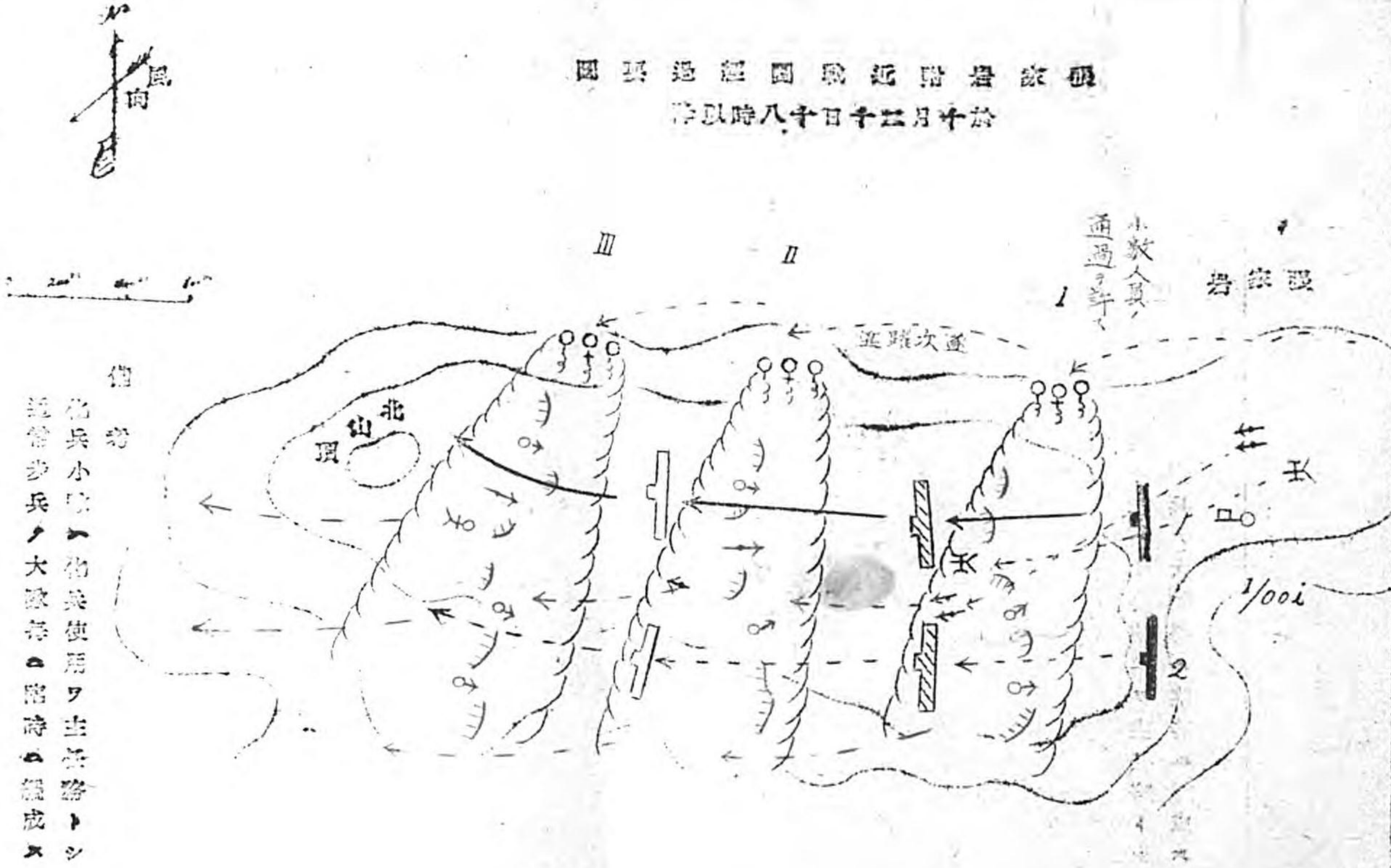


我ガ側面ニ進出セル敵ニ對シテ
 正面攻撃ヲ容易ナラシメタル例

一、敵軍の進路は、北東から南西へ向かって進出した。敵軍は、北東から南西へ向かって進出した。敵軍は、北東から南西へ向かって進出した。	二、敵軍の進路は、北東から南西へ向かって進出した。敵軍は、北東から南西へ向かって進出した。敵軍は、北東から南西へ向かって進出した。	三、敵軍の進路は、北東から南西へ向かって進出した。敵軍は、北東から南西へ向かって進出した。敵軍は、北東から南西へ向かって進出した。
---	---	---

一、敵軍の進路は、北東から南西へ向かって進出した。敵軍は、北東から南西へ向かって進出した。敵軍は、北東から南西へ向かって進出した。

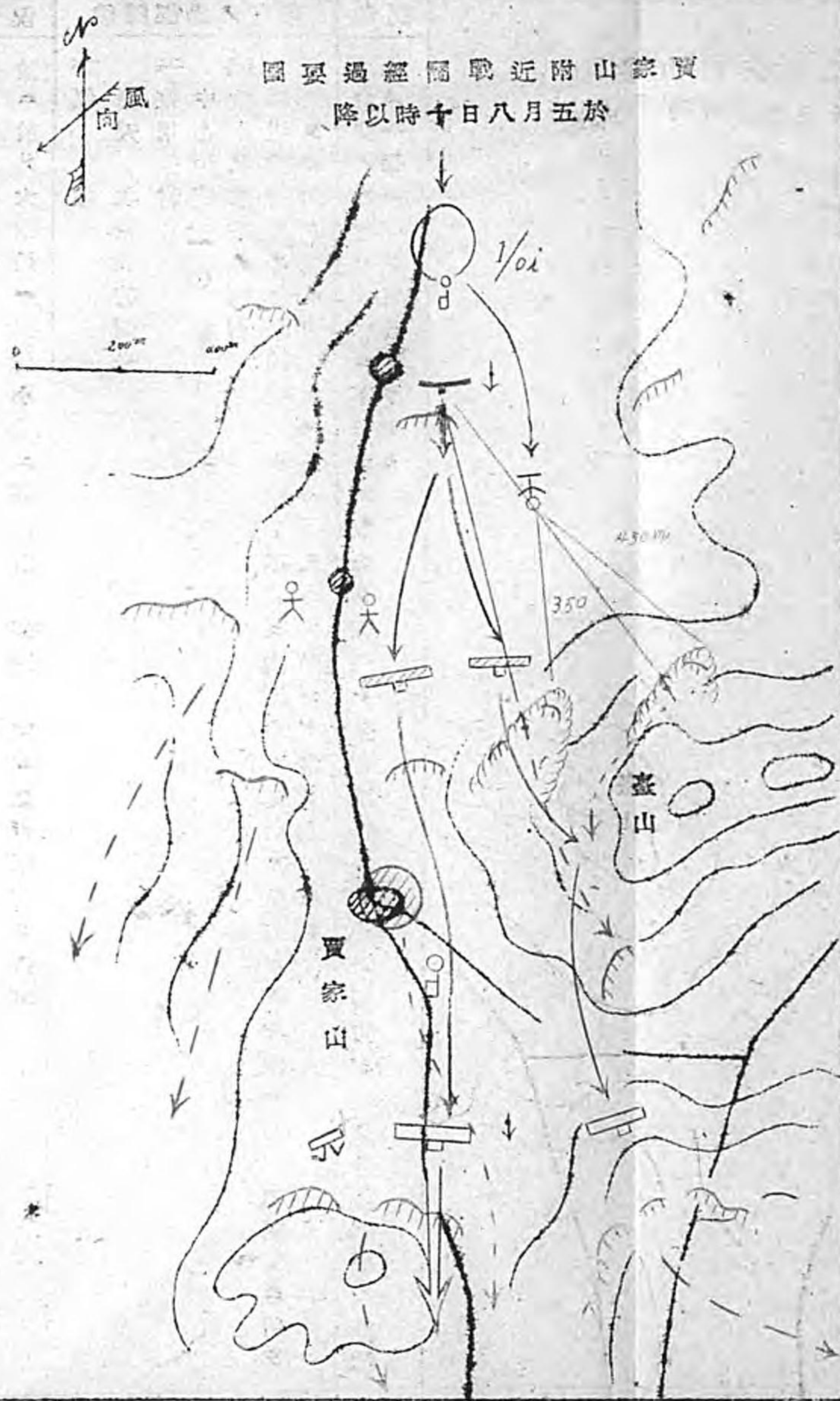
敵軍の進路を示す地図
 昭和二十二年十月二十八日



北山頂
 中山頂
 南山頂

1/1000

買家山附近戰局經過要圖
於五月八日十時以降



一 概況

甲支隊ノ前衛タル1/oi五月八日拂曉買家山北方陸路附近ノ敵第一線陣地ヲ突破シ陣内深ク突進中壺山附近ノ既設陣地ニ據ル側防機關銃ヲ經射ヲ受ケ第一線中隊ノ敵前ニ○○米ノ線ニ於テ攻撃一時頓挫セリ
茲ニ於テ大隊長ニ投射小隊ノ輕便投射機四門ヲ以テ之ヲ制壓ヲ命ズ

一 氣象

曇天 北東風約四米

二 使用資材

中あか筒一〇

三 效果及成果ノ利用

輕便投射機ノ急襲的投射ニ依リ不意ニ濃厚ナル瓦斯ヲ吸入シタル敵軍周章狼狽爲ル所ヲ知ラズ此ノ機ニ乘リ第一線ニ突入シテ殆ンド之ヲ殲滅セリ

二 敬訓

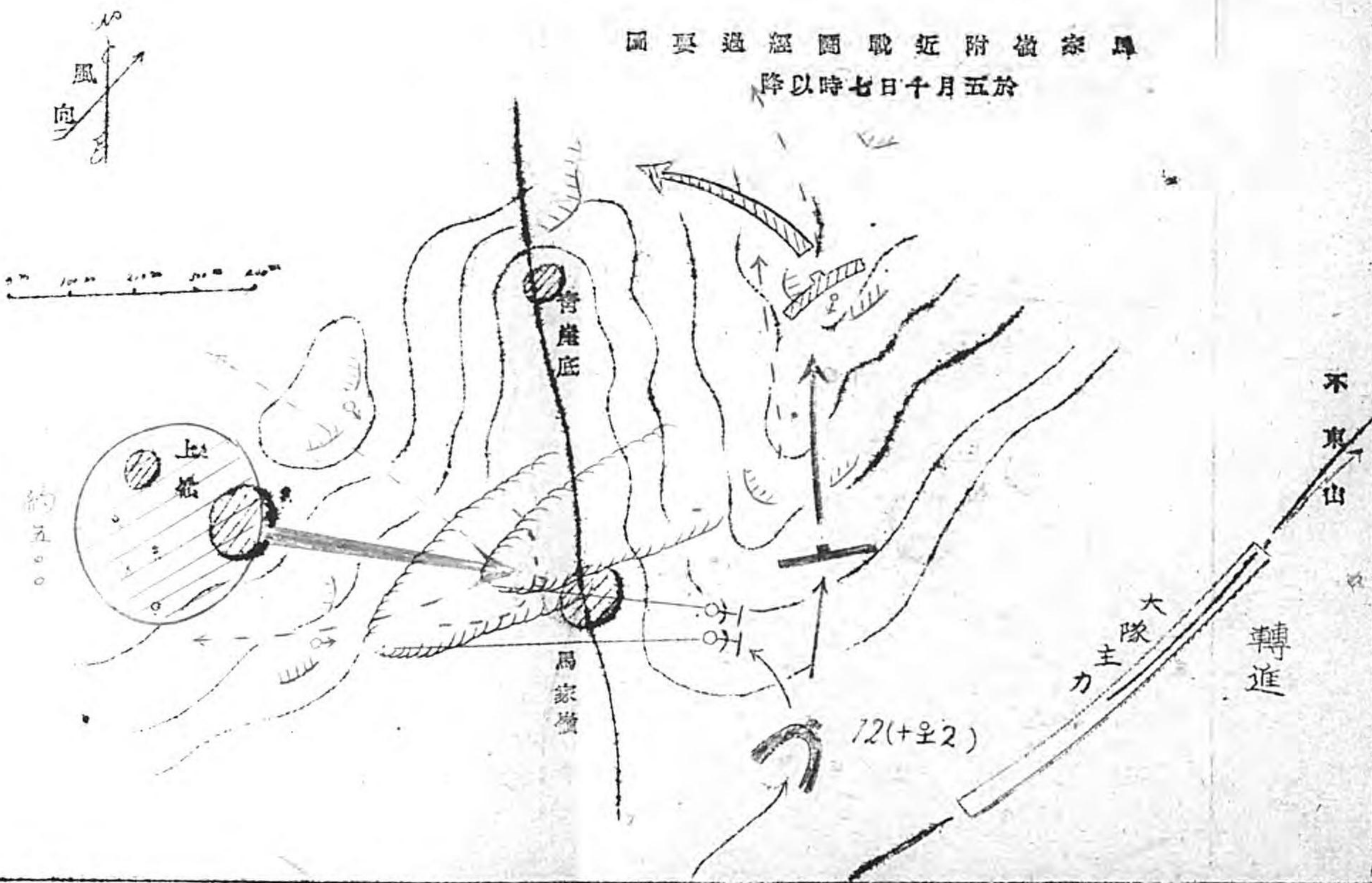
あか筒ノ投射ハ放射ニ不利ナル氣象ヲ征服シ且遠距離ヨリ敵前側防機等ヲ急襲制壓シ敵陣地ノ一掃ヲ容易ナラシメタル例

五 あか筒ヲ投射シテ敵ノ側防機關銃ヲ制壓シ第一線ノ陣内突破ヲ容易ナラシメタル例

訓	要術	状況ノ後一
<p>前進スル敵ニ對シテ急襲スルニ至ルノ時ハ直ニ突入シテ其ノ主力ヲ撃破スルヲ以テ其ノ退路ヲ遮断スルヲ要ス</p>	<p>一 快晴ニシテ風速ニテ 二 約三〇里ノ距離ニテ 三 使役ノ材ニテ 四 中果及成ノ利ニテ 五 毒氣ノ散布ノ方ニテ 六 視察ノ方ニテ 七 此ノ要ニテ 八 領土ノ方ニテ 九 安否ノ方ニテ</p>	<p>馬家嶺東北側高地ヲ占領シテ大隊主力ノ東山方向ヘノ轉進ヲ掩護スルニ任セラルル者ニ對シテ 五月十日拂曉東方高地ニ對シテ突如ノ敵ノ進攻ヲ受ケテ約三〇</p>

六 あか筒ヲ投射シテ側面ヨリ逆襲スル敵ヲ制壓シ主力ノ攻撃ヲ容易ナラシメタル例

馬家嶺附近戰圖經過要圖
於五月十七日降



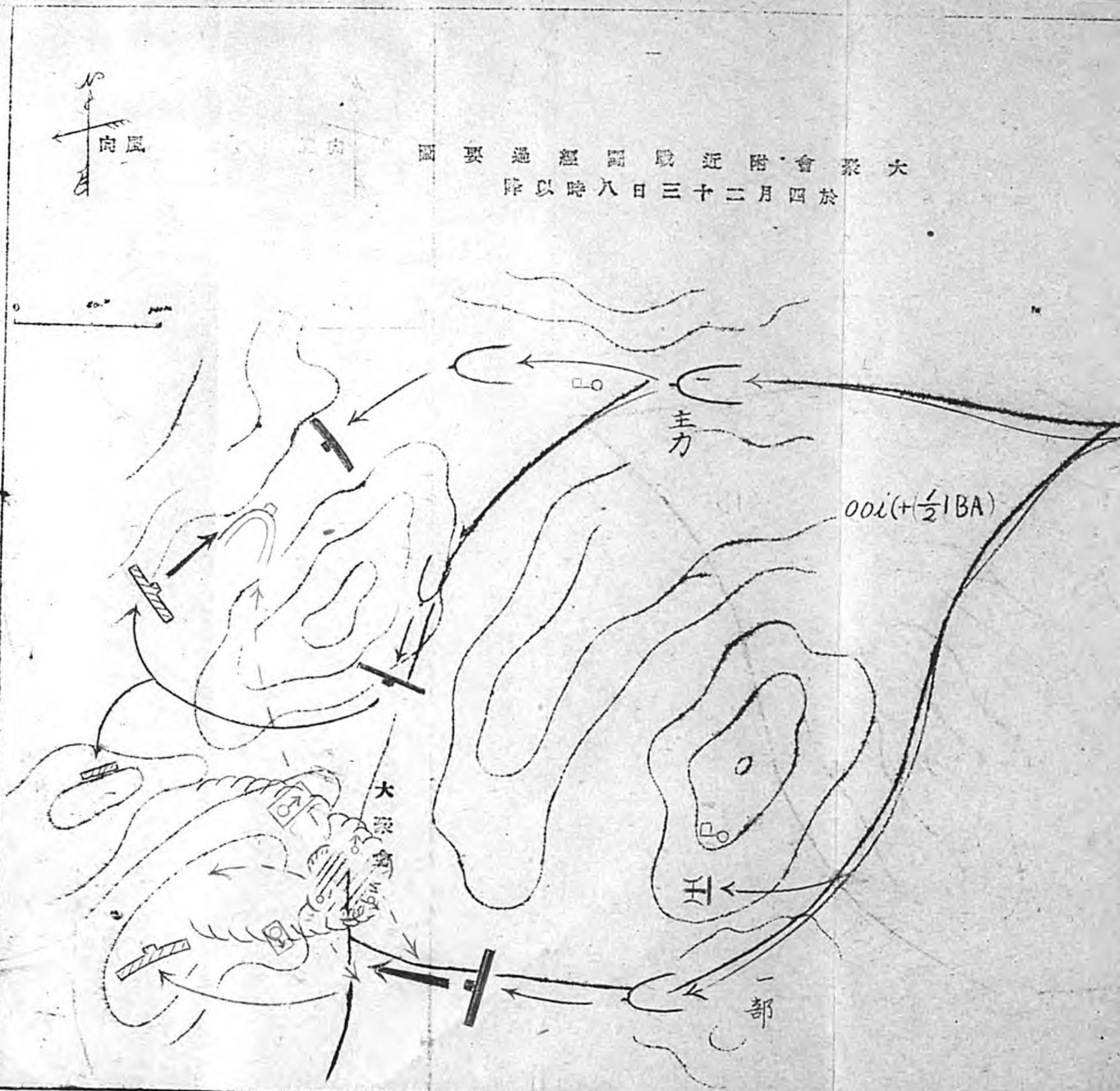
及少數ノ山相候ツテ之ヲ捕獲滅シタル例
 少數ノ山相候ツテ之ヲ捕獲滅シタル例
 及少數ノ山相候ツテ之ヲ捕獲滅シタル例

大森會附近ノ敵ハ一山石ヲ取リて一家屋ヲ利用シテ堅固ニ陣地ヲ築キテ立歩兵〇
 大森會附近ノ敵ハ一山石ヲ取リて一家屋ヲ利用シテ堅固ニ陣地ヲ築キテ立歩兵〇
 大森會附近ノ敵ハ一山石ヲ取リて一家屋ヲ利用シテ堅固ニ陣地ヲ築キテ立歩兵〇

要領ノ進退陣地
 一、敵、東風、約二米
 二、敵、東風、約二米
 三、敵、東風、約二米
 四、敵、東風、約二米
 五、敵、東風、約二米
 六、敵、東風、約二米
 七、敵、東風、約二米
 八、敵、東風、約二米
 九、敵、東風、約二米
 十、敵、東風、約二米

大森會附近ノ敵ハ一山石ヲ取リて一家屋ヲ利用シテ堅固ニ陣地ヲ築キテ立歩兵〇
 大森會附近ノ敵ハ一山石ヲ取リて一家屋ヲ利用シテ堅固ニ陣地ヲ築キテ立歩兵〇
 大森會附近ノ敵ハ一山石ヲ取リて一家屋ヲ利用シテ堅固ニ陣地ヲ築キテ立歩兵〇

大森會附近陣地要領圖
 於四月二十三日八時以降



0 50 100

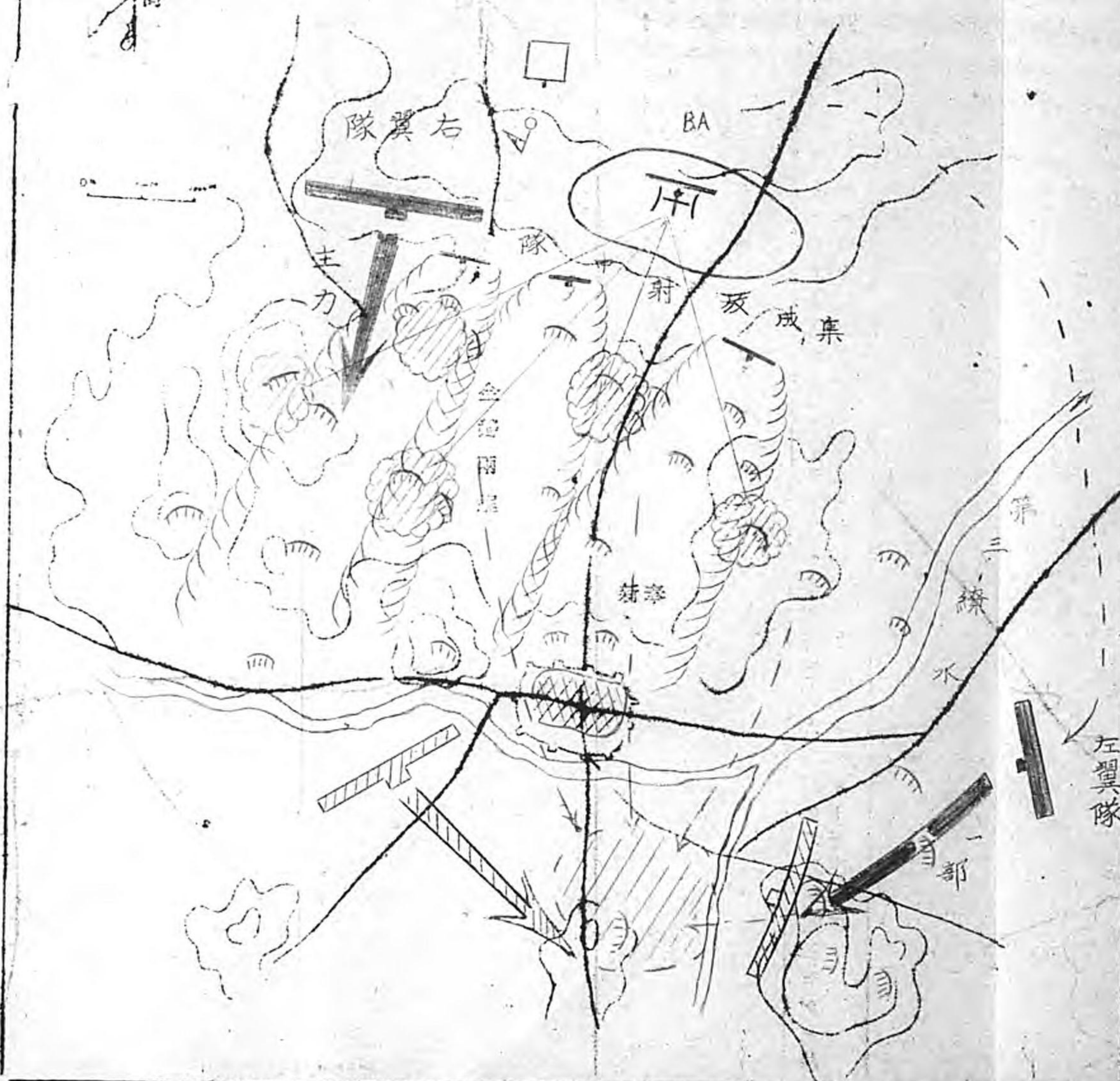
主力

00i(+1/2|BA)

一部

大森會

新近附近戰經過要圖
於十月三十日十九時
分以時



戰況	戰經過要	概況
<p>大規模ニ於テ戦場ニ於テ敵ヲ包圍殲滅スル如ク戦國ヲ指導スルロト所要ナリ</p>	<p>一 晴天、北北東風二、三米アリ、多少遠射 二 使用資材 七六五、あか輝八五三級 三 小あか輝 六二〇、あか輝 四 自九時十分、あか輝射撃 五 十九時十分、あか輝射撃 六 十九時十分、あか輝射撃 七 十九時十分、あか輝射撃 八 十九時十分、あか輝射撃 九 十九時十分、あか輝射撃 十 十九時十分、あか輝射撃 十一 十九時十分、あか輝射撃 十二 十九時十分、あか輝射撃 十三 十九時十分、あか輝射撃 十四 十九時十分、あか輝射撃 十五 十九時十分、あか輝射撃 十六 十九時十分、あか輝射撃 十七 十九時十分、あか輝射撃 十八 十九時十分、あか輝射撃 十九 十九時十分、あか輝射撃 二十 十九時十分、あか輝射撃 二十一 十九時十分、あか輝射撃 二十二 十九時十分、あか輝射撃 二十三 十九時十分、あか輝射撃 二十四 十九時十分、あか輝射撃 二十五 十九時十分、あか輝射撃 二十六 十九時十分、あか輝射撃 二十七 十九時十分、あか輝射撃 二十八 十九時十分、あか輝射撃 二十九 十九時十分、あか輝射撃 三十 十九時十分、あか輝射撃 三十一 十九時十分、あか輝射撃 三十二 十九時十分、あか輝射撃 三十三 十九時十分、あか輝射撃 三十四 十九時十分、あか輝射撃 三十五 十九時十分、あか輝射撃 三十六 十九時十分、あか輝射撃 三十七 十九時十分、あか輝射撃 三十八 十九時十分、あか輝射撃 三十九 十九時十分、あか輝射撃 四十 十九時十分、あか輝射撃 四十一 十九時十分、あか輝射撃 四十二 十九時十分、あか輝射撃 四十三 十九時十分、あか輝射撃 四十四 十九時十分、あか輝射撃 四十五 十九時十分、あか輝射撃 四十六 十九時十分、あか輝射撃 四十七 十九時十分、あか輝射撃 四十八 十九時十分、あか輝射撃 四十九 十九時十分、あか輝射撃 五十 十九時十分、あか輝射撃 五十一 十九時十分、あか輝射撃 五十二 十九時十分、あか輝射撃 五十三 十九時十分、あか輝射撃 五十四 十九時十分、あか輝射撃 五十五 十九時十分、あか輝射撃 五十六 十九時十分、あか輝射撃 五十七 十九時十分、あか輝射撃 五十八 十九時十分、あか輝射撃 五十九 十九時十分、あか輝射撃 六十 十九時十分、あか輝射撃 六十一 十九時十分、あか輝射撃 六十二 十九時十分、あか輝射撃 六十三 十九時十分、あか輝射撃 六十四 十九時十分、あか輝射撃 六十五 十九時十分、あか輝射撃 六十六 十九時十分、あか輝射撃 六十七 十九時十分、あか輝射撃 六十八 十九時十分、あか輝射撃 六十九 十九時十分、あか輝射撃 七十 十九時十分、あか輝射撃 七十一 十九時十分、あか輝射撃 七十二 十九時十分、あか輝射撃 七十三 十九時十分、あか輝射撃 七十四 十九時十分、あか輝射撃 七十五 十九時十分、あか輝射撃 七十六 十九時十分、あか輝射撃 七十七 十九時十分、あか輝射撃 七十八 十九時十分、あか輝射撃 七十九 十九時十分、あか輝射撃 八十 十九時十分、あか輝射撃 八十一 十九時十分、あか輝射撃 八十二 十九時十分、あか輝射撃 八十三 十九時十分、あか輝射撃 八十四 十九時十分、あか輝射撃 八十五 十九時十分、あか輝射撃 八十六 十九時十分、あか輝射撃 八十七 十九時十分、あか輝射撃 八十八 十九時十分、あか輝射撃 八十九 十九時十分、あか輝射撃 九十 十九時十分、あか輝射撃 九十一 十九時十分、あか輝射撃 九十二 十九時十分、あか輝射撃 九十三 十九時十分、あか輝射撃 九十四 十九時十分、あか輝射撃 九十五 十九時十分、あか輝射撃 九十六 十九時十分、あか輝射撃 九十七 十九時十分、あか輝射撃 九十八 十九時十分、あか輝射撃 九十九 十九時十分、あか輝射撃 一百 十九時十分、あか輝射撃</p>	<p>一 獨立師團があか輝及あか輝ヲ用テ大規模ニ使用シ敵ヲ捕獲殲滅シタル例 二 敵ヲ捕獲殲滅スルニ十月十三日夜襲攻撃ヲ準備中ナリ</p>

訓	敬	要	概	ノ	過	經	圖	戰	況	狀	ノ	般
大規模放射ニ於テ成功シタルモ局部ニ毒煙ノ	シ放射ノ好機ヲ把握ス	但シ北葦村附近ニ至ラズ	一部ニ包圍シテ我軍第一線ヲ	毒煙ノ流動ハ利用	關係ニシテ約	中ノあか筒	使用ニシテ	放射距離	敵陣地ニ對シテ	六月下旬	開始スル	逆流及滯留ヲ生ジタル例
深ノ突破ヲ可シクシテ	敵陣内ニ於テ毒煙ノ	ク成果利用部隊ハ	又山脚附近ニ毒煙ヲ	毒煙ノ流動ハ利用	關係ニシテ約	中ノあか筒	使用ニシテ	放射距離	敵陣地ニ對シテ	六月下旬	開始スル	逆流及滯留ヲ生ジタル例
等以テ之ヲ制シ	敵陣内ニ於テ毒煙ノ	ク成果利用部隊ハ	又山脚附近ニ毒煙ヲ	毒煙ノ流動ハ利用	關係ニシテ約	中ノあか筒	使用ニシテ	放射距離	敵陣地ニ對シテ	六月下旬	開始スル	逆流及滯留ヲ生ジタル例
陣地ニ對シテ	敵陣内ニ於テ毒煙ノ	ク成果利用部隊ハ	又山脚附近ニ毒煙ヲ	毒煙ノ流動ハ利用	關係ニシテ約	中ノあか筒	使用ニシテ	放射距離	敵陣地ニ對シテ	六月下旬	開始スル	逆流及滯留ヲ生ジタル例
深ノ突破ヲ可シクシテ	敵陣内ニ於テ毒煙ノ	ク成果利用部隊ハ	又山脚附近ニ毒煙ヲ	毒煙ノ流動ハ利用	關係ニシテ約	中ノあか筒	使用ニシテ	放射距離	敵陣地ニ對シテ	六月下旬	開始スル	逆流及滯留ヲ生ジタル例

曲沃附近戰鬥經過要圖

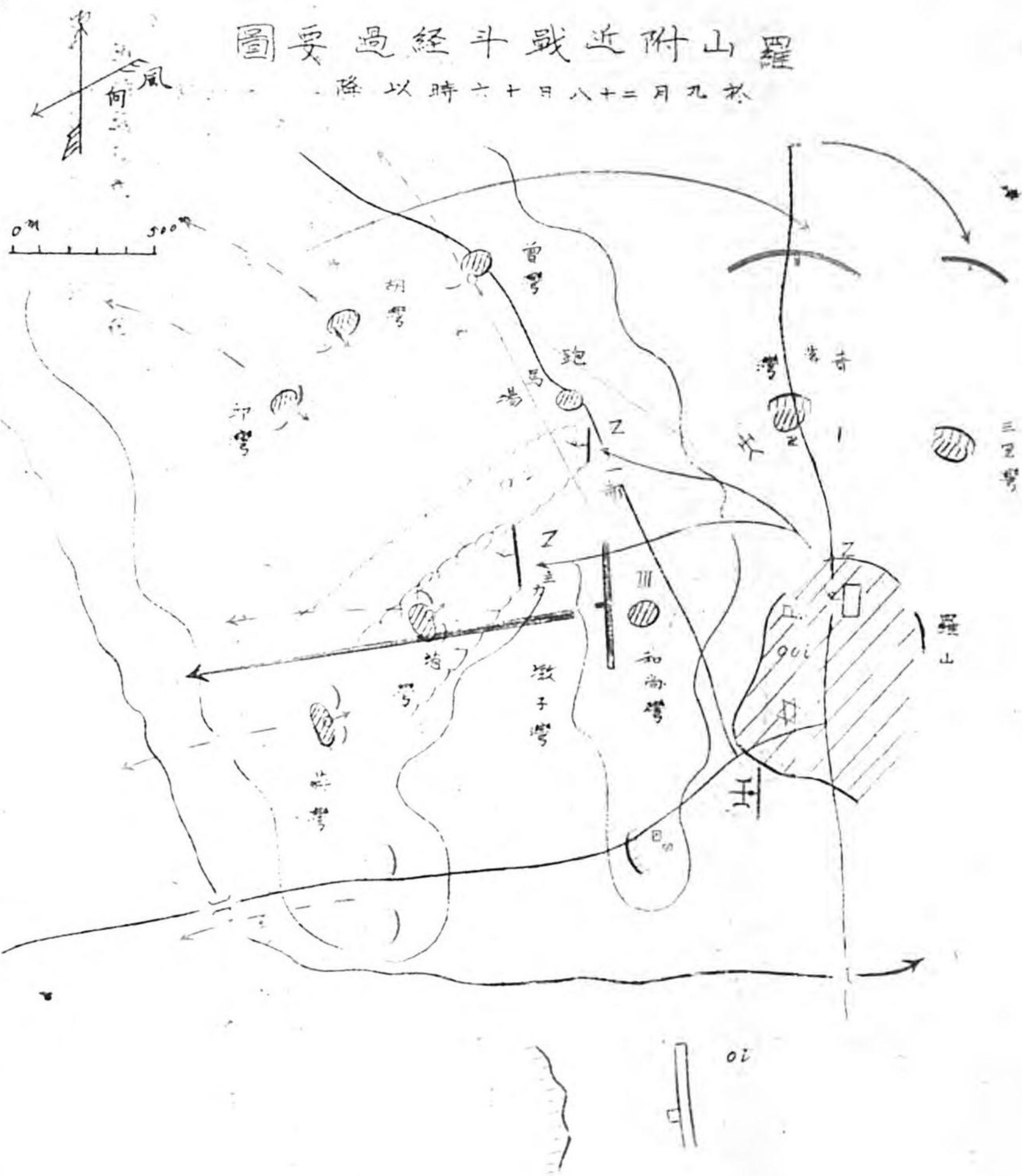
於七月六日同日



あか筒ノ大規模放射ニ於テ成功シタルモ局部ニ毒煙ノ
逆流及滯留ヲ生ジタル例

羅山附近戰鬥經過要圖

於九月二十八日十六時以降



一二 小發煙トあか筒トヲ併用シ敵正面ヲ以テ敵陣ノ中央ヲ突破シタル例

一 羅山西側附近ノ敵ヲ攻撃中ナル某支隊ノ敵ノ頑強ナル抵抗ヲタテ九月二十五日以來敵國兵
 二 隊狀態ハ陷落ヲ遂次敵ノ包圍ヲ受テ
 三 敵多協同ノ下ニ建機附近ノ敵陣地ヲ突破シテ其ノ西方小流ノ線ニ進出スベキ命ヲ受テ

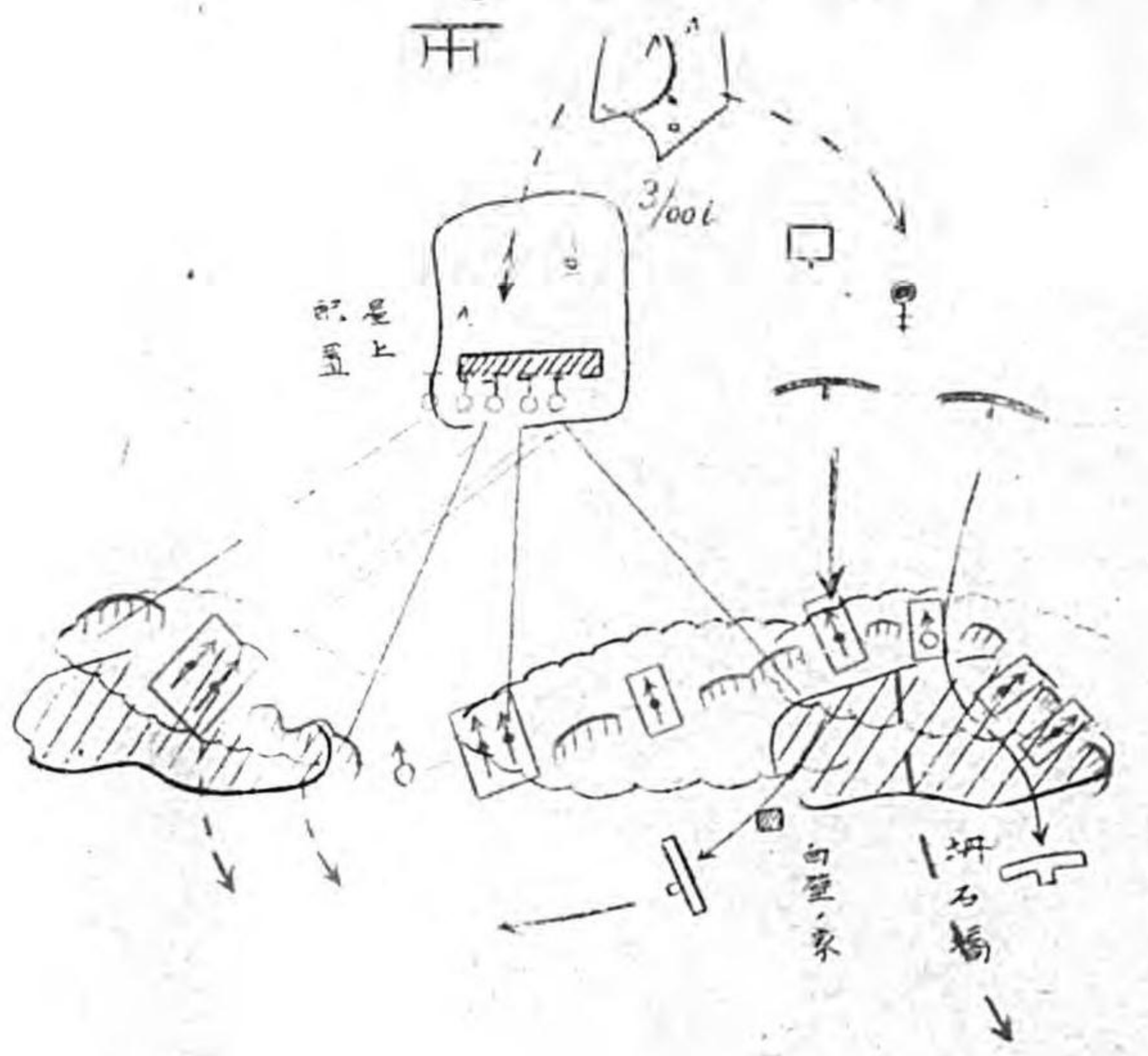
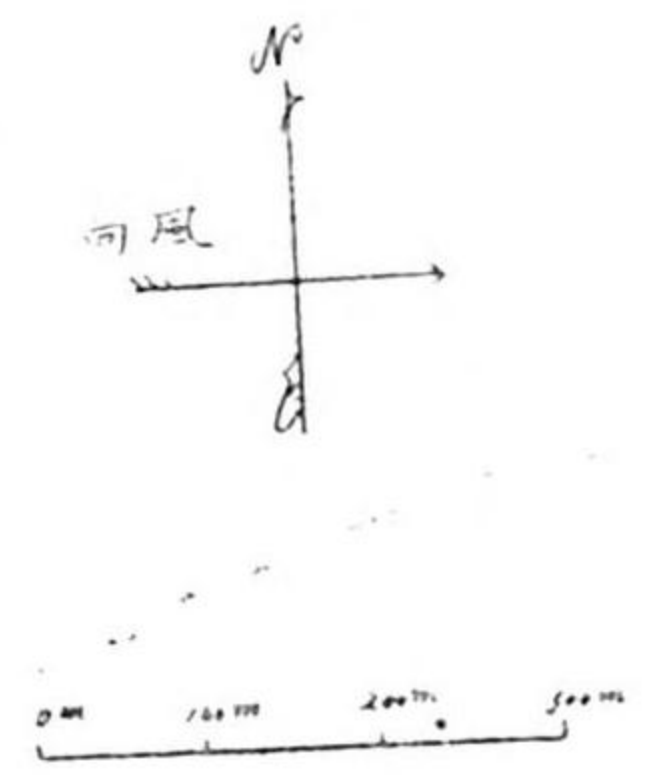
一 氣象狀況
 二 晴天、北北東風、二、五米
 三 約三〇分
 四 約三〇分
 五 約三〇分
 六 約三〇分
 七 約三〇分
 八 約三〇分
 九 約三〇分
 一〇 約三〇分
 一一 約三〇分
 一二 約三〇分
 一三 約三〇分
 一四 約三〇分
 一五 約三〇分
 一六 約三〇分
 一七 約三〇分
 一八 約三〇分
 一九 約三〇分
 二〇 約三〇分
 二一 約三〇分
 二二 約三〇分
 二三 約三〇分
 二四 約三〇分
 二五 約三〇分
 二六 約三〇分
 二七 約三〇分
 二八 約三〇分
 二九 約三〇分
 三〇 約三〇分

一 敵
 二 敵
 三 敵
 四 敵
 五 敵
 六 敵
 七 敵
 八 敵
 九 敵
 一〇 敵
 一一 敵
 一二 敵
 一三 敵
 一四 敵
 一五 敵
 一六 敵
 一七 敵
 一八 敵
 一九 敵
 二〇 敵
 二一 敵
 二二 敵
 二三 敵
 二四 敵
 二五 敵
 二六 敵
 二七 敵
 二八 敵
 二九 敵
 三〇 敵

調	要概ノ通経圖戰	況狀ノ殺一
一ノ射及砲ヲ用ス 二ノ方面ニ牽制ヲ 三ノ奇襲ヲ行フ 四ノ突入ヲ行フ 五ノ攻守ヲ行フ	一 砲 二 射 三 無名部 四 砲 五 砲 六 砲 七 砲 八 砲 九 砲 十 砲 十一 砲 十二 砲 十三 砲 十四 砲 十五 砲 十六 砲 十七 砲 十八 砲 十九 砲 二十 砲	一 砲 二 射 三 無名部 四 砲 五 砲 六 砲 七 砲 八 砲 九 砲 十 砲 十一 砲 十二 砲 十三 砲 十四 砲 十五 砲 十六 砲 十七 砲 十八 砲 十九 砲 二十 砲

圖 要過経斗戰近附橋石垣

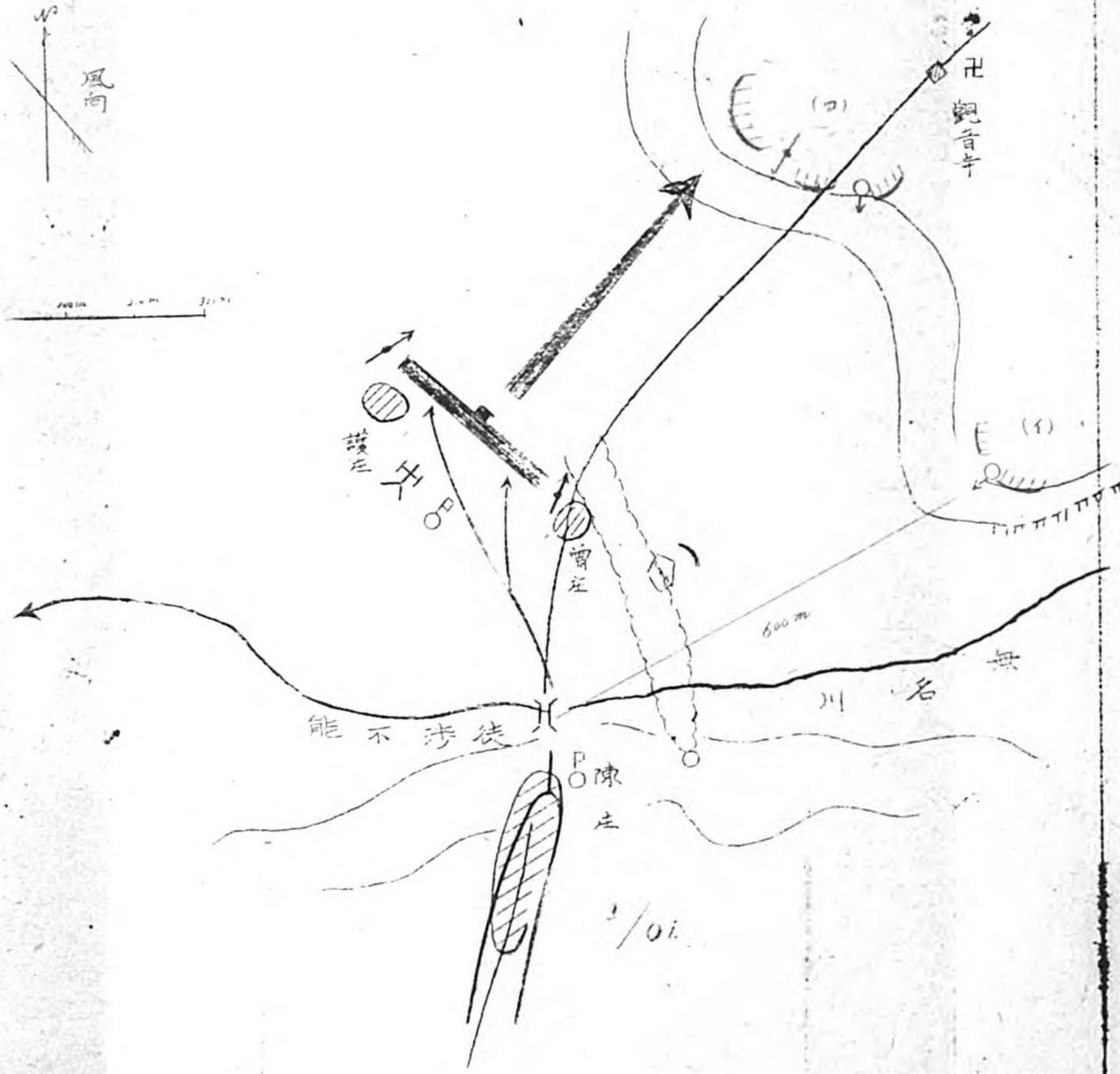
ノ日一十月十於



一三 一部ノ火力及煙ヲ巧ニ併用シ敵ヲ牽制致シテ王力ノ攻堅ヲ容易ナラシメタル例

圖要過經斗戰近附在陳

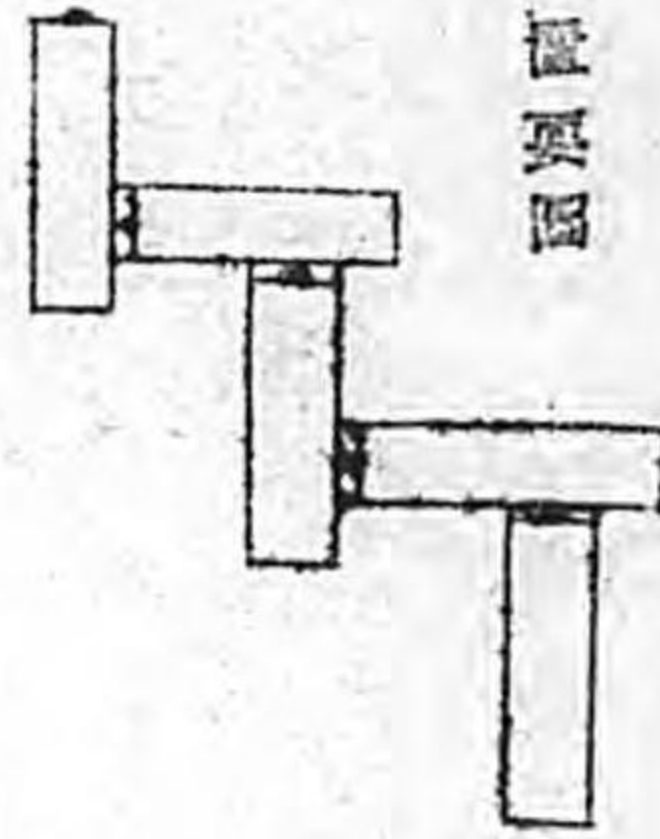
陸以特八日一月十於



訓 設 要機ノ過經戰 部ノ機

一 氣 象 南 南 京 風 二 米
 二 使 用 資 材 小 發 煙 筒 四 五
 三 效 果 約 三 千 分 間 進 速 斷 煙 霧 之 構 成 第 一 線 中 隊 一 殆 一 損 害 少 橋 梁 之 通 過 少 之 迅 速 一 具
 四 關 於 大 火 之 得 夕 夕

小發煙筒配置要圖



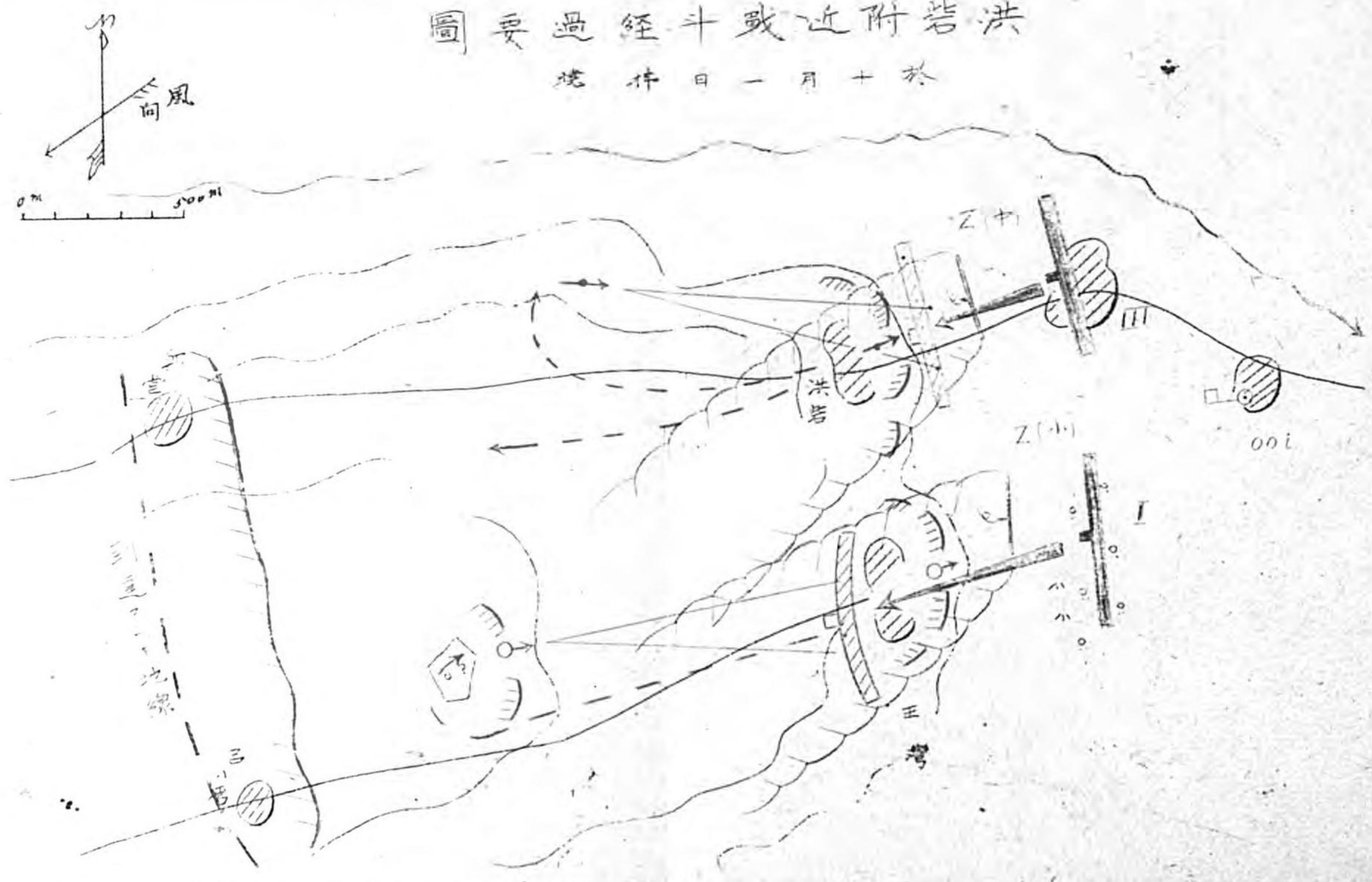
一 長 時 間 煙 霧 之 持 續 せ ば 時 々 左 圖 ノ 如 ク 小 發 煙 筒 之 配 置 必 要 ナリ
 二 敵 陣 地 之 高 少 應 之 後 煙 筒 之 選 定 之 適 切 少 事 必 要 ナリ

一四 小發煙筒ヲ運搬使用シテ第一線ノ隘路通過ヲ容易ナラシメタル例

遠方ノ觀音寺高地附近ヲ占領シテ支隊主力ヲ無名川右岸進出ヲ掩護シ任務ヲ有ルル
 十月二日八時共ノ先頭ヲ以テ陳庄橋梁ヲ進スルヤハハノ輕便橋銃ヲ運射ヲ受ク

圖 數	要 概 ノ 過 経 回 戰						況 状 ノ 般 一
	前	開	便	目	功	果	
須トテ上級幹部	前	開	便	目	功	果	霧 天 北 東 風 三 米 外 米
ノ一正級幹部	タ	シ	シ	シ	シ	シ	中
要化營	カ	テ	シ	シ	シ	シ	ナ
件學	ル	テ	シ	シ	シ	シ	タ
テ	カ	テ	シ	シ	シ	シ	タ
リ	カ	テ	シ	シ	シ	シ	タ
行	カ	テ	シ	シ	シ	シ	タ
上	カ	テ	シ	シ	シ	シ	タ
特	カ	テ	シ	シ	シ	シ	タ
ル	カ	テ	シ	シ	シ	シ	タ
必	カ	テ	シ	シ	シ	シ	タ

洪 岩 附 近 戰 斗 経 過 要 圖
 於 十 月 一 日 作 成



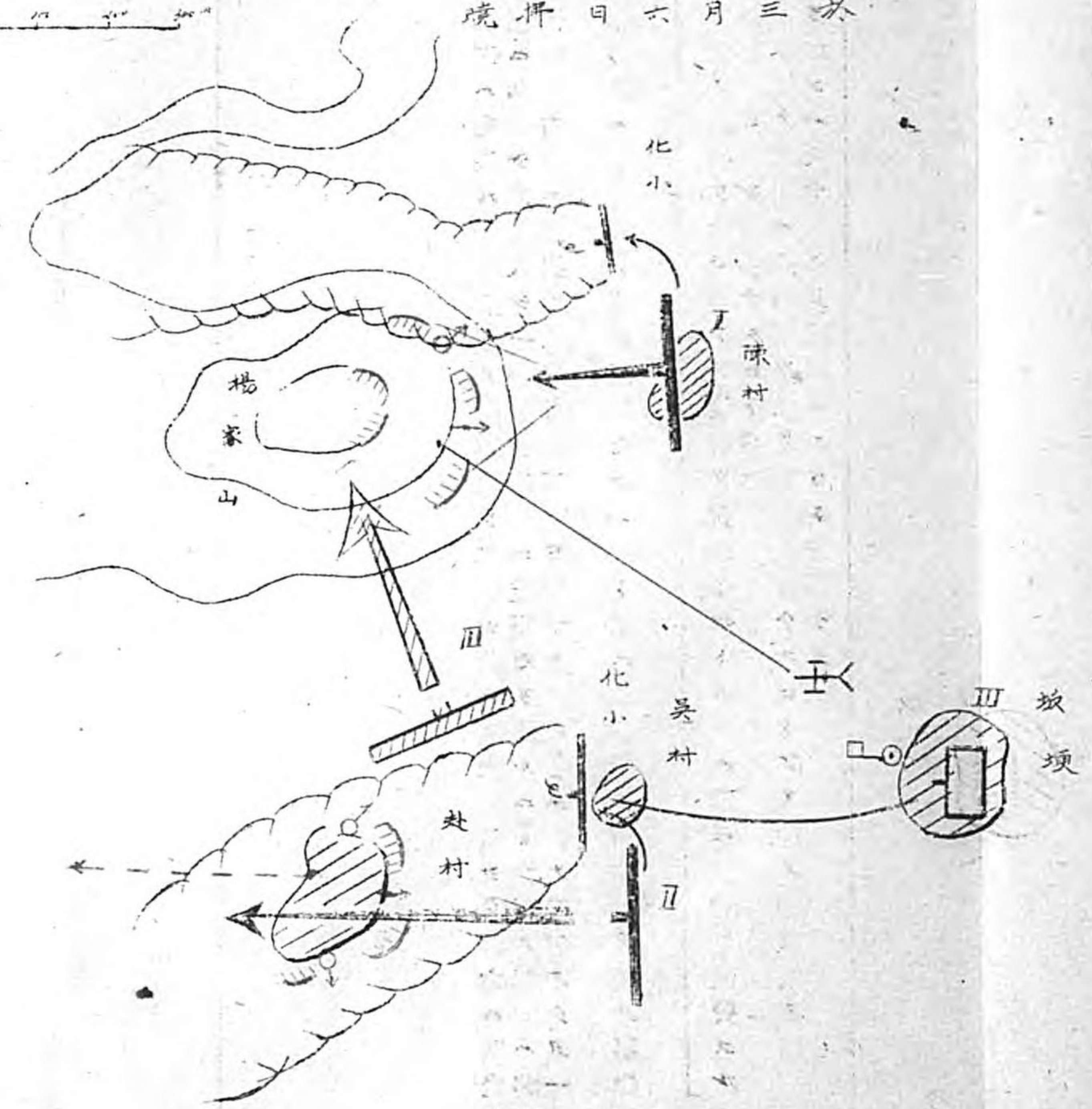
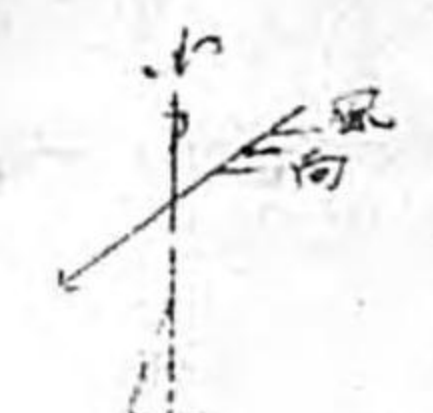
一六 毒煙ノ效力ニ疑念ヲ抱キ成果ノ利用不十分ナリシ例

一七 局地氣象ノ研究不十分ナリシタメ毒煙目標外ニ流動シ放射失敗シタル例

楊家山及趙村附近ノ敵陣地ニ毒煙ヲ放シテ三月六日午後ノ夜霧ヲ單體
中ナリ

観 覧	要 概ノ 過 程 圖 説	注 釈ノ 條
一 地形ト流動ノ關係ヲ究メテ放射ヲ實施セシトスルハ單ニ資料ヲ浪費スルノミナシ ニ 比高ナル高地ノ頂上ニ放射機ヲ設置スルハ放射力ヲ以テ制壓スルハト肝要ナリ	一 楊家山及趙村附近ノ敵陣地ニ毒煙ヲ放シテ三月六日午後ノ夜霧ヲ單體 ニ 楊家山北側谷地方向ニ放出シ放射直後突撃ヲ開始セタルハ一方ノ毒煙ハ其ノ大半ハ 三 楊家山北側谷地方向ニ放出シ放射直後突撃ヲ開始セタルハ一方ノ毒煙ハ其ノ大半ハ 四 放射機及成果ノ利用ハ完全ニ遂行シテ毒煙ヲ包圍シ敵ハ別軍派兵ヲ西方ニ遣走セタルヲ 五 正西ノ毒煙ハ趙村附近ノ敵陣地ヲ包圍シ毒煙ヲ放シテ然ルハ一方ノ毒煙ハ其ノ大半ハ 六 楊家山北側谷地方向ニ放出シ放射直後突撃ヲ開始セタルハ一方ノ毒煙ハ其ノ大半ハ 七 敵ニ於テ毒煙長一隊隊進ヲ以テ射撃セシムルト共ニ毒煙機ヲ増加シテ漸ク楊家山ヲ占領	一 晴天ニ北東風 二 三 三 三 四 三 五 三 六 三 七 三 八 三 九 三 十 三 十一 三 十二 三 十三 三 十四 三 十五 三 十六 三 十七 三 十八 三 十九 三 二十 三 二十一 三 二十二 三 二十三 三 二十四 三 二十五 三 二十六 三 二十七 三 二十八 三 二十九 三 三十 三 三十一 三 三十二 三 三十三 三 三十四 三 三十五 三 三十六 三 三十七 三 三十八 三 三十九 三 四十 三 四十一 三 四十二 三 四十三 三 四十四 三 四十五 三 四十六 三 四十七 三 四十八 三 四十九 三 五十 三 五十一 三 五十二 三 五十三 三 五十四 三 五十五 三 五十六 三 五十七 三 五十八 三 五十九 三 六十 三 六十一 三 六十二 三 六十三 三 六十四 三 六十五 三 六十六 三 六十七 三 六十八 三 六十九 三 七十 三 七十一 三 七十二 三 七十三 三 七十四 三 七十五 三 七十六 三 七十七 三 七十八 三 七十九 三 八十 三 八十一 三 八十二 三 八十三 三 八十四 三 八十五 三 八十六 三 八十七 三 八十八 三 八十九 三 九十 三 九十一 三 九十二 三 九十三 三 九十四 三 九十五 三 九十六 三 九十七 三 九十八 三 九十九 三 一百 三

楊家山附近戰鬥經過要圖
於三月六日將曉

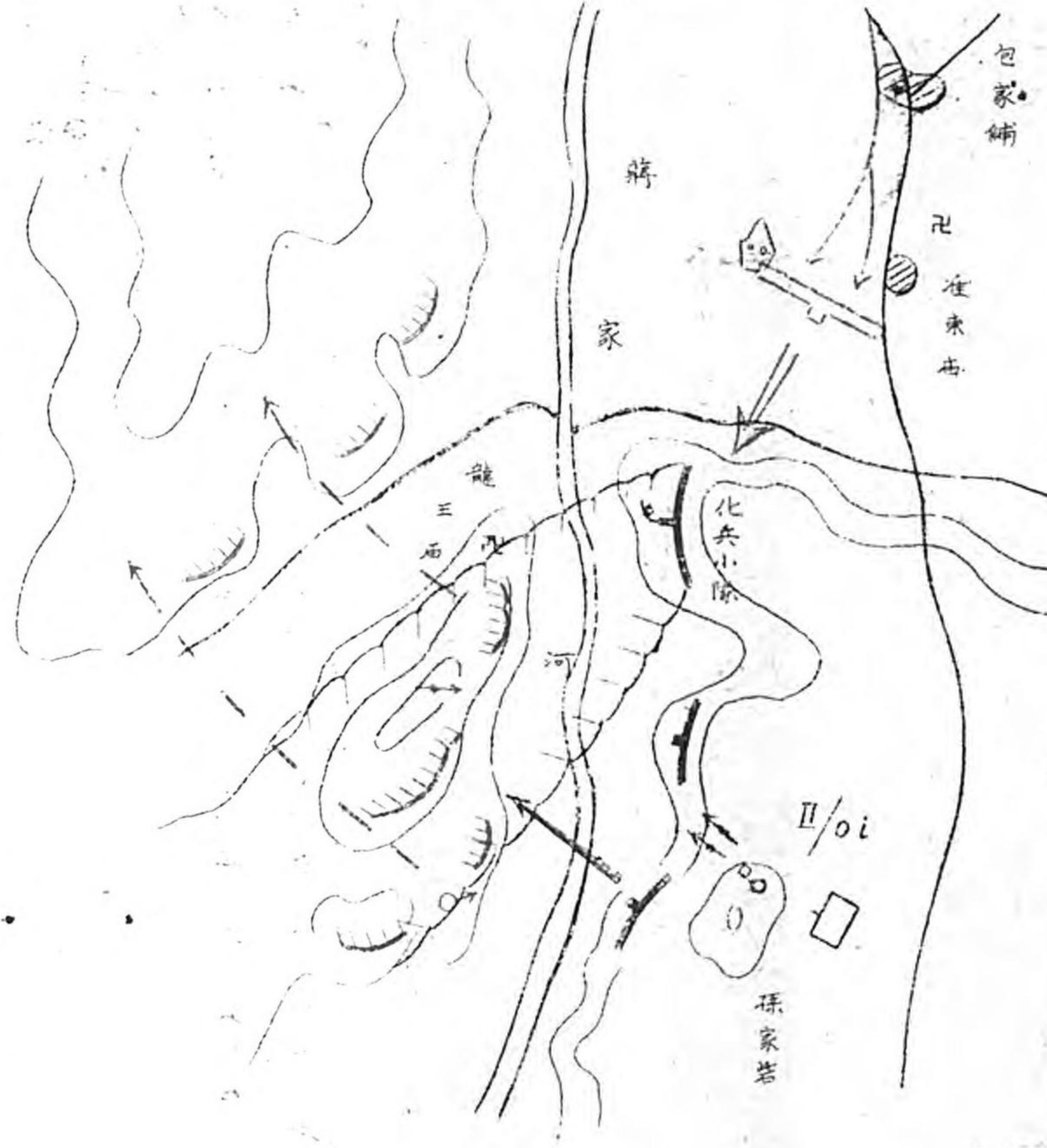


一八 放射部隊ノ掩護不十分ナリシタメ側背ヨリ敵ノ奇襲ヲ受ケ放射ヲ弱シナランメタル例

五月一日夜明後夜敵ハ白旗シタメ敵ノ第一團ハ龍王廟附近ノ陣地ヲ攻メ...

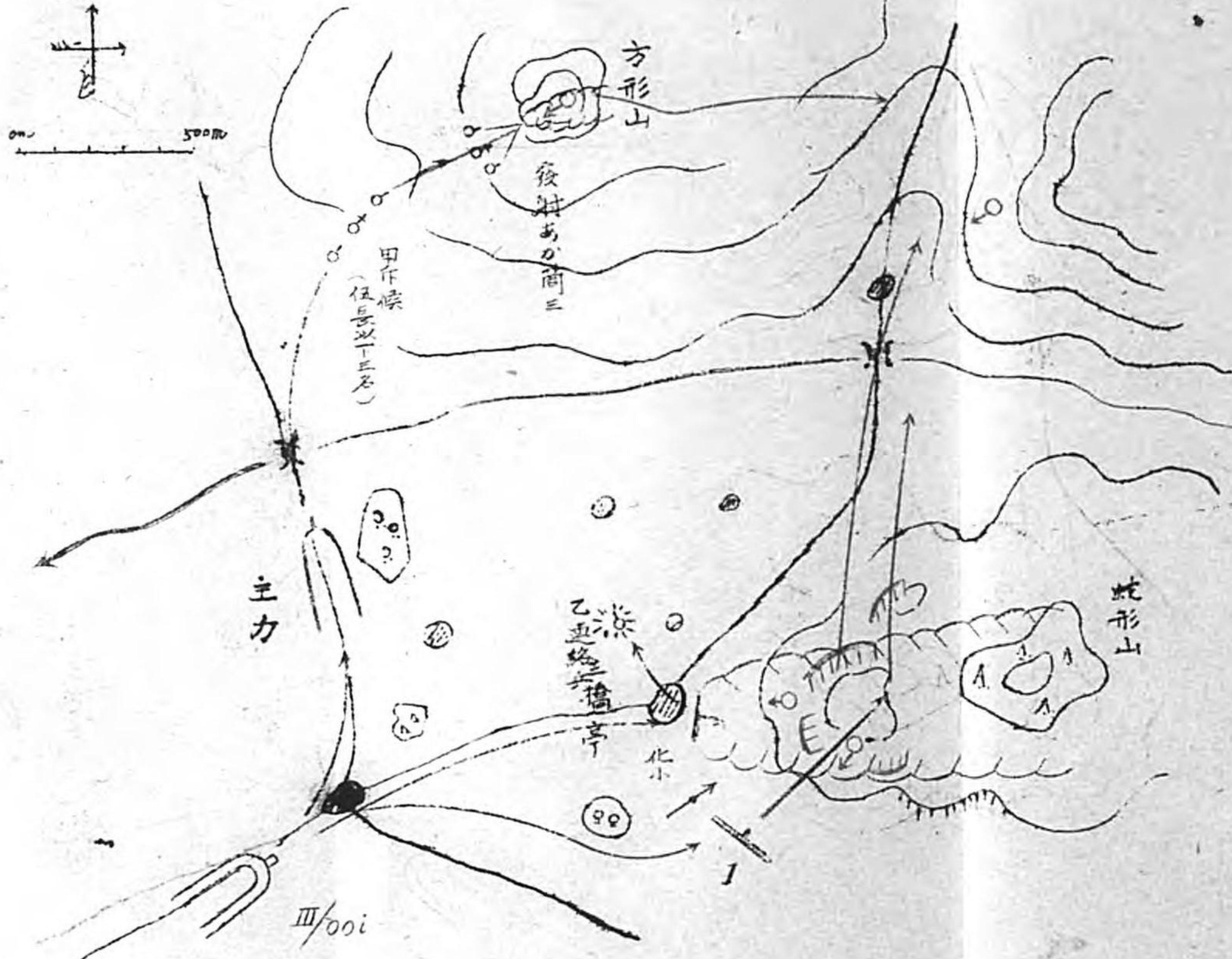
調教	要領ノ過細	一 敵	二 敵	三 敵	四 敵	五 敵	六 敵	七 敵	八 敵	九 敵	十 敵
夜軍ノ外圍ニ立シテ放射ヲ實施スル際ハ側背ヨリ敵ノ奇襲ヲ受ケ...

孫家砦附近戰鬥經過要圖
於五月十一日二十時五分以前



三橋亭附近戰鬥經過要圖

於六月一日拂曉



訓 教	要 概ノ 通 經 國 戰	況 狀ノ 般
一 部隊全般ノタメニ放射ヲ實施セントスル時ハ一兵ニ至ルマデ放射ニ關スル記號ヲ徹底シ置クコトヲ要ナリ	一 放射開始ノ記號ヲ發煙ノ敵輕機ノ射撃ヲ受ケ發射赤輪ヲ以テ之ヲ導退セリ	一 前進中ナリ
二 特ニ斥候ノ如ク豫メ分進スルモノニ於テ然ラ	二 甲斥候ハ下方山ヨリ敵輕機ノ射撃ヲ受ケ發射赤輪ヲ以テ之ヲ導退セリ	二 00i ハ蛇形山附近ノ敵ヲ捕捉殲滅スル目的ヲ以テ一部ハ三橋亭主力ハ方形山附近ニ向ヒ
三 記號ハ少クモ二種以上規定シ置クヲ要ス	三 乙連絡兵ハ方形山ノ發煙ヲ見テ放射ノ記號ト即斷シ小隊長ニ報告シタルタメ過早ニ放	三 前方山附近ニ於テ發煙
	四 効果及成果ノ利用	四 蛇形山ノ前進遲滯シタルニ依リ成果ヲ全然利用シ得ズ

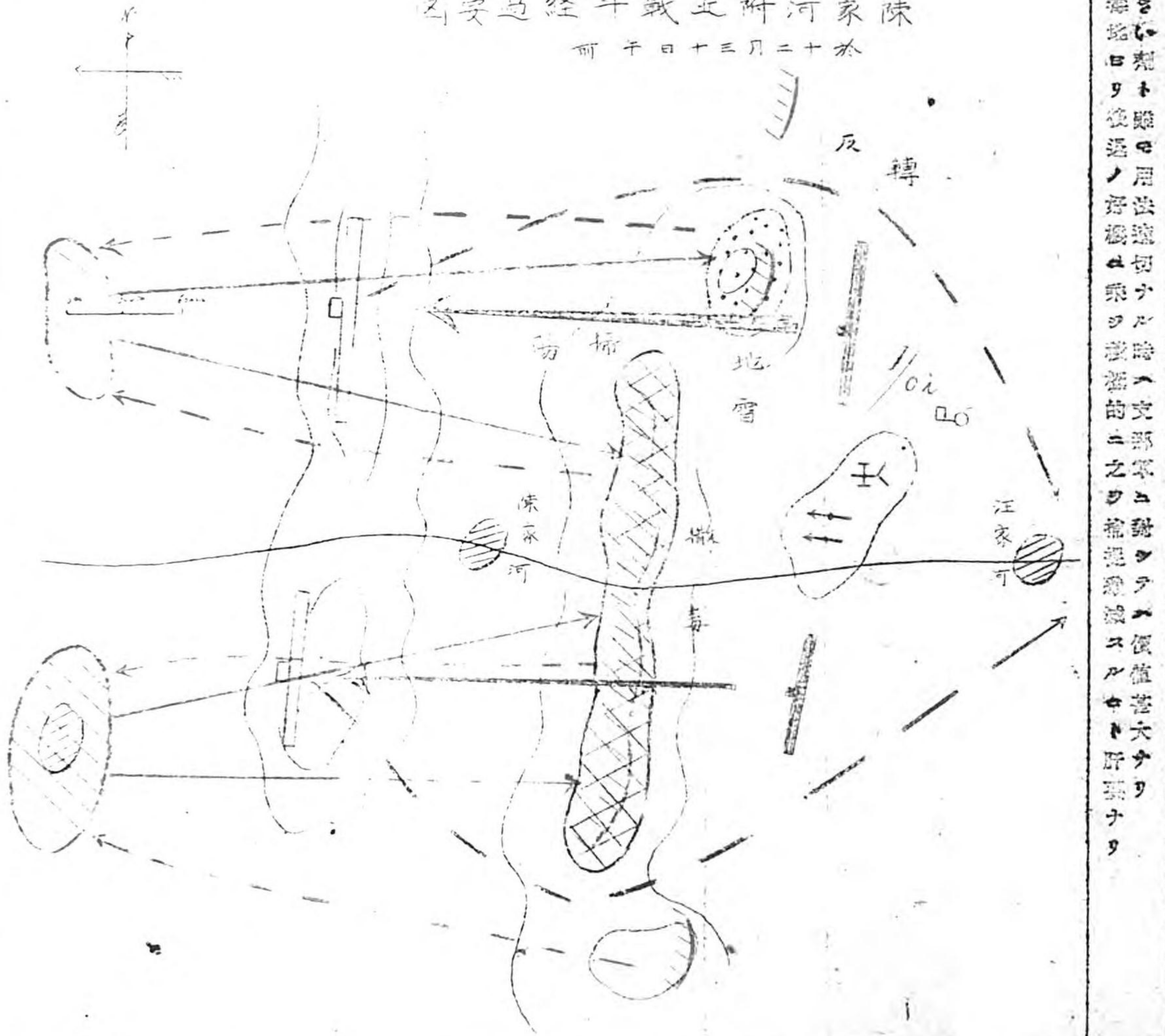
一九 放射ニ關スル通信連絡不徹底ナリシタメ過早ニ點火シタル例

二〇 きい劑ヲ以テ敵陣内ノ要點ヲ毒化シ敵ニ甚大ナル損害ヲ與ヘタル例

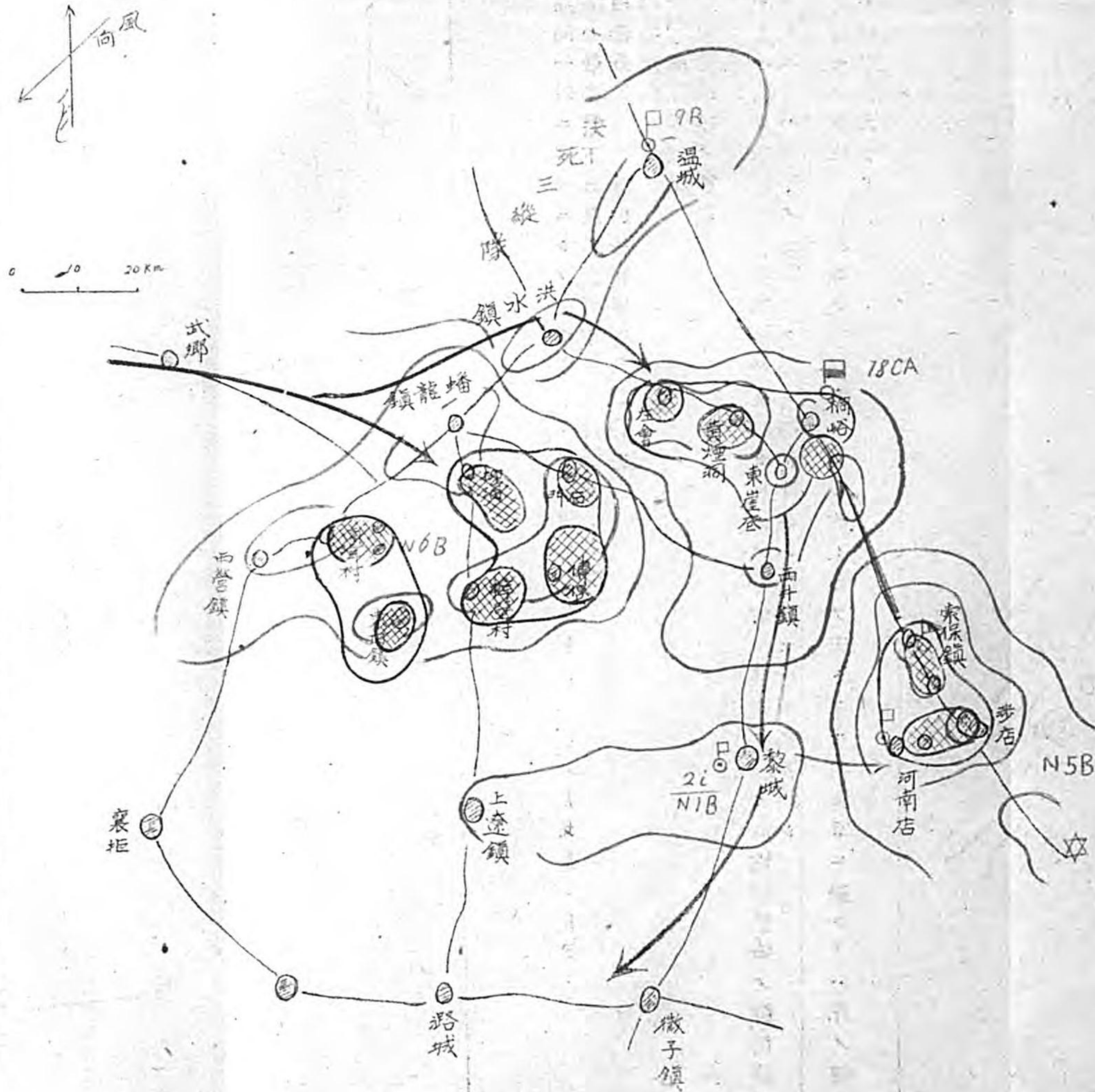
陸軍河内附近ニ蟻居セル敵ノ隊次ニ五ノ時偵ニ拘ラズ執拗チテ遊撃ニ作テ反撃シテアリ
 毒化劑(毒化)ハ要點ニ之ヲ投正テ全隊ヲ毒化シ敵陣地ノ要點ニ要點毒化ヲ準備中ナリ

一 晴天、東風三米氣温四度
 二 作業者ノ組成
 三 敵陣内ノ下土
 四 敵陣内ノ撤退開始ト同時
 五 敵陣内ノ撤退開始ト同時
 六 敵陣内ノ撤退開始ト同時
 七 敵陣内ノ撤退開始ト同時
 八 敵陣内ノ撤退開始ト同時
 九 敵陣内ノ撤退開始ト同時
 十 敵陣内ノ撤退開始ト同時
 十一 敵陣内ノ撤退開始ト同時
 十二 敵陣内ノ撤退開始ト同時
 十三 敵陣内ノ撤退開始ト同時
 十四 敵陣内ノ撤退開始ト同時
 十五 敵陣内ノ撤退開始ト同時
 十六 敵陣内ノ撤退開始ト同時
 十七 敵陣内ノ撤退開始ト同時
 十八 敵陣内ノ撤退開始ト同時
 十九 敵陣内ノ撤退開始ト同時
 二十 敵陣内ノ撤退開始ト同時

陸軍河内附近戦斗經過要圖
 於二十三月十日午



大行地區撤毒實施要圖
於二月二十日



訓教	要概ノ過經圖戰	一	二	三	四	五
陣地ヲ有セズ洞窟、村落等ヲ根據地トシ政治工作ヲ主トスル共產軍ニ對シテハ此ノ種瓦斯	用法ハ效果甚大ナリ	敵主力ハ我が撤退直後根據地ニ復歸セルタメ密偵報其ノ他敵ノ無電傍受等ノ諸情報ヲ綜	合スルニ敵ハ數千ノ瓦斯者ヲ出シ内約半數ハ死亡セルモノノ如シ	敵視力ハ果	兵用場所、工場	使用毒量、高さ、下五度最低零下三十度ナリ
		氣シテ敵根據地ヲ完封セリ	本期間一敵ニ晴天ニシテ二回降雪アリ北北東ノ風發達シ特ニ局地風ハ顯著ナリ	氣シテ敵根據地ヲ完封セリ	氣シテ敵根據地ヲ完封セリ	氣シテ敵根據地ヲ完封セリ
		師團特種作業隊ハ一月下旬ヨリ派安ニ於テ教育並ニ作戰準備ヲ實施中ナリシガ主力ヲ以	師團特種作業隊ハ一月下旬ヨリ派安ニ於テ教育並ニ作戰準備ヲ實施中ナリシガ主力ヲ以	師團特種作業隊ハ一月下旬ヨリ派安ニ於テ教育並ニ作戰準備ヲ實施中ナリシガ主力ヲ以	師團特種作業隊ハ一月下旬ヨリ派安ニ於テ教育並ニ作戰準備ヲ實施中ナリシガ主力ヲ以	師團特種作業隊ハ一月下旬ヨリ派安ニ於テ教育並ニ作戰準備ヲ實施中ナリシガ主力ヲ以
		第〇〇師團ハ大行地區ニ於ケル共產軍ノ根據地ヲ企圖シ二月初旬ヨリ攻取ヲ開始セリ	第〇〇師團ハ大行地區ニ於ケル共產軍ノ根據地ヲ企圖シ二月初旬ヨリ攻取ヲ開始セリ	第〇〇師團ハ大行地區ニ於ケル共產軍ノ根據地ヲ企圖シ二月初旬ヨリ攻取ヲ開始セリ	第〇〇師團ハ大行地區ニ於ケル共產軍ノ根據地ヲ企圖シ二月初旬ヨリ攻取ヲ開始セリ	第〇〇師團ハ大行地區ニ於ケル共產軍ノ根據地ヲ企圖シ二月初旬ヨリ攻取ヲ開始セリ

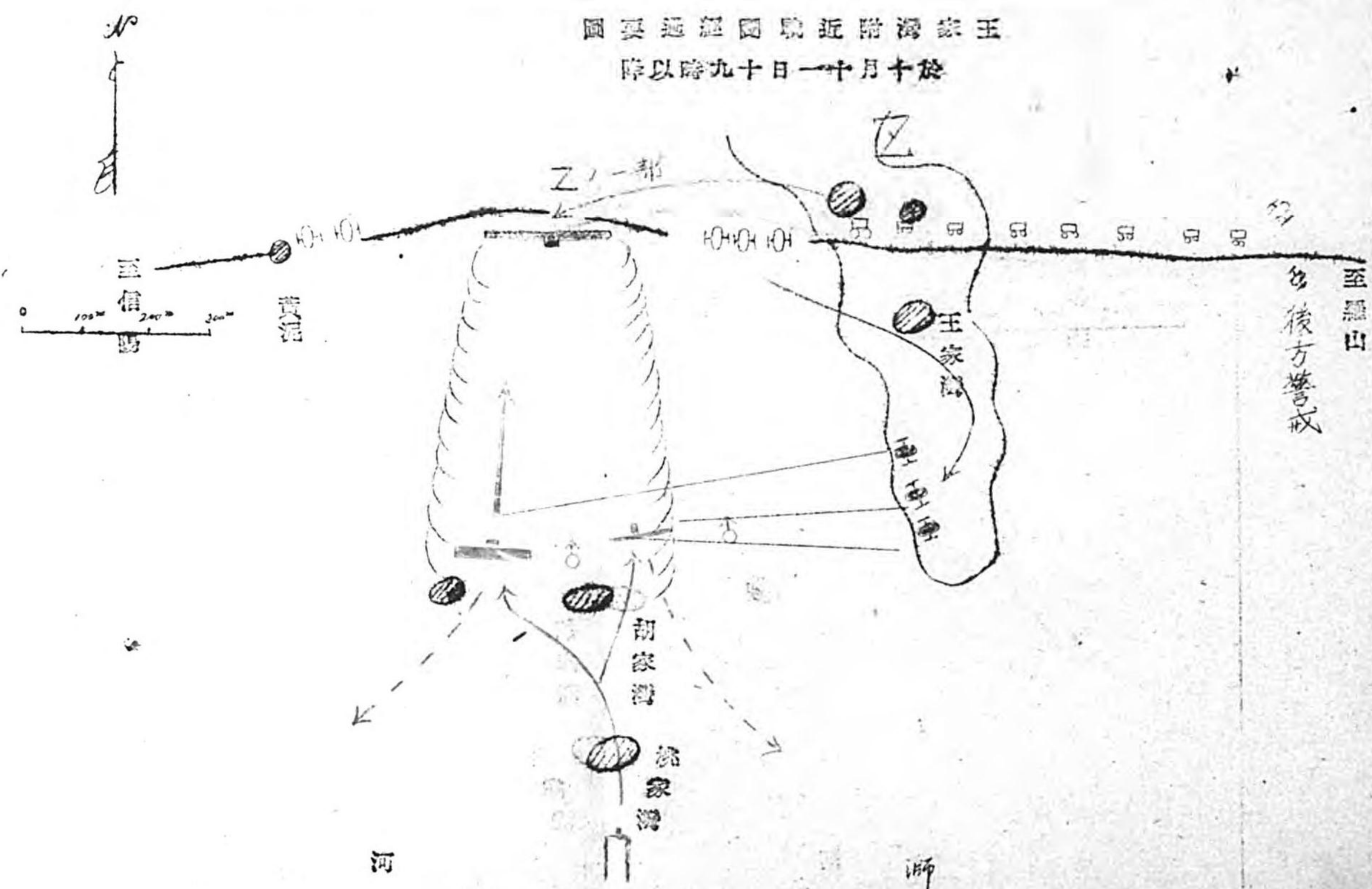
二一 きい劑ヲ以テ共產軍ノ根據地ヲ毒化シ殲滅的打撃ヲ與ヘタル例

第二 遭 遇 戰 (例二四—二五)

訓	教	要極ノ近距離戰					況狀ノ級一							
		一	二	三	四	五	一	二	三	四	五			
不慮ニ敵ト遭遇スル	ハ直チニ敵情急於テ	得ル如ク豫メ資材ヲ	準備スルト共ニ特ニ	必要トス於テ輕裝的	本情ヲ以テ更ニ積極的	車ノ側背ヲ積極的	敵ノ捕獲ヲ減スル	シテ意ヲ捕獲シテ	ノ著カシム	ナカシム	ナシム	ノ著カシム	ナカシム	ナシム
漸河橋梁破壊ノタメ	時止シテ早朝該橋梁	月十一日早朝該橋梁	出發シテ追及ス	先頭ヲ以テ稍過ニ	ノ五〇ヲ以テ稍過ニ	同隊長ハ輕機	三ノ約二	北ノ約三	ノ約三	ノ約三	ノ約三	ノ約三	ノ約三	ノ約三
氣象北風約三米	小正雨	放距離	使用資材	效果及成	急襲的放	急襲的放	急襲的放	急襲的放	急襲的放	急襲的放	急襲的放	急襲的放	急襲的放	急襲的放
前進ヲ安全ナラシメ	前進ヲ安全ナラシメ	前進ヲ安全ナラシメ	前進ヲ安全ナラシメ	前進ヲ安全ナラシメ	前進ヲ安全ナラシメ	前進ヲ安全ナラシメ	前進ヲ安全ナラシメ	前進ヲ安全ナラシメ	前進ヲ安全ナラシメ	前進ヲ安全ナラシメ	前進ヲ安全ナラシメ	前進ヲ安全ナラシメ	前進ヲ安全ナラシメ	前進ヲ安全ナラシメ

二五 主力ニ及中ノ部隊ガ不意ニ敵ニ遭遇シタル際あか筒ヲ放シテ之ヲ潰走セシメタル例

王家灣附近國運要圖
於十月十一日九時以時



至黑山
後方警戒

第三 夜 間 攻 撃

其ノ一 あか筒放射 (例二六—二八)

其ノ二 あか筒投射 (例二九)

其ノ三 煙 (例三〇)

其ノ四 失敗ノ例 (例三一)

訓	教	要 概 ノ 過 程 圖 戰	況 狀 ノ 後 一
要特果此 ナニ利ヲ リ密用際 接部放 ナ隊射 ルノ部 コ連隊 ト絡ト 必ニ成	三 切放於夜 ニ射テ間 シシ位ハ 急敵置氣 襲陣ノ象 的ニノ定 實要ヲ測 施點適及	四 三 二 一 地直隊隊 ノヲ主ヲ 一ニ攻主 暴前擊力 ニ進奏モ 突シ功亦 破縦ス化 セ深ル兵 リ陣ヤ小	一 意受砲抵以 ノケあ抗來 如夜か頑攻 クニ彈強擊 進ノニ中 入ル集シハ 歩モ中ヲ セモ射且 ズ攻射迫 ハ撃撃ノ

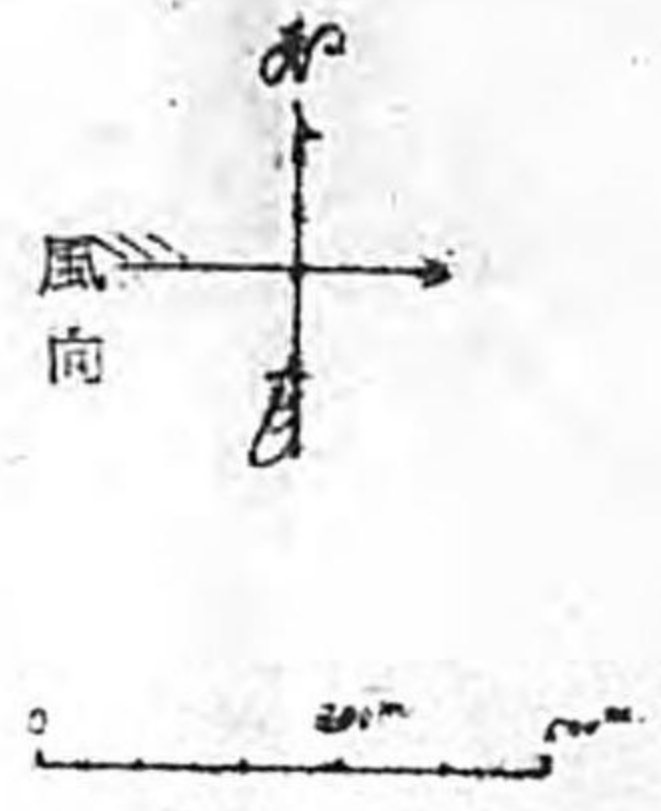
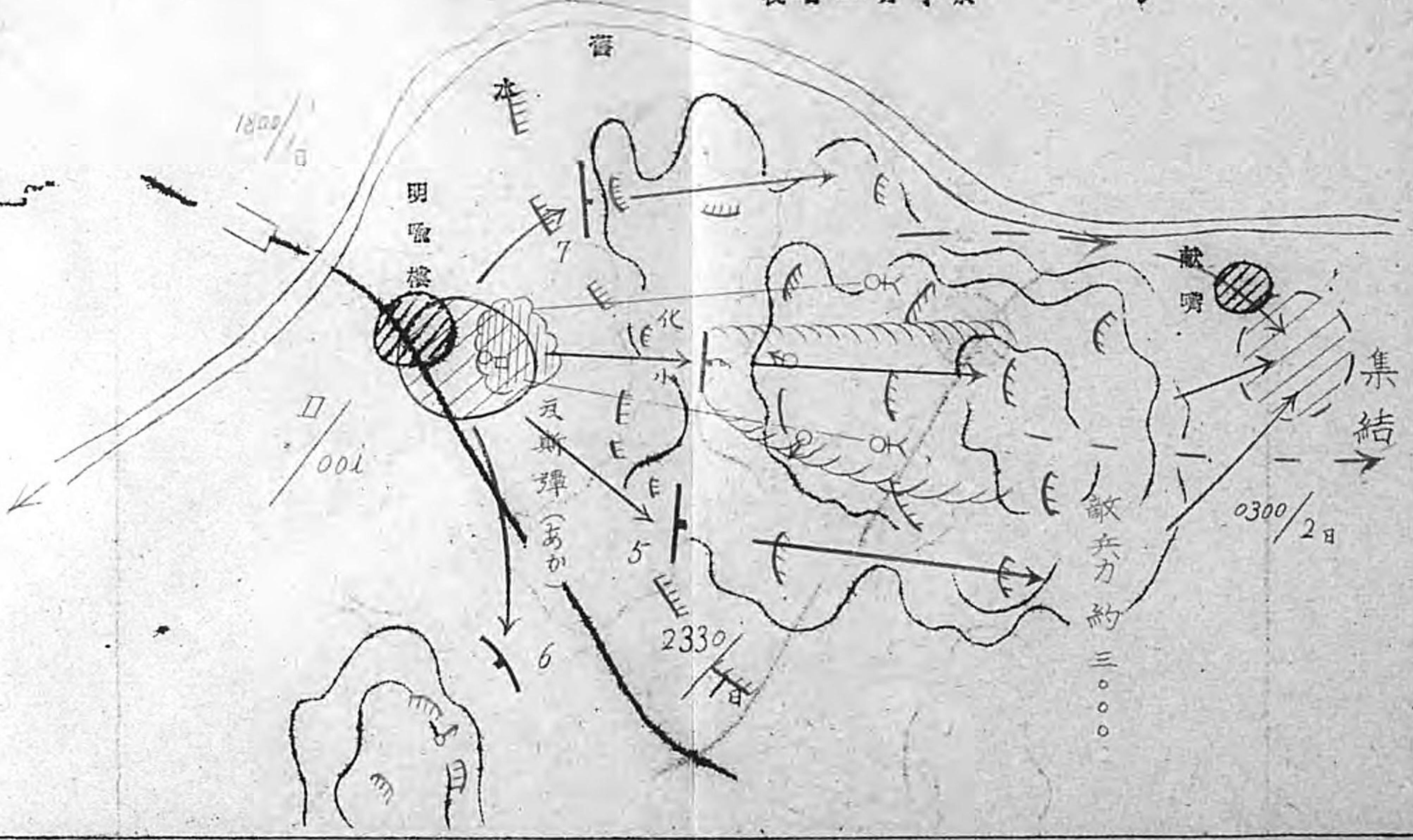


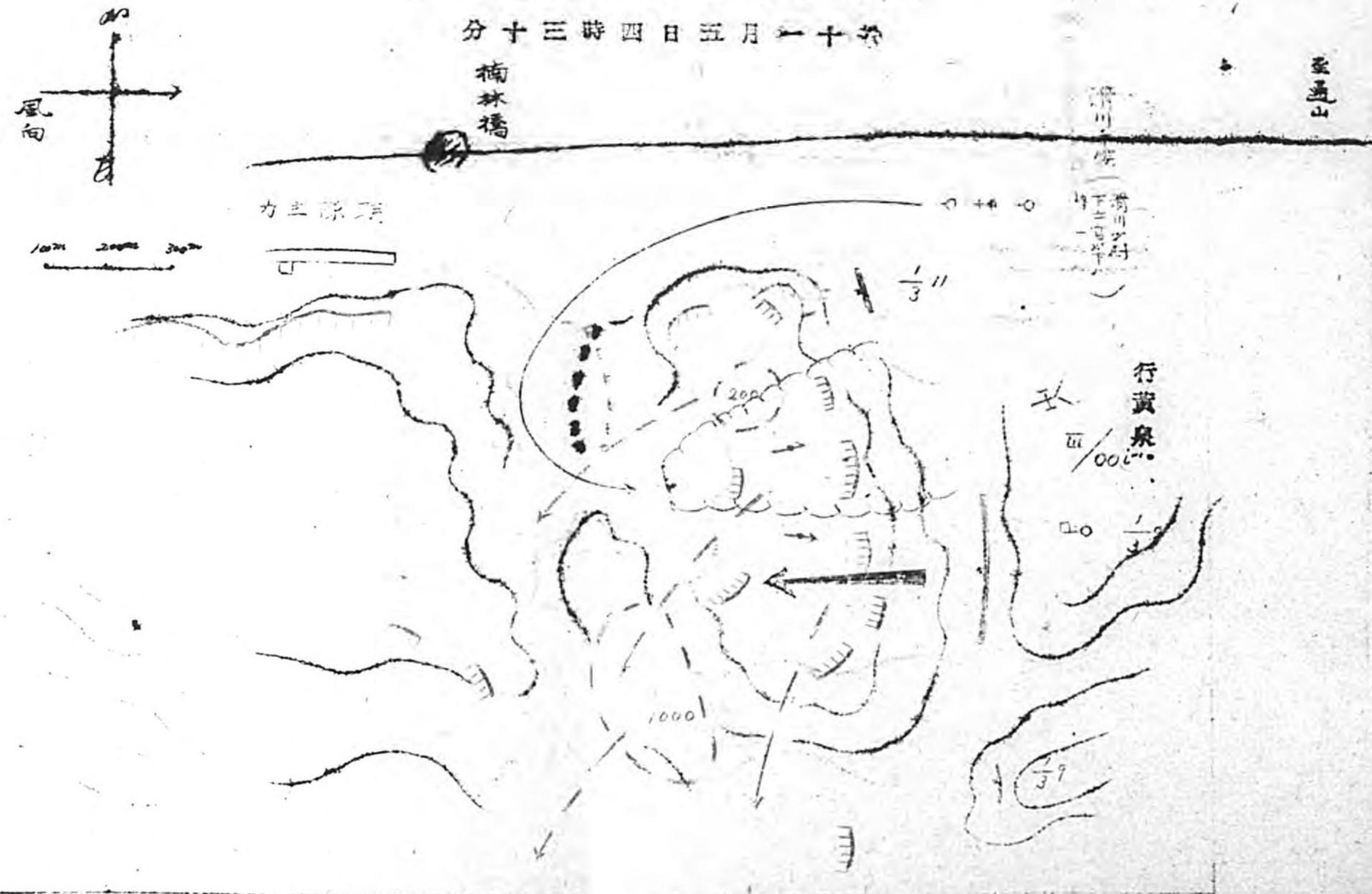
圖 要 過 程 圖 戰 近 附 . 嘯 猷
 夜 日 一 月 十 於



二六 夜間あか筒ヲ放射シテ縱深陣地ヲ突破シタル例

訓	教	要 概	過 程	圖 說	況 狀	一 般
此ノ際ハ カタク 果ヲ收メ ヲ活用シ テ防ヲ大 ナク成 スル化兵 ハ有利ニ 使用スル 機多シ	肉迫決死 隊トシテ 肉迫決死 隊トシテ 肉迫決死 隊トシテ	突ノ成果 ヲ利用シ テ一舉ニ 我ガ第一 線部隊一 其	放撃ト同 時ニ敵ニ 全	敵ニ與テ 大ニ精神 的	中効及成 果ノ利用 	使用筒數 西風ニ五 米
此ノ際ハ カタク 果ヲ收メ ヲ活用シ テ防ヲ大 ナク成 スル化兵 ハ有利ニ 使用スル 機多シ	肉迫決死 隊トシテ 肉迫決死 隊トシテ 肉迫決死 隊トシテ	突ノ成果 ヲ利用シ テ一舉ニ 我ガ第一 線部隊一 其	放撃ト同 時ニ敵ニ 全	敵ニ與テ 大ニ精神 的	中効及成 果ノ利用 	使用筒數 西風ニ五 米
此ノ際ハ カタク 果ヲ收メ ヲ活用シ テ防ヲ大 ナク成 スル化兵 ハ有利ニ 使用スル 機多シ	肉迫決死 隊トシテ 肉迫決死 隊トシテ 肉迫決死 隊トシテ	突ノ成果 ヲ利用シ テ一舉ニ 我ガ第一 線部隊一 其	放撃ト同 時ニ敵ニ 全	敵ニ與テ 大ニ精神 的	中効及成 果ノ利用 	使用筒數 西風ニ五 米

行黄泉附近戰圖經過要圖
於十一月四日四時三十分

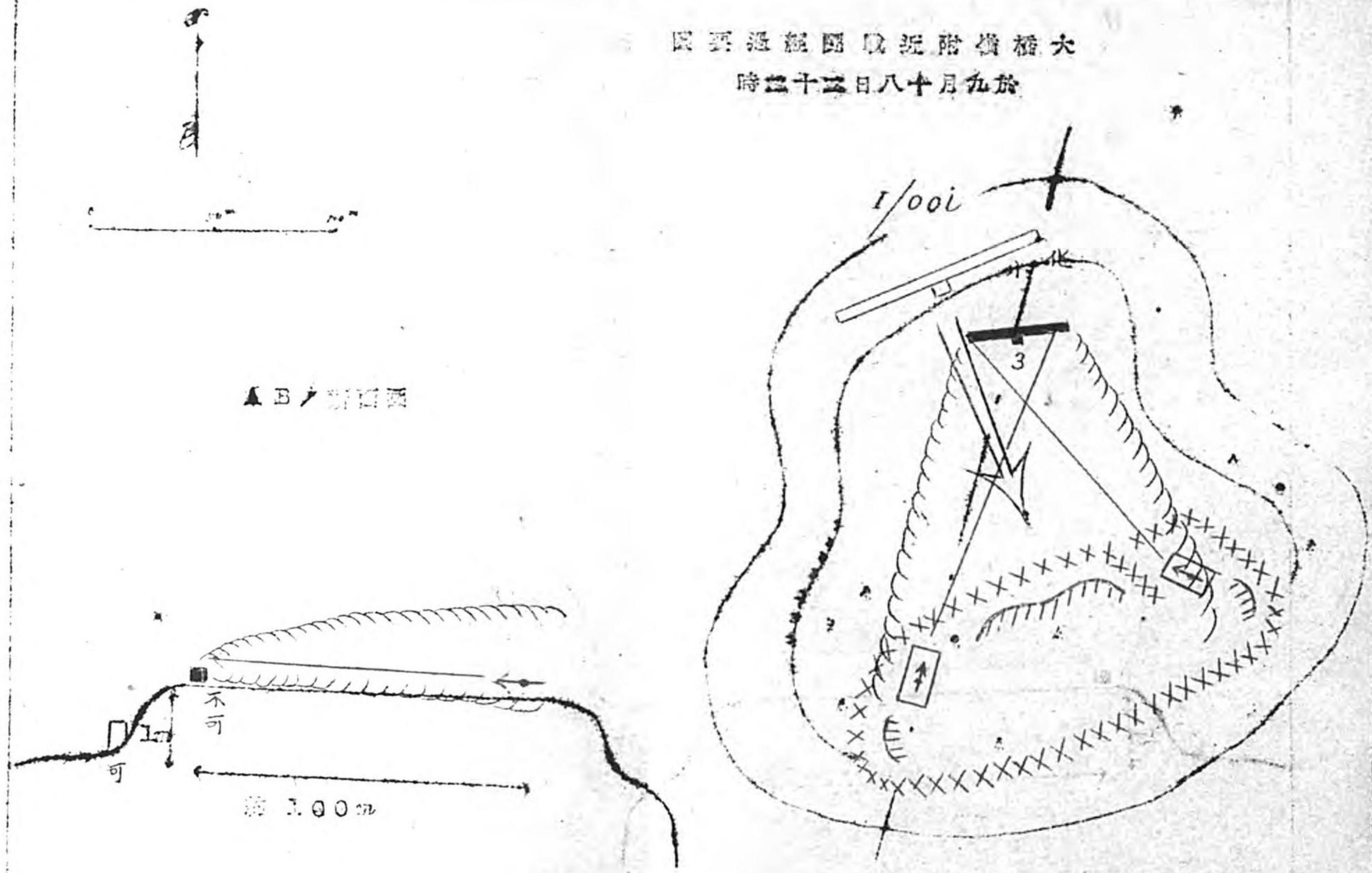


二八 將校斥候ガ夜暗ヲ利用シテ敵ノ背後ニ潛入シあか筒ヲ以テ
奇襲シ主力ノ夜間攻撃ヲ容易ナラシメタル例

制	敵	要術ヲ過江開戦	況狀ノ概一
夜暗ノ放射ニ於テハ 射位ノ放射ニ於テハ ノ賞施遮障ノ定並ニ工 光ノ防止ニ留意スル等 特ニ肝要ナリ	夜暗ノ放射ニ於テハ 射位ノ放射ニ於テハ ノ賞施遮障ノ定並ニ工 光ノ防止ニ留意スル等 特ニ肝要ナリ	一 晴天 北風 一五米 二 使用資材 三 中あか筒果六〇 四 効果及成ノノ大用 五 毒煙ハ敵陣ノ大部 六 蔽ト我ガ第一線ヲ 七 大橋ノ占領突入シテ 八 大橋ノ占領突入シテ 九 大橋ノ占領突入シテ 十 大橋ノ占領突入シテ	大橋嶺附近ノ敵ヲ撃 スベキ任務ヲ有ス ハ九月十八日薄暮以來 夜間攻撃準備中ナリ

三一 夜間ニ於ケル放射位置ノ選定不適當ナリシタメ結火ノ際敵火ヲ吸
取シテ放射部隊ノ被害甚大ナリシ例

大橋嶺附近開戦經過要図
於九月十八日二十二時



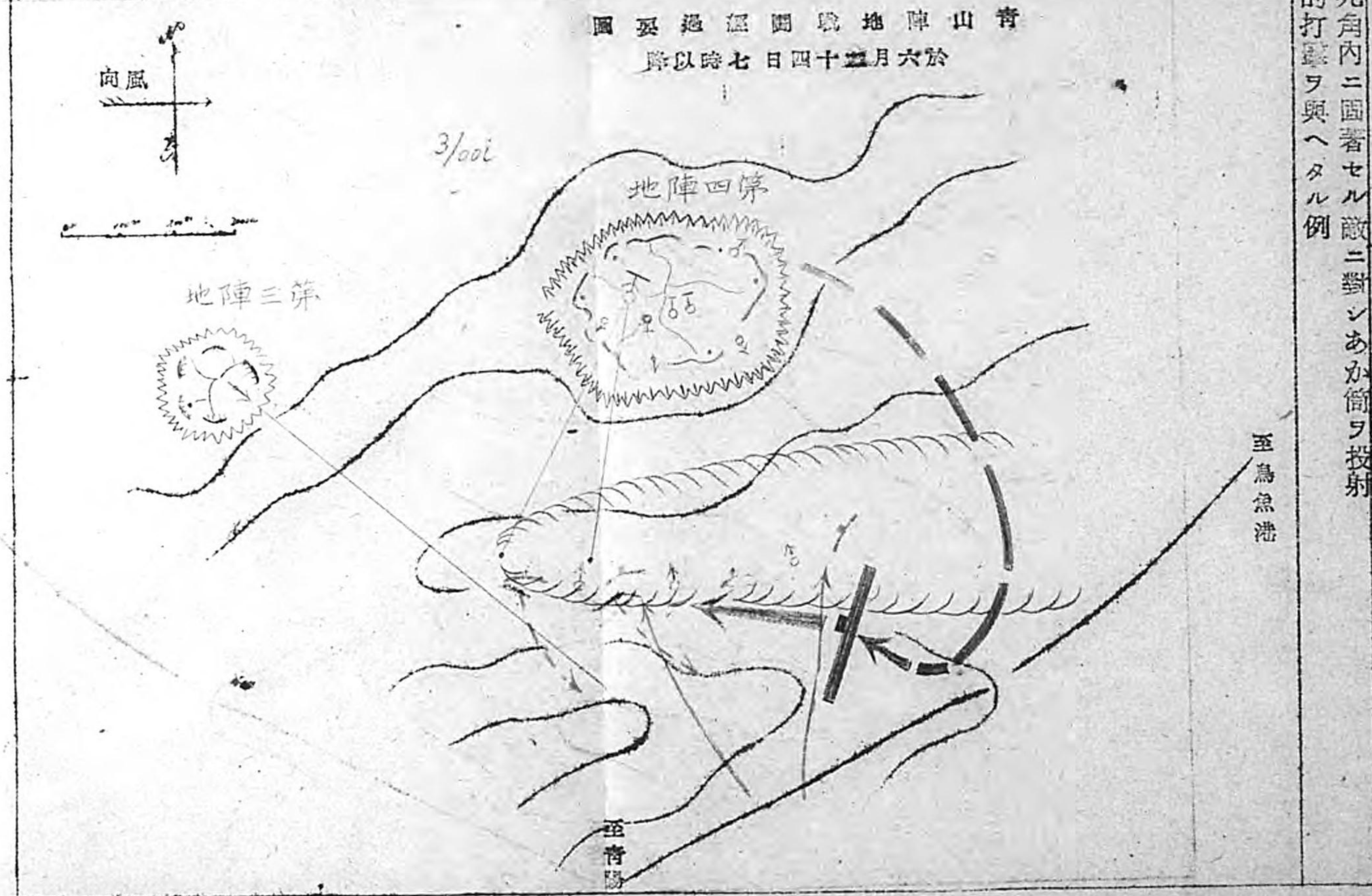
第四 防 禦

其ノ一 ．あか及煙 ．．．．．（例三二—三七）

其ノ二 き ．．．．．（例三八—四〇）

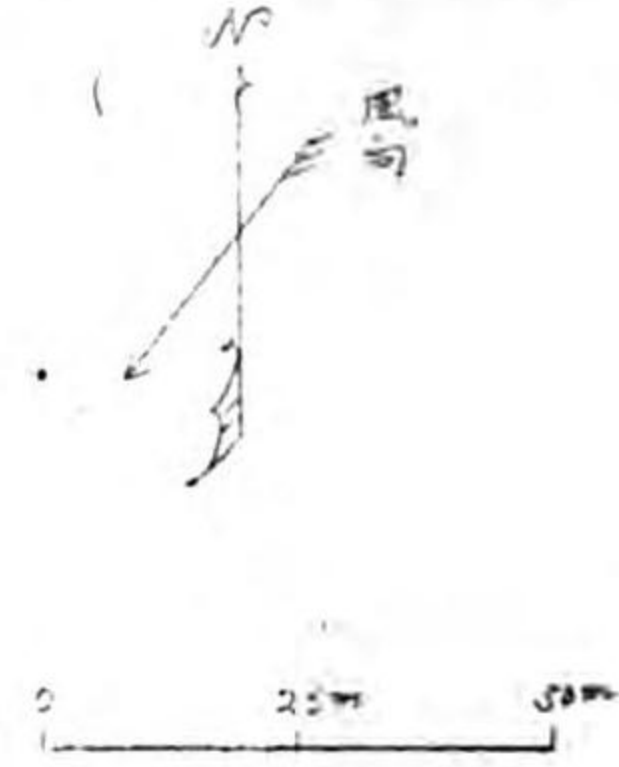
訓	教	要概ノ過經圖戰	況狀ノ級一
<p>此有赤陣他 協調ノ效筒前ノ 緊捉シ際ナノ死火 要職シ敵火ヲ投角力 ナスフ力射等ノ ヲ包及ハニ及 コ圓白極對バ トシ兵ヲ攻ザ 特テテ</p>	<p>捕協此有赤陣他 緊捉シ際ナノ死火 要職シ敵火ヲ投角力 ナスフ力射等ノ ヲ包及ハニ及 コ圓白極對バ トシ兵ヲ攻ザ 特テテ</p>	<p>フエノ混的我が中使投晴氣 捕突右亂投ガ果あ用射 捉入側セ射あ及か資距西風象 職シ背ルニ依筒材離約三 滅完コニ乘リノノ五 セ全リ敵急利 ヲニ一ヲ敵急利 之舉其ノ襲</p>	<p>ヲ角ル害ヲヲ六〇 失内モフ受ヲ優月〇 トニ第與ケ勢二聯 固敵四ヘ之ナ十隊 着約陣テニ多敵日三 シ百地擊多ノ夜中 ア名南退大ノ來隊 リ退側シノノ來隊 路死タ損攻</p>

青山陣地戰圖
 於六月十四日七時以除

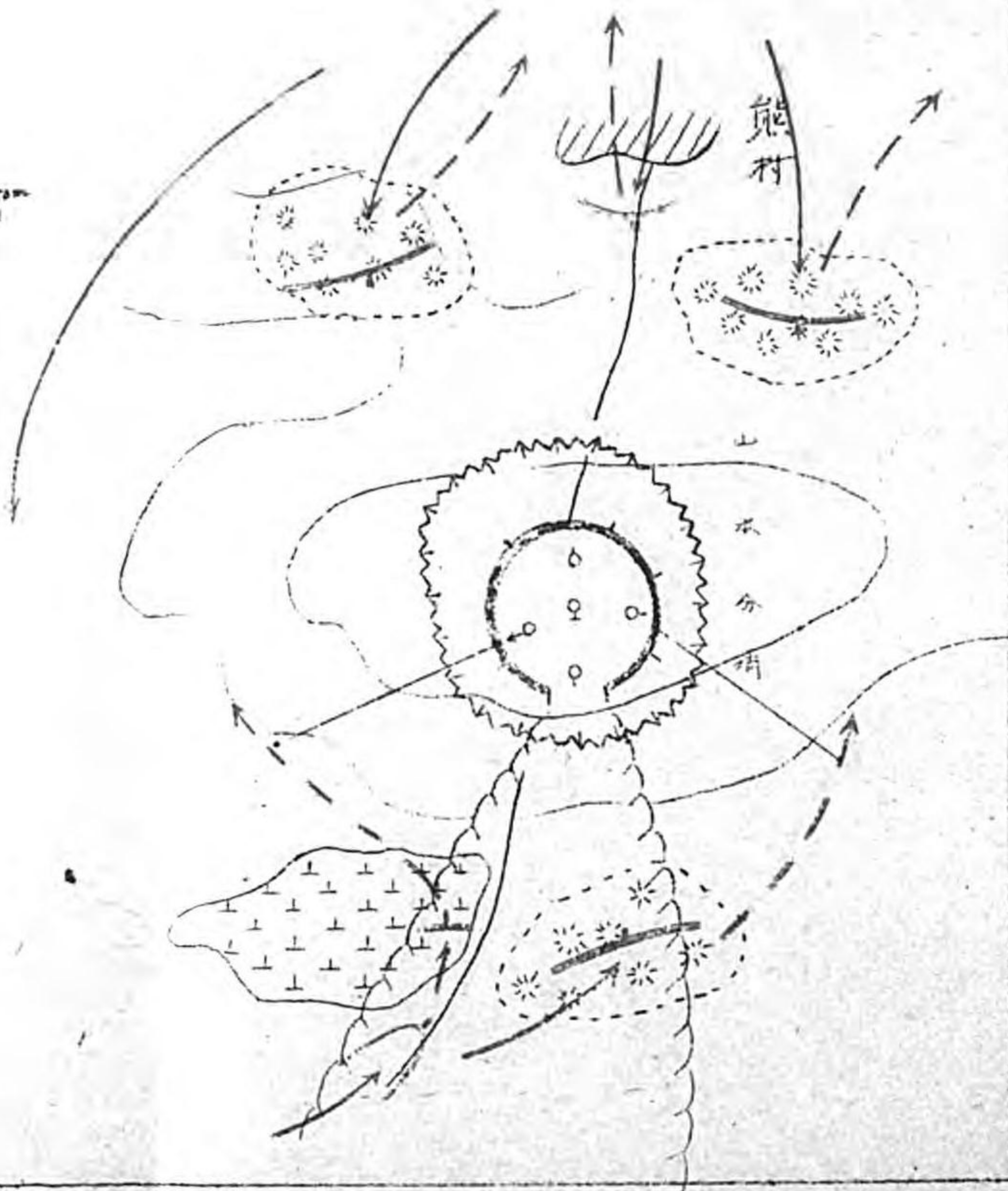


三三
 陣地前ノ死角内ニ固著セル敵ニ對シあか筒ヲ投射
 シテ殲滅的打撃ヲ與ヘタル例

訓	敵	要 概 ノ 過 程 圖 戰	況 狀 ノ 般
フ任克ノス離隊小分 得務ク包ルモハ據點ノ ヲ之團時巧僅少ヲ如 達ヲニハニ少ノ占ク 成撃對優火ノあ領獨 ス退シテナトかス立 ルシテモル併筒ルシ コ其モル敵用ト部 トノ尙敵用ト部	クシ遺本セノ地退害併毒リ敵效中使 タ分業戦シ攻ヲシフ用燿タハ果あ用 リ哨死闘ヲ撃砲二與シ及ル反及か資 ハ体ニタ企保日へ甚火モ覆成筒材 賞百於リ圖シ間テ大力其突果 同餘テフ途克之ナフノ撃ノ一 フヲ敵挫ニクアル巧都シ利五 受算ノ折敵陣撃損ニ度來用	四 三 二 一 放 射 距 離 米 約 四 北 東 風 五 四 〇 〇 米 一	熊 村 南 方 最 前 線 十 二 月 山 本 分 哨 二 日 夜 半 約 二 百 ノ 敵 一 四 五 十 米 二 近 追 ン 完 全 包 圍 攻 撃 ス ン ニ 至 ン



村 附 近 戰 斗 經 過 要 圖
於 十 二 月 十 一 日 時 以 降



三四
長 少 間 傳 地 確 保 射 遂 二 兵 力 攻 勢 企 圖 補 挫 折 勢 ン ナ ル 敵 二 對 ン

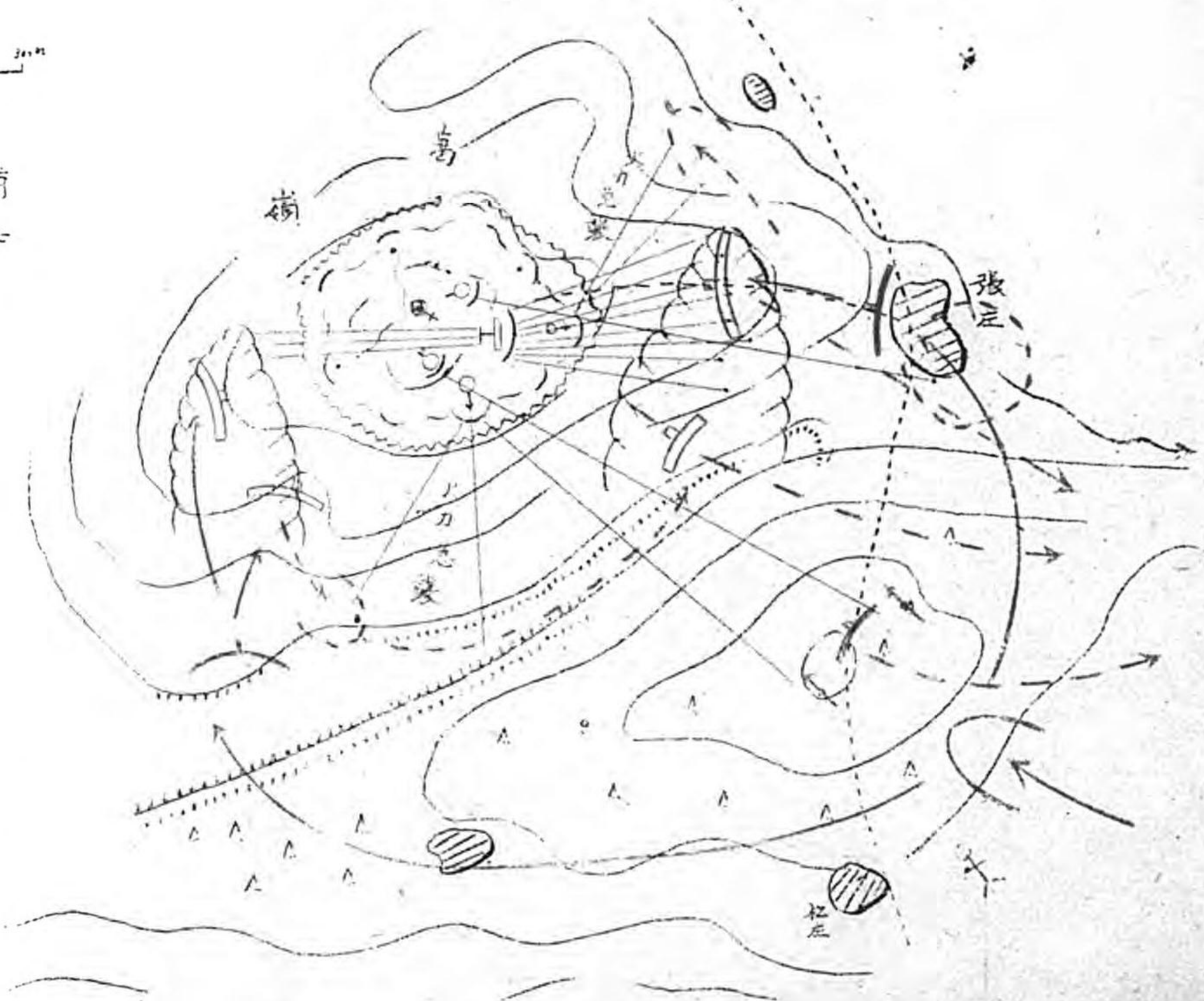
訓	要概ノ過經闘戦	況状ノ般一
一齊發射台ハ僅少ノ 人員ヲ以テ多數ノ シ速ニ使用シ得ル アカ筒ハ小銃點射 機ニテハ活ノ機 多シテハ活ノ機 此ノ際ハ逃走ス ルニ對シテハ火カ 以テ急襲スルコト 必要ナリ	一 北東乃至北 二 北東乃至北 三 北東乃至北 四 北東乃至北 五 北東乃至北 六 北東乃至北 七 北東乃至北 八 北東乃至北 九 北東乃至北 十 北東乃至北 十一 北東乃至北 十二 北東乃至北 十三 北東乃至北 十四 北東乃至北 十五 北東乃至北 十六 北東乃至北 十七 北東乃至北 十八 北東乃至北 十九 北東乃至北 二十 北東乃至北	葛嶺警備小隊ハ九月 長以下五ノ近ク 二十五日天明ニ 迫撃砲一機關銃二 迫撃砲一機關銃二 有スル約二〇ノ數 ノ攻撃ノ受ク

三五 あか筒ノ一齊發射台ヲ使用シテ少數ノ人員ヲ以テ優勢ナル敵ノ包圍攻撃ヲ頓挫マンメタル儀

葛嶺附近戰鬥經過要圖
 於九月二十五日拂曉

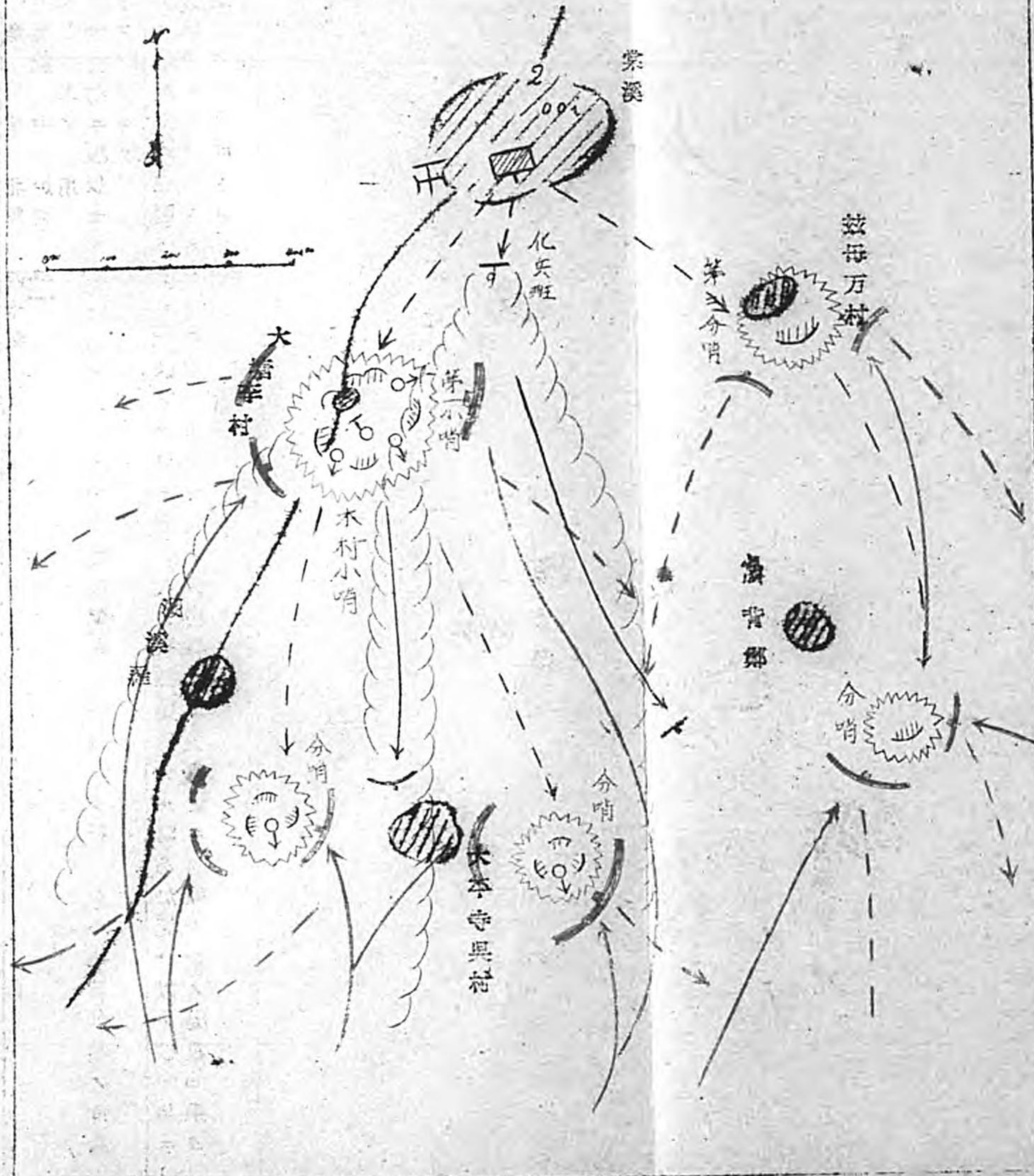


0 100 200 300



備考
 一 齊發射台ハ發射機ハ筒又ハ同本煙筒ヲ
 一 南同時發射機得レヤシ設備シテルモノニシテ
 四周ニ對シテ使用シ得

業溪附近團經通要圖
於二十二月二十八日十四分

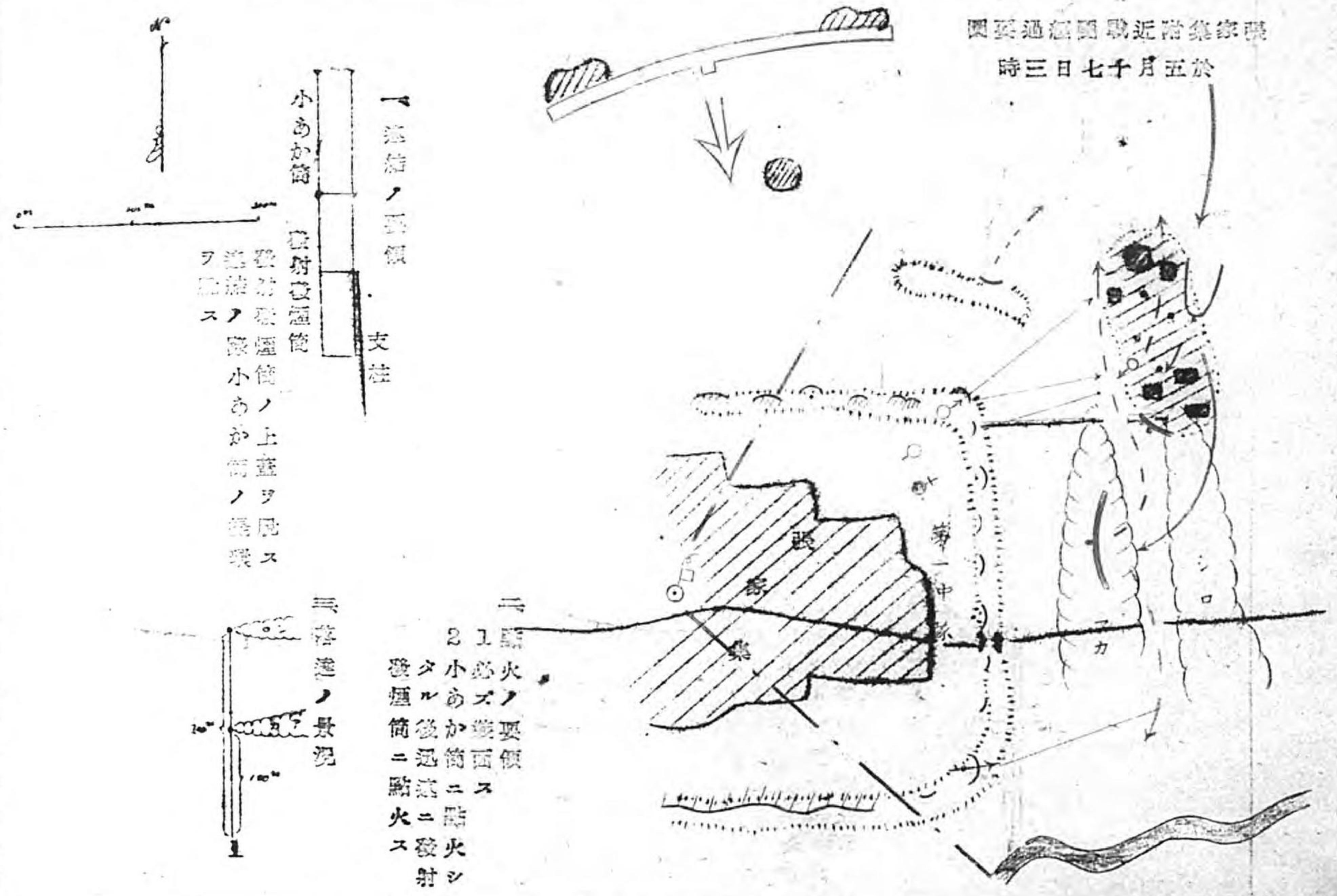


訓練	戰況	要
敢包優 然敵勢 逆制ナ 襲スル スル ノヲ 可利ト トス	三三 急效果 放の放 得射成 タニ果 リノ 狼利用 狽ハ 敵ハ 我ハ 勇敢 ナル 運中 突撃 ニ ヨリ 退却 ヲ 開始 シ 小哨 及分 哨ノ 危急	況狀ノ 決シ 中隊 放射 セリ ル 業二 溪中 ニ在 リ シ 中隊 長ハ 二日 拂給 折柄 ノ風 向ヲ 利用 シ あ か 筒ヲ 使 用 シ テ 敵 ノ 混 亂 ニ 乗 ジ ル ハ 先 ヅ 大 橋 幸 村 ヲ 包 圍 セ ル 敵 ニ 對 シ 放 射 セ シ ム 木 村 小 哨 又 之 ニ 對 シ

敵ノ重圍下ニ在ル分隊ニ對シあか筒ヲ以テ彼我共ニ包蔽
シ危急ヲ救ヒタル例

訓	教	要術ノ通達	戰國ノ通達	一ノ狀	二ノ狀	三ノ狀	四ノ狀	五ノ狀	六ノ狀	七ノ狀	八ノ狀	九ノ狀	十ノ狀
要ニ ス創 意即 工應 夫ス 如ル ク現 テ常	ハ新 ハ火 ハ力 ハ大 ハ精 ハ神	ハ威 ハ力 ハ大 ハ精 ハ神	ハ威 ハ力 ハ大 ハ精 ハ神	ハ威 ハ力 ハ大 ハ精 ハ神	ハ威 ハ力 ハ大 ハ精 ハ神	ハ威 ハ力 ハ大 ハ精 ハ神	ハ威 ハ力 ハ大 ハ精 ハ神	ハ威 ハ力 ハ大 ハ精 ハ神	ハ威 ハ力 ハ大 ハ精 ハ神	ハ威 ハ力 ハ大 ハ精 ハ神	ハ威 ハ力 ハ大 ハ精 ハ神	ハ威 ハ力 ハ大 ハ精 ハ神	ハ威 ハ力 ハ大 ハ精 ハ神

三七 射發煙筒ト小あか筒トヲ連結使用シテ效果甚大ナリシ例



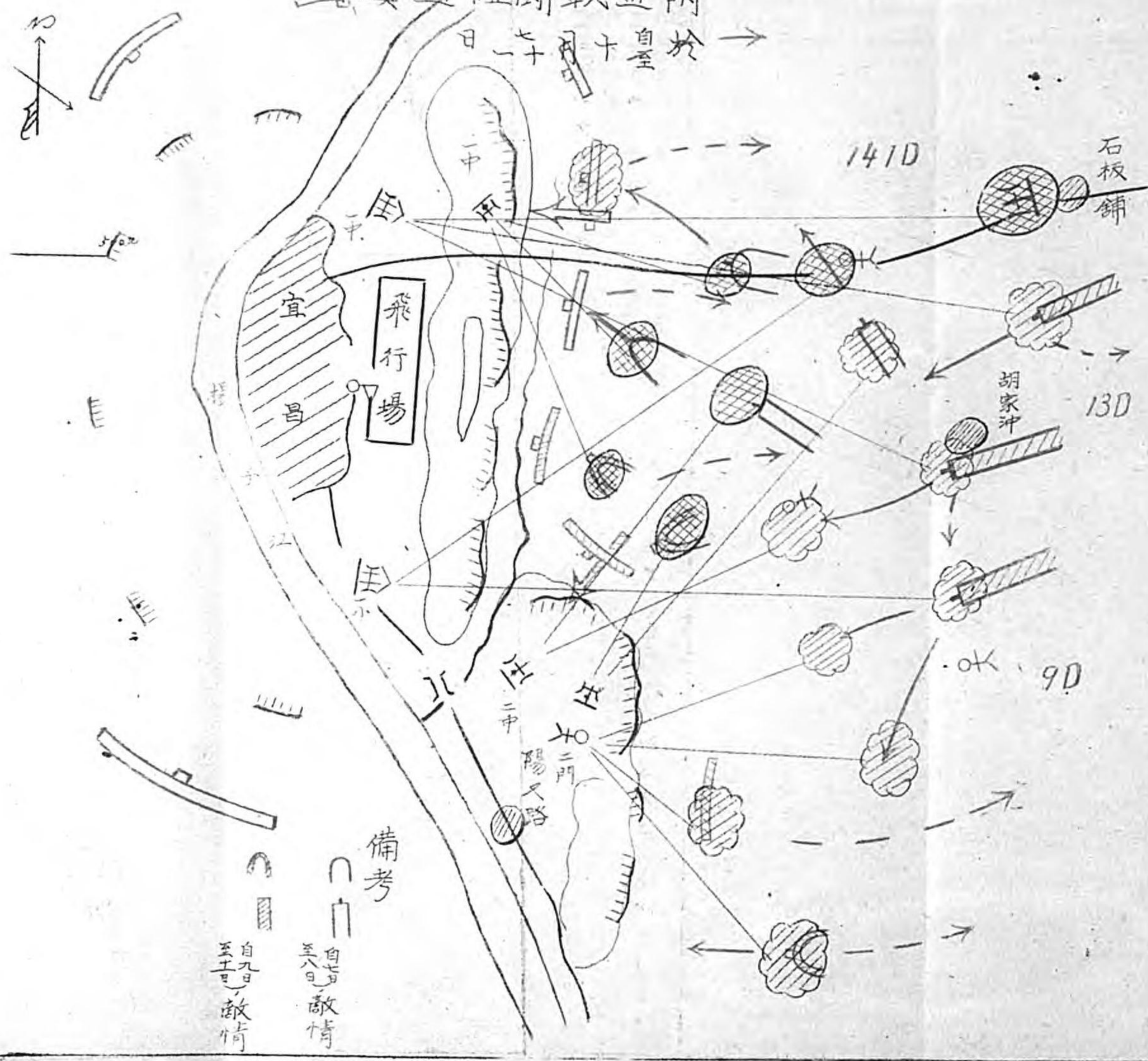
四〇 さい弾及あか弾ヲ稍々大規模ニ使用シ優勢ナル敵ノ包圍攻撃ヲ頓挫セシメタル例

蒋介石ハ長沙作戰間我ガ宜昌地區一帯ヲ警備兵力ノ著シク減少シアラフヲ知ルヤ第六戰區長官張誠ニ對シ宜昌奪還ヲ嚴命セリ

戰況ノ要略		戰況ノ要略	
一	七八九日 晴 北西風 約一五米	一	支那軍ニ對シテハ砲兵ヲ瓦斯彈ニ依リ迅速ナル火力機動ニ依リ廣正面ニ互リ制壓效力ヲ收メ敵ノ企畫ヲ挫折セシムルコトヲ得
二	使兩彈數 約一五〇〇發	二	あか彈及さい彈ヲ併用スル場合ハ遠距離ニさい彈ヲ近距離ニあか彈ヲ使用スルヲ可トス
三	あか彈 約一五〇〇發	三	敵ノ攻撃企圖ヲ挫折シタルノミナラズ密偵報其ノ他諸情報ヲ綜合スルニ瓦斯ノ效果ハメテ大ナリシモノノ如ク

附近戰鬪經過要圖

自十月十一日



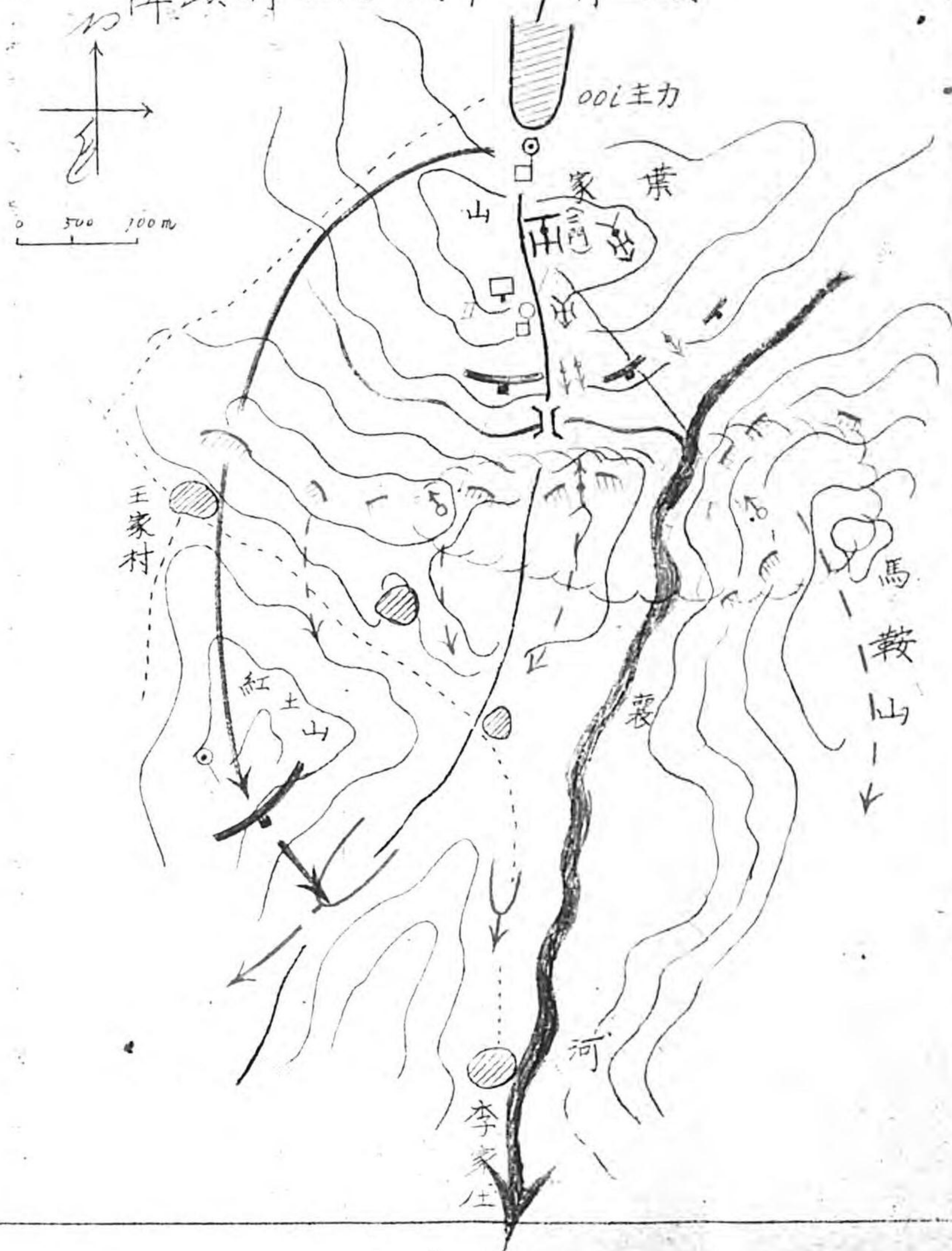
備考
自七月 敵情
自八月 敵情
自九月 敵情

第五 追撃及戰場離脱

其ノ一 あ か……………(例四一—四三)

其ノ二 き い……………(例四四)

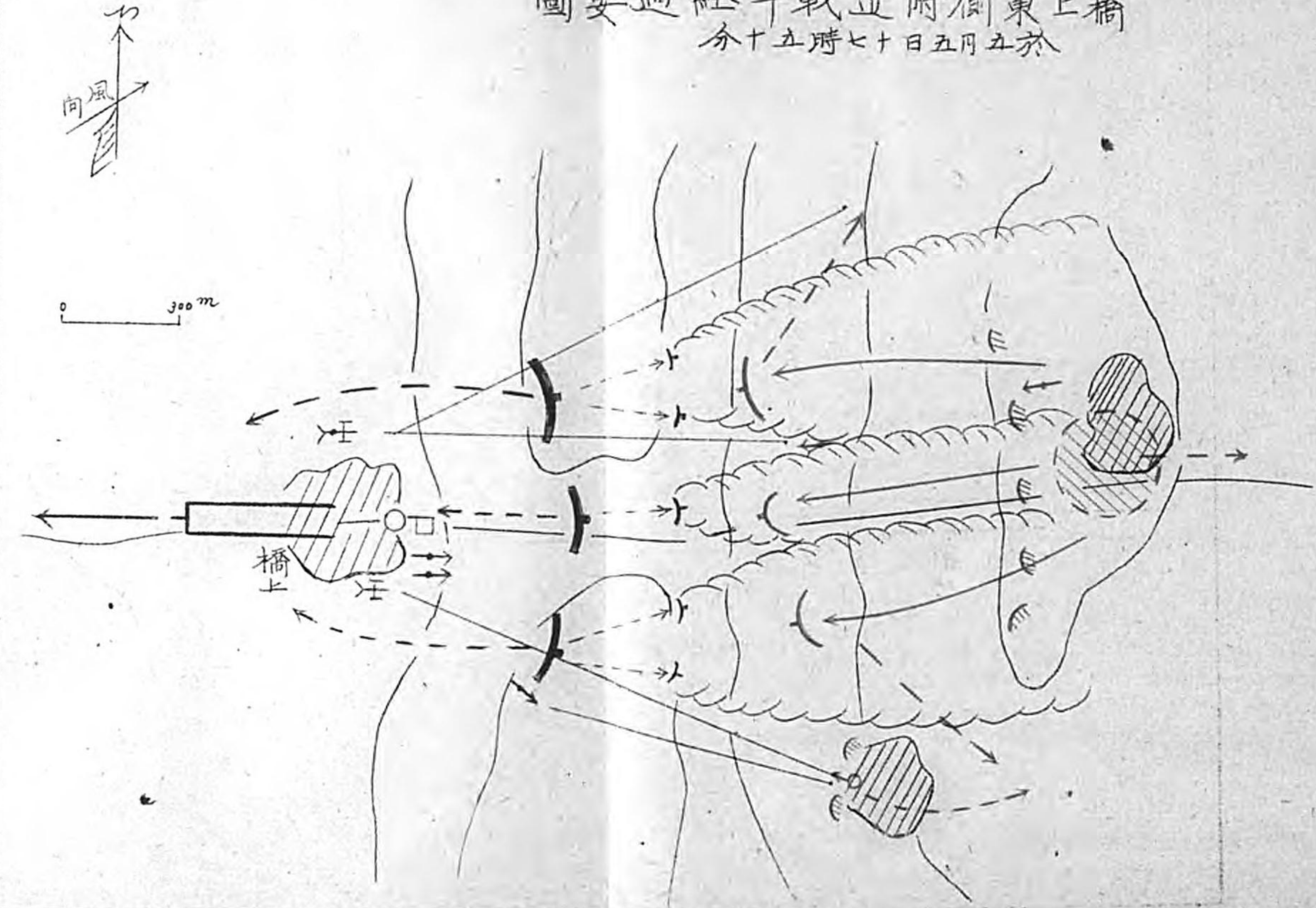
葉家山附近戰鬥經過要圖
於五月二十六日九時以降



訓 效	要 概	戰 況	概 況
<p>追撃中敵ヲ捕捉スルニ必要ナリ</p>	<p>三 効果及成果利用 風速小ニシテ良ク低迷シ敵ハ南方ニ潰亂セリ此ノ機ニ乘リ支隊主力ハ紅土山方向ヨリ敵ノ退路ニ突進シ之ニ殲滅的打撃ヲ與ヘタリ</p>	<p>一 氣象 西風</p> <p>二 使用彈數 〇五米</p>	<p>四二 あか彈射撃ニ依リ敵ノ收容部隊ヲ迅速ニ撃退シ退却中ノ敵主力ヲ捕捉殲滅シタル例</p> <p>葉家山北方ニ於テ敵ヲ撃破シ追撃中ナル〇〇支隊ノ前衛タル第二大隊ハ葉家山南側高地ノ收容部隊ニ對シ二十六日拂曉ヨリ攻撃中ナリ</p>

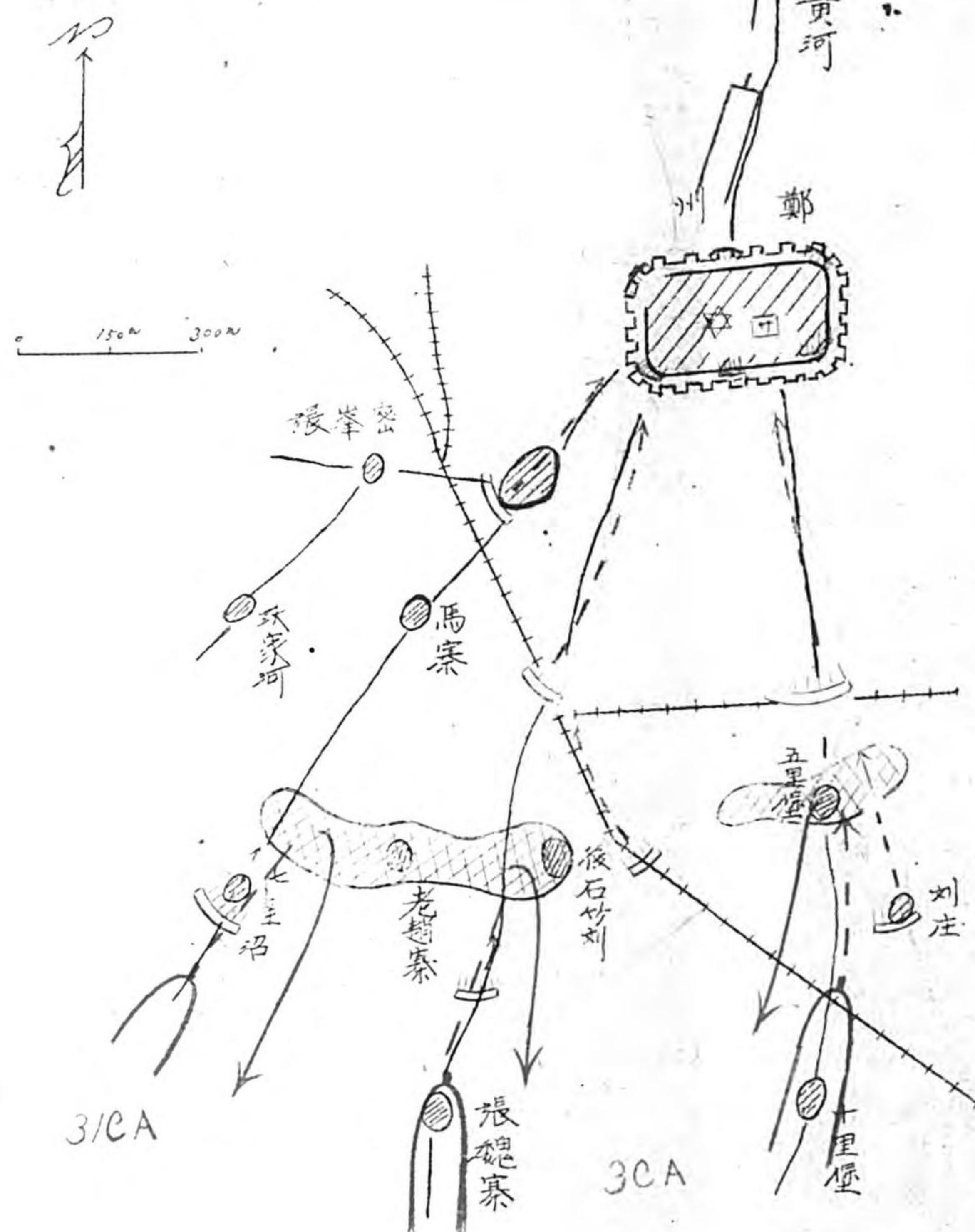
訓	教	要概ノ過経闘戦	況状ノ般一
<p>ナリ併用スルコト肝要</p> <p>此ノ際一部火力遊撃</p> <p>トスニ離脱スルヲ可</p> <p>間内ニ利シテ短時</p> <p>巧ニ用シテ蔽果ヲ</p> <p>シ制及遮敵ノ短時</p> <p>ル時ハあか倚ヲ使</p> <p>畫間戦場離脱ヲ要</p>	<p>畫間戦場離脱ヲ要</p> <p>ル時ハあか倚ヲ使</p> <p>巧ニ用シテ蔽果ヲ</p> <p>間内ニ利シテ短時</p> <p>トスニ離脱スルヲ可</p> <p>此ノ際一部火力遊撃</p> <p>ナリ併用スルコト肝要</p>	<p>一 離我效中使晴氣</p> <p>二 不離我效中使晴氣</p> <p>三 不離我效中使晴氣</p> <p>四 不離我效中使晴氣</p> <p>五 不離我效中使晴氣</p> <p>六 不離我效中使晴氣</p> <p>七 不離我效中使晴氣</p> <p>八 不離我效中使晴氣</p> <p>九 不離我效中使晴氣</p> <p>十 不離我效中使晴氣</p>	<p>橋上東側地匭ヲ占領</p> <p>シテ力ヲ大ニ速カ</p> <p>中ナリシテ大ニ速カ</p> <p>ラニ主カニ追及シテ</p> <p>命ヲ救フ</p>

橋上東側附近戰鬥經過要圖
 於五月十七日十七時十分



四三 毒煙ノ制壓及遮蔽效果ヲ併用シテ戰場離脱ヲ容易ナラシメタル例

鄭州附近戰鬪經過要圖
於十一月三十日十四時以降



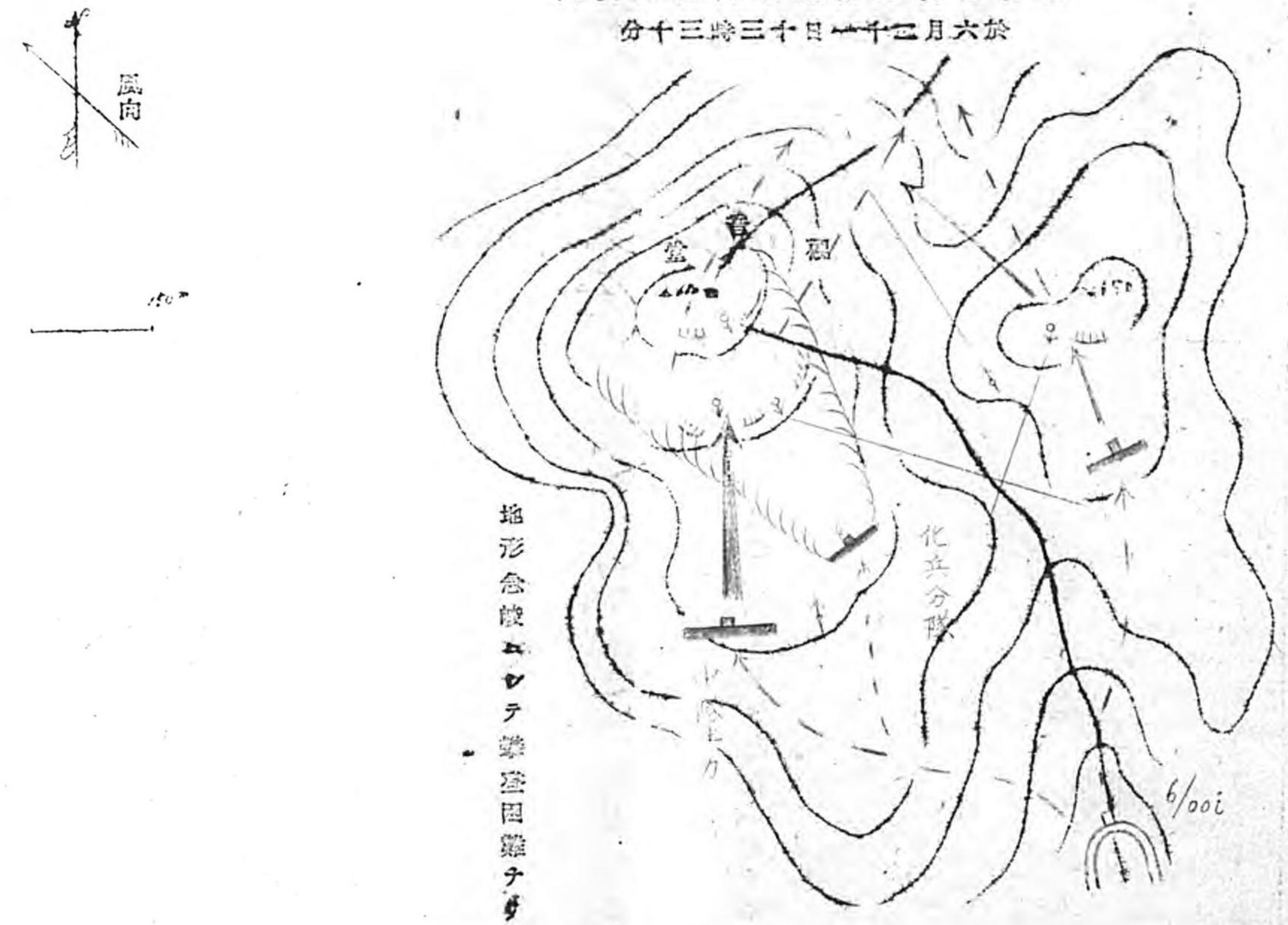
訓教	要點ノ過經關戰	況狀ノ般一
戰場離脫ノタメ要點ニ撤毒セバ小量ノさい劑ト雖モ效果大ナリ	<p>四 敵ノ前進ヲ完全ニ阻止シテ主力ノ撤退ヲ容易ナラシメタルノミナラズ密偵報其ノ他諸情</p> <p>三 所用毒量 約三三〇砵</p> <p>二 所要時間 約一時間</p> <p>一 敵ノ綜合スルニ敵ハ甚大ナル損害ヲ受ケ周章狼狽シテ後退セルモノノ如シ</p>	<p>師團ハ十月三十一日黃河北方ニ轉進ヲ開始セリ</p> <p>四 四 きい劑ヲ以テ敵進路上ノ要點ヲ封鎖シテ部隊ノ撤退ヲ容易ナラシメタル例</p> <p>一 氣象 快晴 南風 約二米</p> <p>二 氣温 二七・五 (〇) 地皮温 二五・〇 (〇)</p>

第六 特殊地形ニ於ケル戰鬪

- 其ノ一 山地ノ戰鬪……………(例四五—四七)
- 其ノ二 河川ノ戰鬪……………(例四八—五〇)
- 其ノ三 住民地ノ戰鬪……………(例五一—五三)
- 其ノ四 洞窟ノ戰鬪……………(例五三)

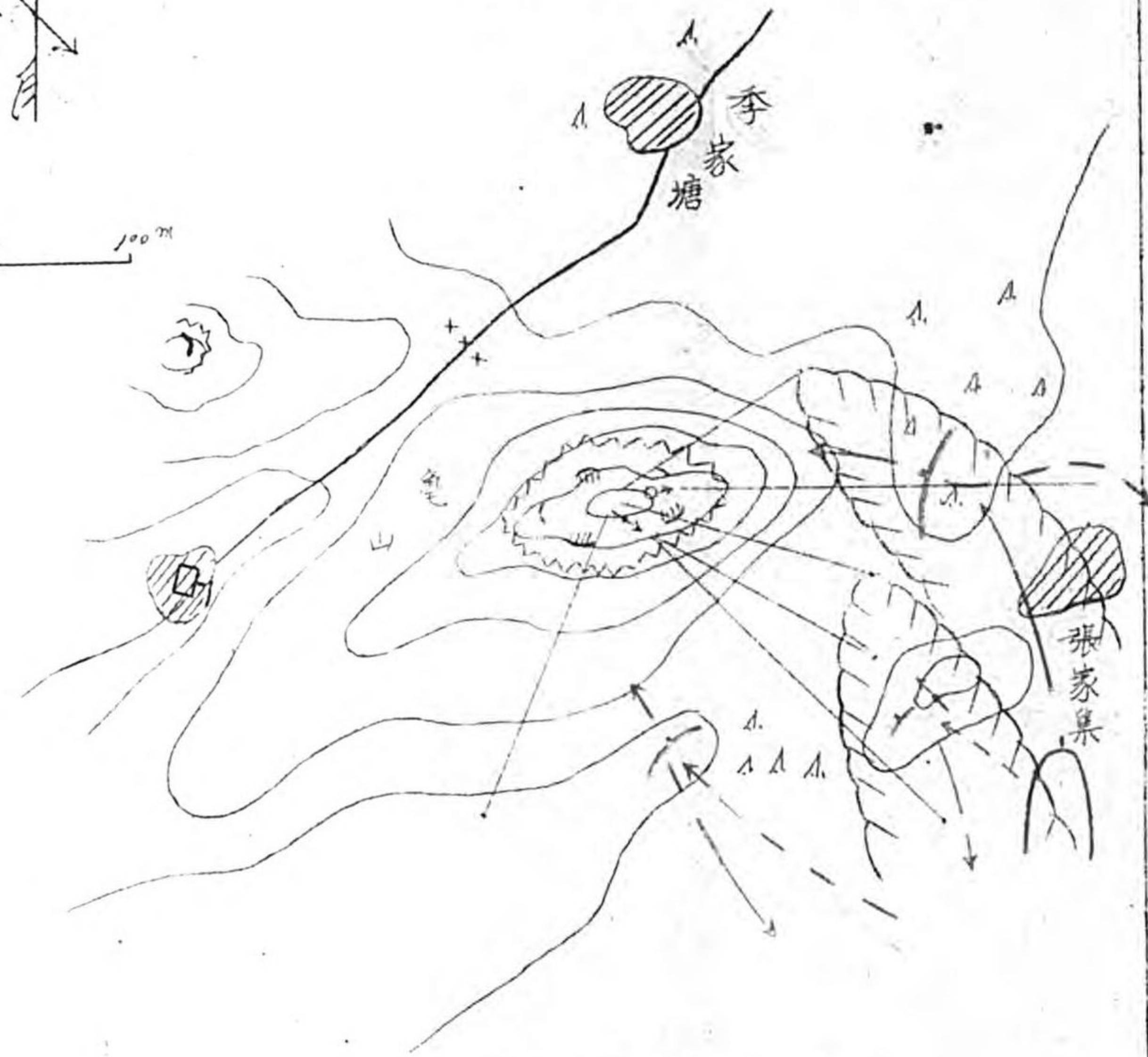
圖	敵	要 點 ノ 造 經 同 戰	況 狀 ノ 概 要
三	山頂ノ天險ヲ利用シテハ死傷ノ多クシテ後山ノ谷風ノ射撃ノ要ナリ	<p>一 敵ノ陣地ハ山頂ノ天險ヲ利用シテハ死傷ノ多クシテ後山ノ谷風ノ射撃ノ要ナリ</p> <p>二 我々ノ陣地ハ山頂ノ天險ヲ利用シテハ死傷ノ多クシテ後山ノ谷風ノ射撃ノ要ナリ</p> <p>三 敵ノ陣地ハ山頂ノ天險ヲ利用シテハ死傷ノ多クシテ後山ノ谷風ノ射撃ノ要ナリ</p> <p>四 我々ノ陣地ハ山頂ノ天險ヲ利用シテハ死傷ノ多クシテ後山ノ谷風ノ射撃ノ要ナリ</p>	<p>六月二十一日正午以來攻撃軍</p> <p>600</p> <p>ハ谷地ノ死角ヲ利</p> <p>用シテ敵ニ近接シ六月</p> <p>二十一日正午以來攻撃軍</p>

戰 況 概 要 圖
 於六月二十一日三十分

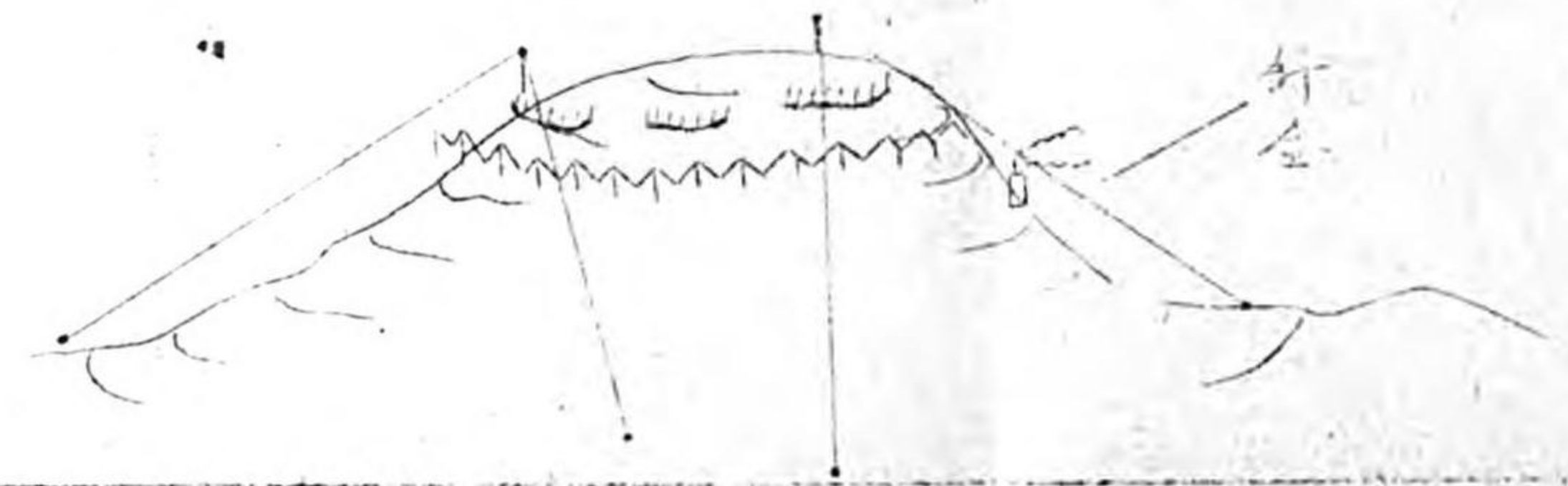


谷風ノ特性ヲ利用シテあか筒ヲ放射シ峻峻ナル山頂ノ敵陣地ヲ奪取シ敵ニ甚大ナル損害ヲ與ヘタル例

龜山附近戰鬥經過要圖
於九月十六日九時三十分



吊下裝置側面圖



一般狀況

龜山小峰ハ九月十六日薄暮約二百ノ敵ノ攻撃ヲ受シ

四七 山頂ヨリあか筒ヲ吊下ゲ攻撃前進中ノ敵ヲ潰亂センメタル例

一 氣象狀況 晴 北北西風 約三米

二 使用資材

中あか筒 四
三 效果及成果ノ利用
四 敵ハ遠期ヲザルニシテ全ク周章狼狽シテ潰亂セリ

兵力劣勢ナル小嶺點防禦ニ於テ此ノ亂放射設備ヲ考究セバ風向ノ如何ニ不拘使用シ得ベシ

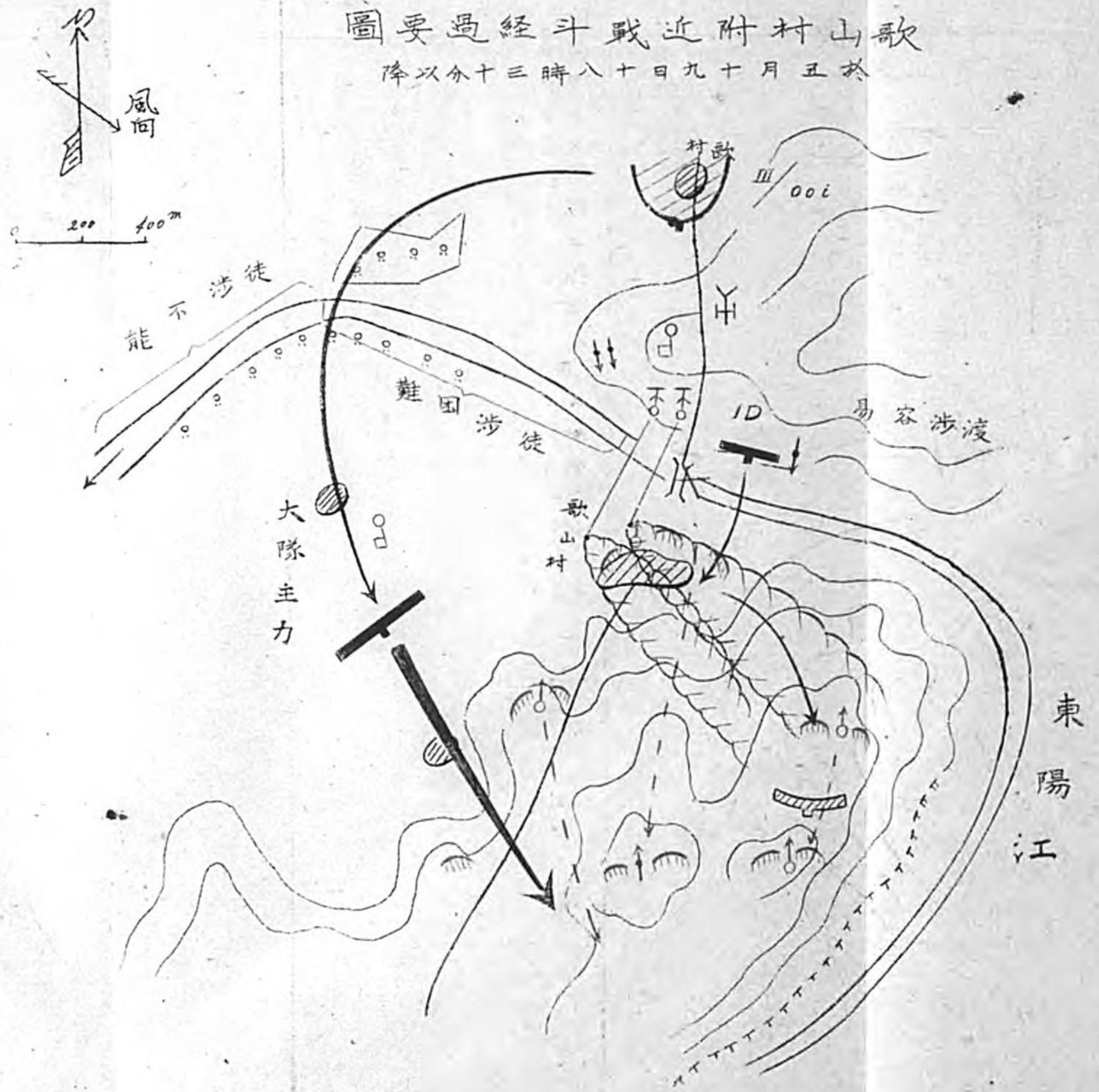
敵ハ遠期ヲザルニシテ全ク周章狼狽シテ潰亂セリ

四八 渡河攻撃ニ於テあか筒ヲ投射シテ敵ヲ捕捉殲滅シタル例

歌山村南側高地ヲ確保シテ聯隊主力ノ渡河ヲ容易ナラシムベキ任務ヲ有スル第三大隊ハ五月十九日正午以來攻撃準備中ニシテ大隊長ハ十七時迄ニ要圖ノ如キ敵狀及地形ヲ知ル

訓練	要概ノ過程	戰況ノ概
一 渡河攻撃ニ於テ敵ノ正面ニ牽制シテ主力ヲ以テ包圍ノ態勢ヲ整ヘタル後不意ニあか筒ヲ投射シテ敵ヲ攪亂セシメ一舉ニ捕捉殲滅スルヲ要ス	一 氣象 晴天 氣温 北西風 約四五〇米 約四五〇米	一 氣象 晴天 氣温 北西風 約四五〇米 約四五〇米
二 渡河攻撃ニ於テ敵ノ正面ニ牽制シテ主力ヲ以テ包圍ノ態勢ヲ整ヘタル後不意ニあか筒ヲ投射シテ敵ヲ攪亂セシメ一舉ニ捕捉殲滅スルヲ要ス	二 使用資材 中あか筒	二 使用資材 中あか筒
三 渡河攻撃ニ於テ敵ノ正面ニ牽制シテ主力ヲ以テ包圍ノ態勢ヲ整ヘタル後不意ニあか筒ヲ投射シテ敵ヲ攪亂セシメ一舉ニ捕捉殲滅スルヲ要ス	三 效果及成果 利用 風速ノ小ナリシタメ毒煙ハ村落内ニ低迷滯溜シ敵ノ主力ハ後方陣 地ニ潰走シ其ノ一部ハ村落内ニ於テ呻吟苦悶セリ	三 效果及成果 利用 風速ノ小ナリシタメ毒煙ハ村落内ニ低迷滯溜シ敵ノ主力ハ後方陣 地ニ潰走シ其ノ一部ハ村落内ニ於テ呻吟苦悶セリ
四 渡河攻撃ニ於テ敵ノ正面ニ牽制シテ主力ヲ以テ包圍ノ態勢ヲ整ヘタル後不意ニあか筒ヲ投射シテ敵ヲ攪亂セシメ一舉ニ捕捉殲滅スルヲ要ス	四 地形 第十隊ヨリ敵ヲ奇襲シテ之ヲ捕捉殲滅セリ	四 地形 第十隊ヨリ敵ヲ奇襲シテ之ヲ捕捉殲滅セリ

歌山村附近戰鬥經過要圖
於五月十九日十八時三十分以降



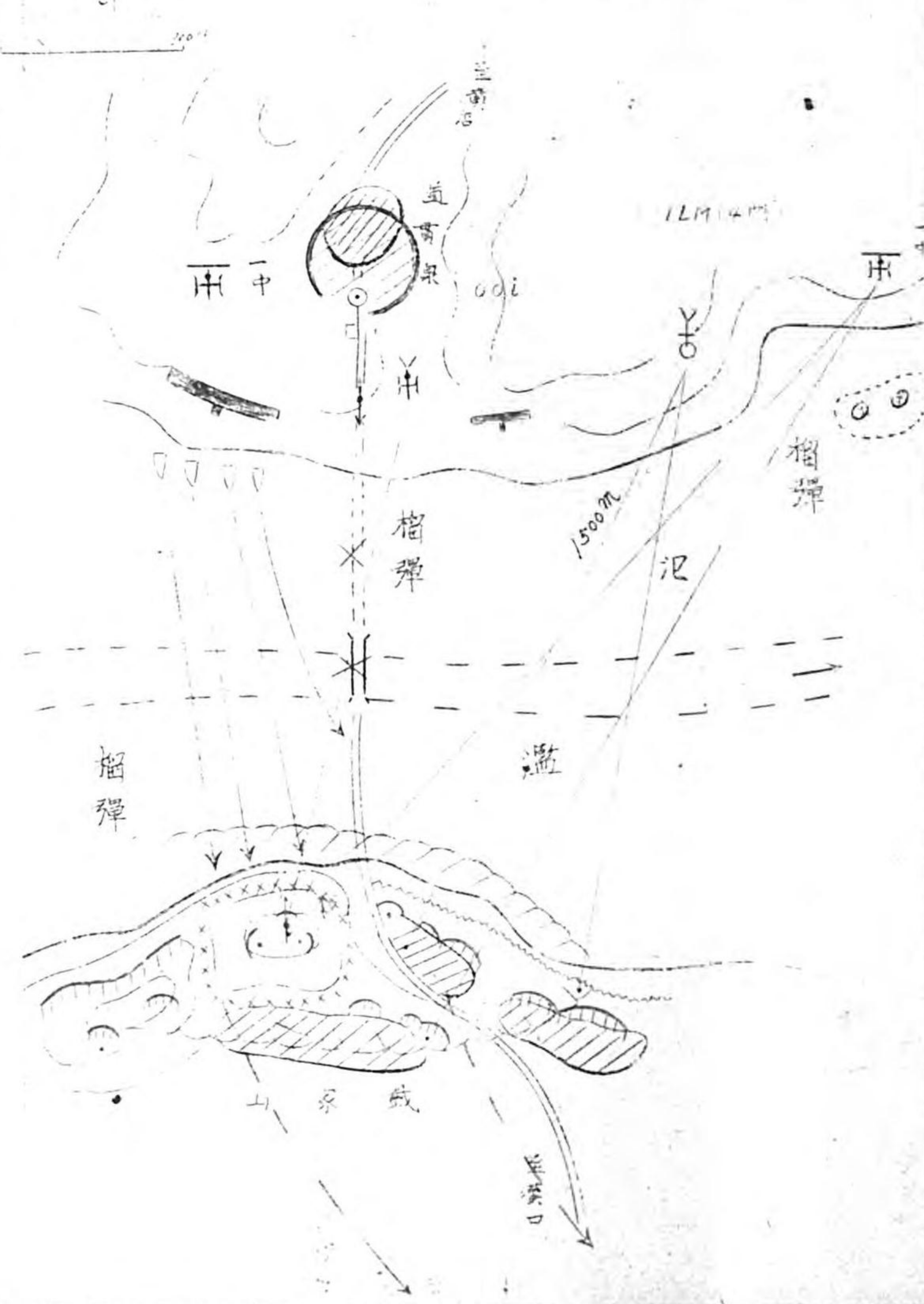
四九 迫撃砲ノあか弾射撃ニ依リ友軍ノ敵前渡河ヲ容易ナラシメタル例

漢口ニ向テ急進中ナル
十月二十五日十七時頃以來前進ヲ阻止セラル
LM1中
BA2中
ハ載家山附近ノ小要塞ニ據リ其ノ北側氾濫ヲ利用セル敵ノ

訓教	要能ノ過經 圖戰	況狀ノ殺一
榴彈ノ效果ヲ敵前渡河等に於テ特ニ然リ	<p>1 渡河ノ要領</p> <p>2 あか弾射撃</p> <p>3 氣象 濶渡開始 小雨</p> <p>榴彈射撃ニ依リ制壓シ得ザリシ敵ノ自動火器數銃ハあか弾ノ集中射撃ヲ受クルヤ射撃ヲ中止セリ</p> <p>此ノ機ニ乘シ第一線部隊ハ何等ノ損害ヲ受クルコトナク上陸ヲ敢行シ載家山ヲ占領セリ</p>	<p>1 榴彈射撃開始</p> <p>自一八四〇 R.A LM BA</p> <p>一至一八四〇 LM</p> <p>射距離 一五〇〇米</p> <p>東風 約四米</p>

載家山附近之戰鬥經過要圖

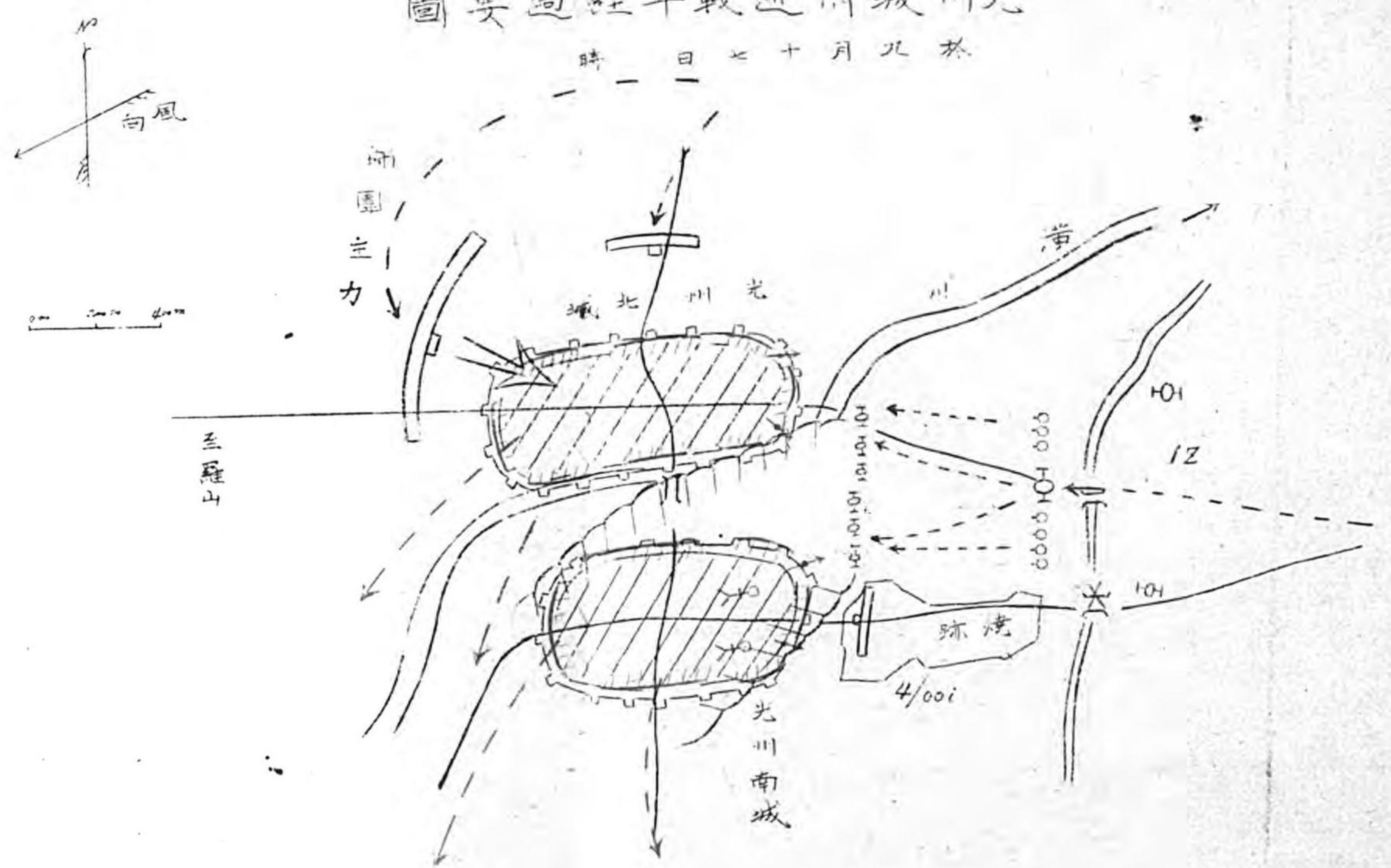
於十月二十五日十八時



訓	教	要 概 ノ 過 經 圖 戰	況 狀 ノ 般 一
ア リ	ニ 定 許 成 果 ハ 放 射 位 置 ノ 選 定 ヲ	一 ○ 閉 ノ シ 及 シ シ テ 家 屋 内 ニ 於 テ ○ 苦 シ テ 突 入 シ テ 毒 煙 ヲ 放 ス ル ハ 大 ニ 無 効 ナ リ	師 團 主 力 ハ 遠 ク 北 方 ニ 在 リ テ 西 北 方 ヨ リ 力 ヲ 使 フ ル ノ 由 リ 南 城 ヲ 攻 撃 セ リ
イ リ	一 放 射 位 置 ノ 選 定 ニ シ テ 氣 象 狀 況 ノ 良 好 ニ シ テ 放 射 機 械 ヲ 用 フ ル コ ト ヲ 得 ル コ ト ヲ 要 ス	二 ○ 閉 ノ シ 及 シ シ テ 家 屋 内 ニ 於 テ ○ 苦 シ テ 突 入 シ テ 毒 煙 ヲ 放 ス ル ハ 大 ニ 無 効 ナ リ	州 北 部 中 心 ハ 攻 略 シ テ 主 力 ヲ 集 メ テ 南 城 ヲ 攻 撃 セ リ
ウ リ	一 放 射 位 置 ノ 選 定 ニ シ テ 氣 象 狀 況 ノ 良 好 ニ シ テ 放 射 機 械 ヲ 用 フ ル コ ト ヲ 得 ル コ ト ヲ 要 ス	三 ○ 閉 ノ シ 及 シ シ テ 家 屋 内 ニ 於 テ ○ 苦 シ テ 突 入 シ テ 毒 煙 ヲ 放 ス ル ハ 大 ニ 無 効 ナ リ	師 團 主 力 ハ 遠 ク 北 方 ニ 在 リ テ 西 北 方 ヨ リ 力 ヲ 使 フ ル ノ 由 リ 南 城 ヲ 攻 撃 セ リ
エ リ	一 放 射 位 置 ノ 選 定 ニ シ テ 氣 象 狀 況 ノ 良 好 ニ シ テ 放 射 機 械 ヲ 用 フ ル コ ト ヲ 得 ル コ ト ヲ 要 ス	四 ○ 閉 ノ シ 及 シ シ テ 家 屋 内 ニ 於 テ ○ 苦 シ テ 突 入 シ テ 毒 煙 ヲ 放 ス ル ハ 大 ニ 無 効 ナ リ	州 北 部 中 心 ハ 攻 略 シ テ 主 力 ヲ 集 メ テ 南 城 ヲ 攻 撃 セ リ
オ リ	一 放 射 位 置 ノ 選 定 ニ シ テ 氣 象 狀 況 ノ 良 好 ニ シ テ 放 射 機 械 ヲ 用 フ ル コ ト ヲ 得 ル コ ト ヲ 要 ス	五 ○ 閉 ノ シ 及 シ シ テ 家 屋 内 ニ 於 テ ○ 苦 シ テ 突 入 シ テ 毒 煙 ヲ 放 ス ル ハ 大 ニ 無 効 ナ リ	師 團 主 力 ハ 遠 ク 北 方 ニ 在 リ テ 西 北 方 ヨ リ 力 ヲ 使 フ ル ノ 由 リ 南 城 ヲ 攻 撃 セ リ

光川城附近戰鬥經過要圖

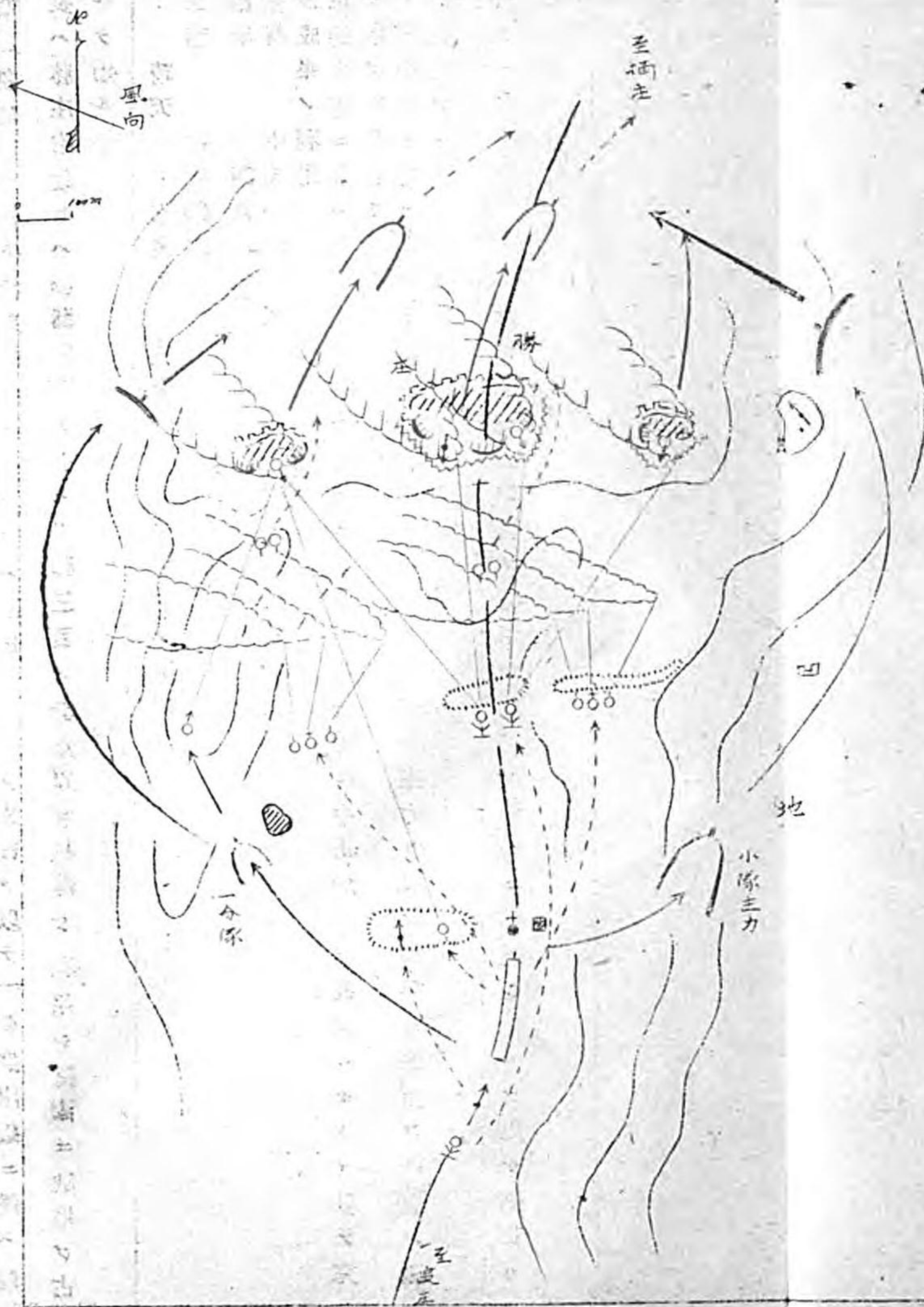
於此九月十七日



五ニ あか筒ヲ放射シテ城壁ノ攻撃ヲ容易ナラシメタル例

勝庄附近戰鬥經過要圖

於五月三日六時以降



訓練
村落ヲ堅固ニ占領セル敵ニ對シテハあか筒ヲ使用シ之ヲ村落外ニ驅逐シ主力ヲ以テ側背ヨリ包圍殲滅スルヲ要ス

要概ノ過經
一 氣象 晴天 約四〇〇米 南東風 三米 多少氣温ノ逆轉アリ
二 使用資材 中あか筒 三〇 發射發煙筒 一二
三 效果及成果ノ利用
四 理想的煙幕ニ蔽ハレテ投射隊ハ前方ニ進出シ急襲的ニ中あか筒ヲ投射シタルヲ以テ完
五 此ノ間小隊ハ巧ニ地形ト煙幕ヲ利用シテ敵ニ近接シ主力ヲ以テ煙外ニ逃走スル敵ノ側背ニ突入シテ之ヲ捕捉殲滅セリ

狀況ノ概
五月二日夜半勝庄附近ヲ經テ捕庄附近隘路口ニ突進シ敵主力ノ退路ヲ遮斷スベキ任務ヲ有
スル小隊(機關銃一挺便投射機二ノ屬ス)ハ三日拂曉其ノ先頭ヲ以テ一軒家附近ニ進ス時
小隊長ハ勝庄附近ニハ機關銃一ヲ有スル約三百ノ共產軍ガ村落ヲ利用シ堅固ニ陣地ヲ占
領シアルヲ知ル

五一
村落攻撃ニ於テあか筒及煙ト火力、白兵ノ密接ナル協調
トニヨリ敵ヲ捕捉殲滅シタル例

第七 敵ノ游撃戰ニ對スル自衛戰闘（例五四—五六）

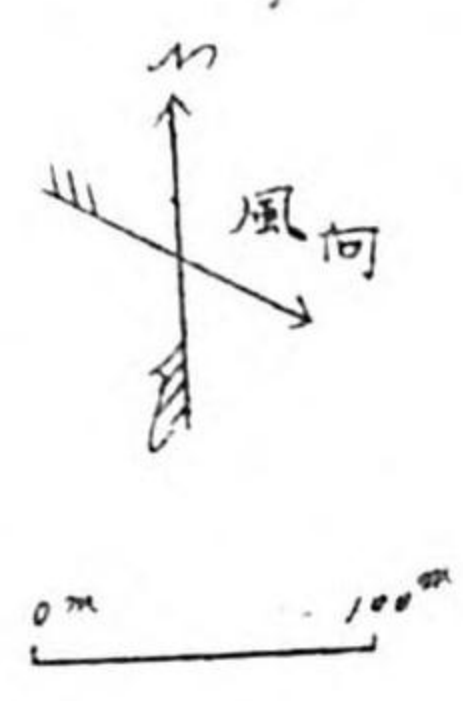
二四
 輸送部隊が少數ノあか筒ヲ巧ニ使用シテ優勢ナル
 敵ノ遊撃隊ヲ撃退シタル例

三月十七日〇九〇〇頃李家庄西方地區ノ前進中ナル自動車輸送隊（兵力小隊長以下二十五名LG=MW二自動貨車六）ハ敵遊撃隊約二〇〇ノ襲撃ヲ受ケタリ

一 氣象 北西風 二五米 大ナル上昇氣流ナシ
 二 使用資材 中あか筒 三 發射あか筒 九
 三 效果及成果利用
 敵ハ豫期セザル我が瓦斯攻撃ニ周章狼狽シテ潰走セリ
 小隊ハ一部ヲ以テ自動貨車ノ直接警戒ヲナスト共ニ主力ハ豫メ指示セル所ニ從ヒ掘斷
 協同ノ實ヲ發揮シ敵ニ多大ノ損害ヲ與ヘ任務ヲ達成セリ

一 敵ノ襲撃ヲ受ケタル場合發射あか筒ヲ以テ之ヲ急襲シ其ノ混亂ニ乘ジテ不利ナル態勢ヲ挽回スルヲ要ス
 二 自衛力少ナキ後方部隊ニ在リテハ常ニ若干ノ發射あか筒中（あか筒）ヲ準備シ豫メ敵ノ奇襲ニ對シ對應ノ處置ヲ講ジアルヲ要ス

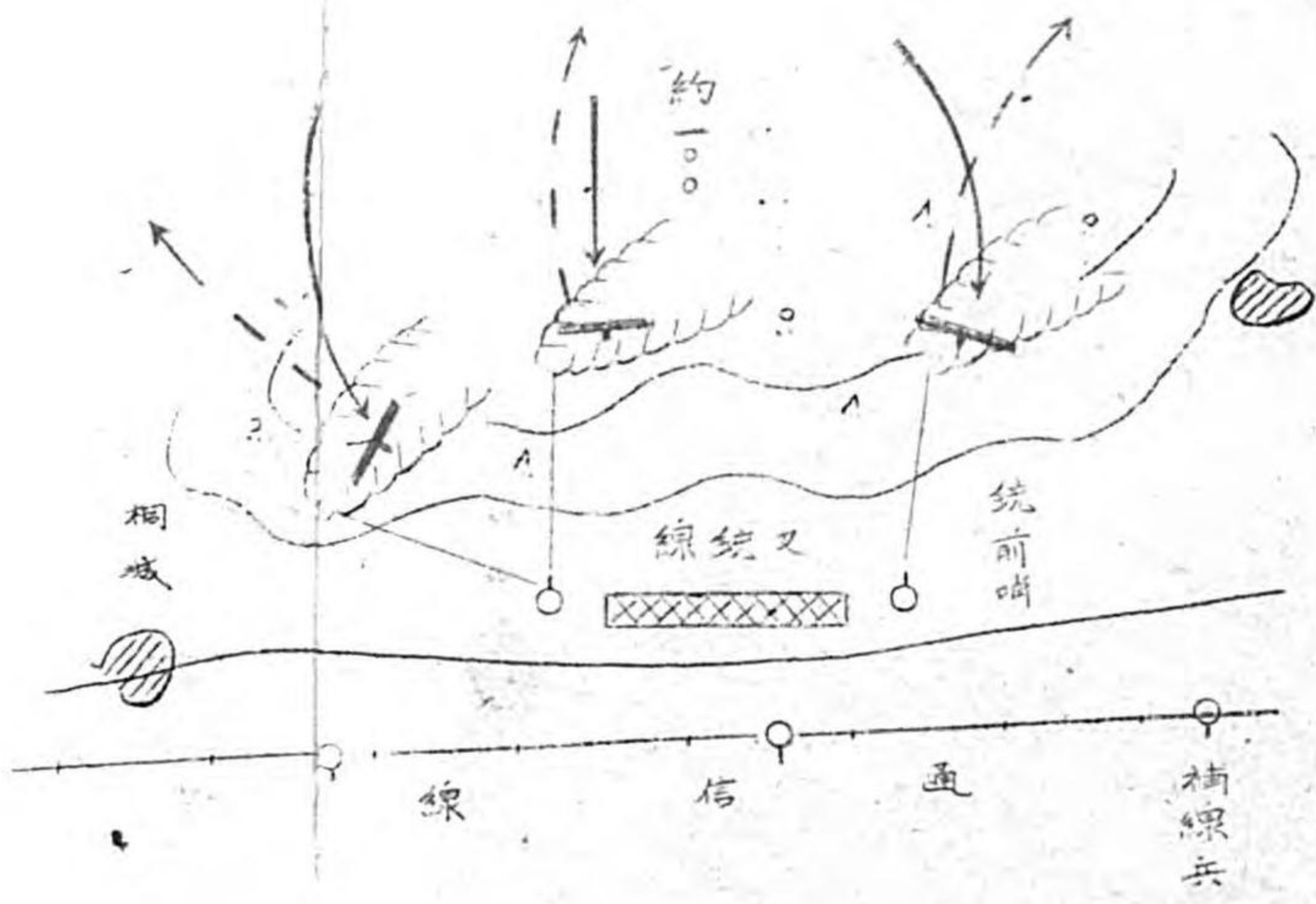
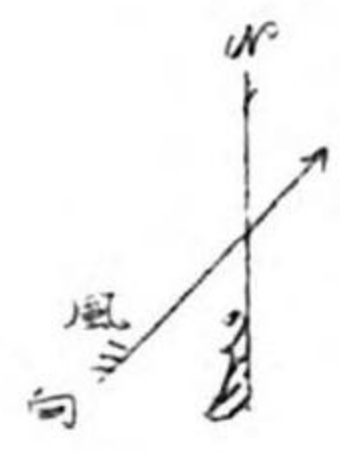
李家庄附近戰鬥經過要圖
 於三月十七日九時三十分



<p>軍通信隊ノ如ク獨立部 隊ハ往々敵ノ遊撃隊 ヲ往々受ケテ撃退スル 自衛ノ力ヲ失フコトヲ 要シテハ射撃ノ常ニ</p>	<p>軍通信隊ノ如ク獨立部 隊ハ往々敵ノ遊撃隊 ヲ往々受ケテ撃退スル 自衛ノ力ヲ失フコトヲ 要シテハ射撃ノ常ニ</p>	<p>一 氣 象 南 西 風 二 米 二 使 用 資 材 三 發 射 的 五 四 效 果 及 成 果 利 用 五 我 我 銃 前 哨 直 接 擊 ニ 發 射 的 無 防 護 使 用 シ タ ル 倉 庫 防 護 依 テ ナ ル 敵 小 隊 行 進 依 然 作 業 續 行 セ リ</p>	<p>一 敵 隊 中 心 部 隊 切 斷 二 修 作 業 中 意 義 不 大 三 信 息 傳 達 不 良 四 攻 撃 受 傷 者 多 数</p>
---	---	--	--

戰闘經過要圖

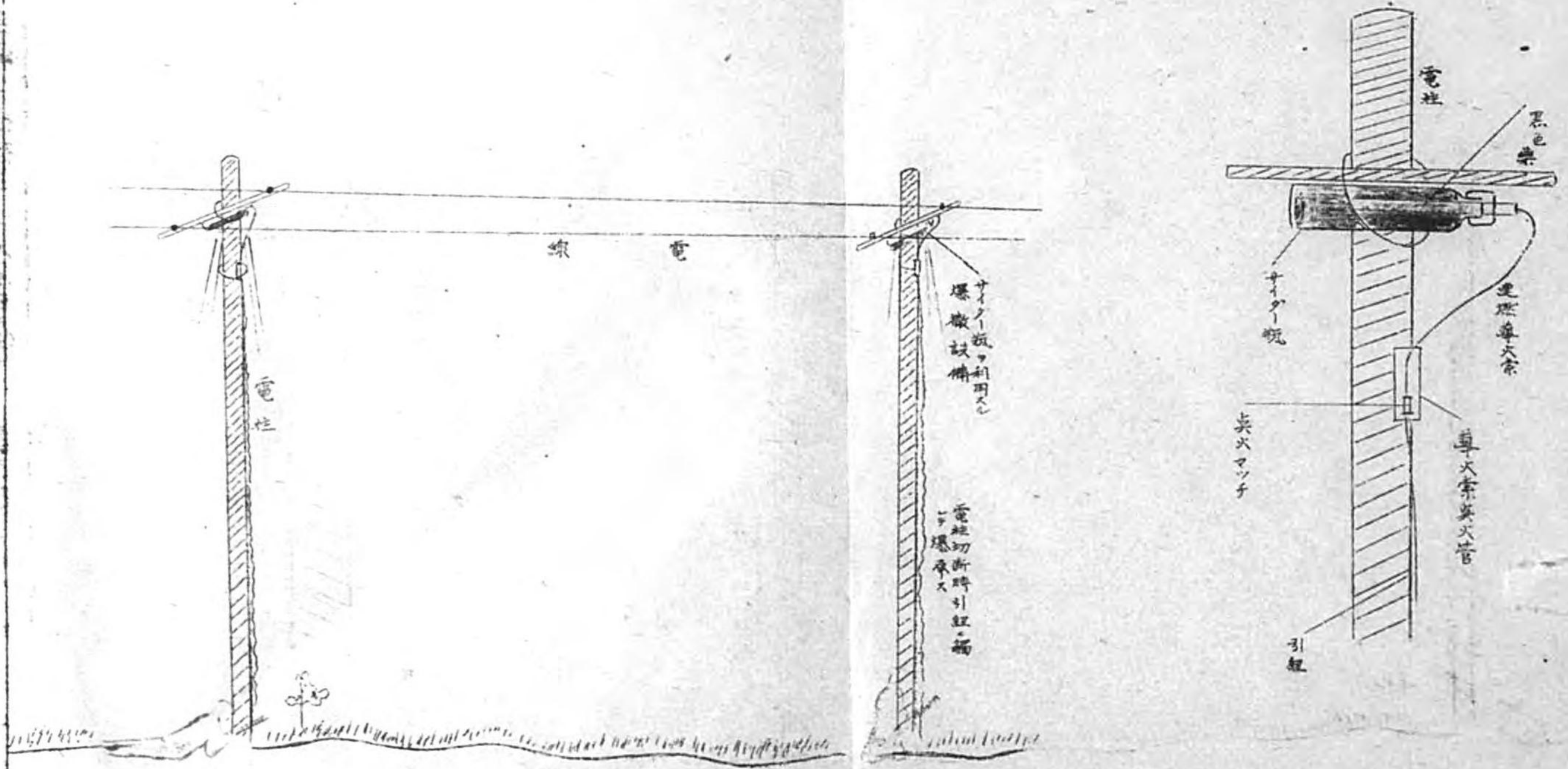
於八月二十九日十九時



三三
軍通信隊ノ銃前哨ヲ容易ナラシメタル例
シ通信線ノ補修ヲ容易ナラシメタル例

原因ノ要	訓練ノ要	教	要概ノ過経闘戦	状況ノ般一
<p>此ノ種爆撒設備ハ敵ノ潜入路附近ノ樹上又ハ地上等ニ巧ニ設置スレバ效果大ナルベシ</p>	<p>此ノ種爆撒設備ハ敵ノ潜入路附近ノ樹上又ハ地上等ニ巧ニ設置スレバ效果大ナルベシ</p>	<p>此ノ種爆撒設備ハ敵ノ潜入路附近ノ樹上又ハ地上等ニ巧ニ設置スレバ效果大ナルベシ</p>	<p>四月九日敵ハ暗夜ニ乘ジテ潛入シ毒ヲ電柱ヲ切斷中爆音ト同時ニ頭上ヨリ毒ヲ被リ周章狼狽シテ潰走シ爾來游撃隊ノ此ノ種ノ企圖ハ根絶セリ</p>	<p>其警備隊ニ於テ敵游撃隊ガ屢々我が電柱ヲ切斷スルヲ以テナイダー瓶ヲ利用スル應用爆撒ヲ設備セリ</p>

戰斗經過要圖



爆撒設備一例

きい劑ノ應用爆撒ニ依リ敵游撃隊ノ執拗ナル通信線破壞ノ企圖ヲ挫折セシメタル例

INTERNATIONAL PROSECUTION SECTION

Doc. No. 1914

Date 14 June 46

ANALYSIS OF DOCUMENTARY EVIDENCE

DESCRIPTION OF ATTACHED DOCUMENT

Title and Nature: "Examples of ~~the~~ Chemical Warfare in The China Incident," booklet published by NARASHINO Army School.

Date: not certain Original () Copy () Language: Japanese
(Stamped: Received 5 Dec 42)

Has it been translated? Yes () No ()

Has it been photostated? Yes () No ()

LOCATION OF ORIGINAL (also WITNESS if applicable)

Document Division

SOURCE OF ORIGINAL: SAGAMI Army Arsenal.

PERSONS IMPLICATED:

CRIMES TO WHICH DOCUMENT APPLICABLE:

Use of Poison Gas.

SUMMARY OF RELEVANT POINTS (with page references):

This book is a collection of examples of the use of ~~the~~ chemical warfare in the ~~the~~ China incident, especially in the "CHÜGEN Campaign." It was drafted by the NARASHINO Army School and ~~was~~ marked received by the Army Signal School (RIKUGUN - TSUSHIN - GAKKŌ) 5 Dec 1942.

Analyst: 2nd Lt. Wilde (over)

Doc. No.

Analyst's Note: According to General Ryuzichi 2
TANAKA, the term ~~red~~ "red" (AKA) signifies "choking
gas," ~~the word~~ and the term ~~yellow~~ "yellow" (KII)
signifies "blistering gas." KII

Summary of the introduction: The following are
characteristic examples of chemical warfare in the
China Incident. Illustrations are used as much
as possible in order that instruction in the use of
gas might be made easy. 3 Nov. 1942.

There are 56 pages, each containing an
example of use of poison gas. Each page is divided
into a sketch of the situation and three
columns of print. 1. General description, 2. Outline
of fighting; number of shells used, type etc. 3. Lesson
derived.

Page I, column 2: "The poison gas (DOKUGASU)
completely enveloped. . . , the greater part of
the enemy was in agony and groaned."

Page IV: The word DOKUGASU (Poison gas) is again
found.

The following is a list of pages, dates of battles,
month and day (years not given in text), area where
gas was used, and type of gas used if mentioned.
Pages giving no specific details are ~~omitted~~ omitted.

1914

Section I

Page	Date	Place	
1 1	Sept. 24	Tuitai	
2	Oct. 8	Yenlingshan	
3	Oct. 11	Chungshansen Chungshansen	Red Shells Note
4 5	May 8	Kuchiashan	
5 6	May 10	Machialing	
6 7	April 23	Tachukui	Red shells.
8	Nov. 6	Nanchinkuan	
9	Oct. 13	Denghsin	Red Shells.
10	June 3	Tachoucken	
11	July 7	Chuewo	
12	Sept. 28	Loshan	
13 14	Oct 2	Chen Chuang	
15	July 18	Chungfengchen	
16	Oct. 1	Hungshai	
17	March 3	Yanghuoshan	
18	May 1	Sanchichai	
19	June 1	Sanchiaoting	
20	Dec 30	Chenchiako	Yellow Chemicals.
22	Beginning of Feb.	Tahungti	
23	Feb. 13	Tungaiti	
24	May 30		Red Shells
25	Nov. 11		Red Shells

1914

4.Section II

Page	Date	Place	
24	Mar 30	Yektung	Red Shells
25	Nov 11	Wangchiawan	Red Shells

Sect III

26	Oct. 1	Hsientseu	Red Shells
27	Oct. 20	Changchiyen	Red Shell
28	Nov. 11	Hanwangchuan	Red Shells
29	Mar. 10	Chenchiaps	Red Shells
30	May 7	Fenghuoshan	Red Shells
31	Sept 18	Tachiaoling	

Section IV

32	Oct 16	Tsunghsu	Red Shells ^{Shells}
33	June 24	Chingshen	" "
34	Dec 22	Hsienghsun	" "
35	Sept. 25	Ke-tung	" "
36	Dec 22	Tang-chi	" "
37	May 3	Changchiachi	" "
38	June 12	Chenchiako	Yellow Chemicals
39	Dec 22	Hwangchiachuan	" "
40	Oct 7-11	Ni-chang	Yellow and Red

1914

5

Section ~~IV~~ V

41	May 9	Tang - Ho	Red Shells
42	May 26	Yieh - Chia - Shan	" "
43	May 5	Chiao - Shang	Poison gas
44	Oct 31	Chen - Tsung	Yellow Shells.

Sect VI

45	June 21	Kwan - Yin - Tang	Red Shells
46	Nov. 17	Niu - tao - Shan	" "
47	Sept. 16	Kwei - Shan	" "
48	May 19	Kao - Shan	" "
49	Oct. 25	Tai - Chia - Shan	" "
50	Feb 21 (?)	Shiu - Shui - Ho	" "
51	May 3	Shen - Chuan	Red and Smoke
52	Sept. 17	Kwan - Chow - Cheng	Red Shells
53	Feb. 22	Si - Yin - Tsung	" "

Sect VII

54	Mar. 17	Chi - Chia - Chuan	Red Shells
55	Aug. 29	Tung - Cheng	" "
56			Yellow Chemicals

SA 10066B

Sack No 2

Item # 31

1914

Y TASAKI

Secret

a

Collection of Chemical Warfare Examples

in

China Incident

Drafted at the NARASHINO ARMY School.

11505

ARMY Communication School
 Received
 1942. Dec. 5.
 No. 4168.

Campaign
 Chugan ~~Atsuta~~ ~~Atsuta~~

Table of Contents

(1) Discharge of "red-shells"

Examples

p. 1. An example discharging the shells in front position of enemy to facilitate the side attack of the main force

Fighting around 刘台, on Sept 24th

p. 2. An example causing the shells discharged on the side to facilitate the front attack of the main force.

Fighting around 岩岭山 on Oct 8th

p. 3. Use of "red-shells" against the enemy proceeded around "our" flank facilitating the attack on the front attack of the main force.

Fighting around 中山铺, on Oct 11th

p. 4-1. Rushing discharge of red-shells to achieve success in breaking a position in depth at once.

p. 4-2. Ditto

p. 5. Dropping the shells neutralized machine guns and facilitated breaking through the first line of a campaign.

Fighting around 贾家山, on May 8th

p. 6. "Red shells" dropped and neutralized the counter-attack and facilitated the attack of main force
Fighting around 馬家鎮, on May 10th.

p. 7. "Red shells" discharged by mountain guns scattered the enemy in a well-fortified place to trap and annihilate the enemy.

Fighting around 大聚會 on April 23rd.

p. 8. a case of discharge by field-guns

Fighting around 南津關 on Nov. 6th

p. 9. Discharge of red-shells and bombs on somewhat a large scale ^{by an independent division} to trap and annihilate enemy.

Fighting around 奉新 on Oct 13th.

p. 10. Use of red shells and bombs on somewhat a large scale during a mechanized fighting, to facilitate breaking through the enemy's campaign.

Fighting around 大洲鎮 on June 3rd.

p. 11. Success was won by dropping red shell on a large scale but the poison-gas ^(DOKUGASU) flowed against the friend and remained locally.

Fighting around 曲沃 on July 7.

p. 12 Mixed use of smoke shells and "red-shells"
led breaking through the center of enemy's
campaign.

Fighting around 羅山, Sept. 28th

p. 13. Mixed use of fire and smoke ^{by portion} in a clear way
to restrain and cheat the enemy and facilitate
the attack on ^{the} main force.

p. 14. Continuous use of small smoke shells to
facilitate passage of a bottle-neck in the
first line.

Fighting around 陳庄, on Oct 2nd.

p. 15 Advance in a valley avoiding casualties from
enemy's attack by causing artillery alternately
advanced by bounds.

Fighting around 董封鎮 on July 18th

p. 16 Insufficient result because of doubt on the
influence of the poisonous smoke.

Fighting around 洪砦, on Oct 1.

p. 17 Lack of local meteorological observation caused
the poison gas circulated beyond the target
to the failure of dropping shells.

Fighting around 楊火山, March 3rd.

p. 18. Because of the dropping corps not being sufficiently escorted, a side attack was made by enemy. the dropping was hindered.

Fighting around 孫家砦, on May 1st.

p. 19 Premature ignition due to insufficiency of communication respecting to the dropping shells
Fighting around 三橋亭 on June 1st.

p. 20 Key points poisoned by "Yellow-chemicals" causing serious damages to enemy.
Fighting around 陳家河 on Dec. 30th

p. 21. Communists base poisoned by "Yellow-chemicals" causing ^{them} annihilative damage.

Planning to smash Communist army in

p. 22 太行地 area, XX Division began attack from the beginning of February

p. 23 Freezing of "Yellow-chemicals" missed the chance of attack

Fighting around 東崖底 on Feb. 13th.

Section II pp 24/25 Engagements by Chance.

p. 24. a punitive expedition overcame a powerful enemy by the use of a few "red-shells"
Fighting around 野東, March 30th.

p. 25. Use of "red-shells" of a pursuing troop drove back the enemy with which it ~~had~~ encountered
Fighting around 王家湾 on Nov. 11th

Sect. III Night attacks pp. 26/28.

p. 26 Dropping of "Red-shells" afforded breaking through points in depth.
Fighting around 南坎嘴 on Oct. 1

p. 27 Dropping of "Red-shells" ^{suppressed} the enemy in side ways and facilitated night-attacks that in the front.

Fight around 張家岩 on Oct. 29th

p. 28 Sudden attack of officer-patrols approaching back of the enemy in the guise of night with "red-shells" to facilitate the attack of the main force.

Fighting around 行黃泉 on Nov. 11th.

p. 29. Dropping of "red-shells" in night-attack facilitated depriving the enemy's points.

Fighting around 陳家坡 on March 10th

p. 30 Night attack with the aid of "red-shells" dropped at the closest possible point of the enemy following the use of smoke bombs in a moon lit night.

Fighting around 風火山 on May 7th

p. 31. Improper selection of discharging position at night caused concentration of the enemy's fire and serious casualties on the part of the discharging troops

Fighting around 文橋嶺 on Sept. 18th

Sect. IV Defence

Part I. "Red" and smoke pp. 32 - 37.

Part II "Yellow" pp. 38 - 40.

p. 32 Trapping and annihilation of the enemy advanced stealthily between gaps of points by cooperation of "red-shell" dropping and by a close combatting. ✓

Fight around 粽子園 on Oct. 16th.

p. 33 An annihilative attack brought to home by causing "red-shells" dropped on the enemy sticking to the dead-angle in front of the position

Fighting around the position of 青山 on June 24th.

p. 34 Just a few drops of "red-shells" strengthened inferiority of the force holding for hours the position which finally resulted in nullifying the enemy's attempt to attack.

Fighting around 熊村 on Dec. 22nd

p. 35 A volley-firing of "Red-shells" by a small unit deadlocked the enveloping attack of superior force.

Fighting around 葛藤 on Sept 25th

p. 36 an outpost unit saved out of a siege by the use of "red shells"

Fighting around 崇溪 on Dec 22nd

p. 37 Interlinked use of "smoke shells" and small size "red-shells" achieved with a great result.

Fighting around 張家集 on May 3rd

p. 38 Application of "Yellow-chemicals" and its explosion sealed the key points of the enemy with a great result.

Fighting around 陳家河 on June 12th.

p. 39 Discharge of "Yellow-chemicals" silenced the artillery rampant at a sheltered point.

Fighting around 黃家庄 on Dec 22nd.

p. 40 Use of "Yellow and Red shells" on somewhat larger scale nullified the enveloping attack of the enemy.

Fighting around 宜昌 on 7th to 11th of Oct.

Sect. V Pursuing attack and disengagement

Part 1. "Red shells" pp. 41-43.

Part 2. "Yellow-shells" p. 44.

p. 41 Cavalry pursuit with discharge of "red-shells" trapped and annihilated the enemy.

Fighting around the bank of River 唐河.
on May 9th

p. 42 Discharge of "red-shells" resulted in rapid driving back of the enemy's covering troops, and trapped and annihilated the retreating force.

Fighting around 葉家 on May 26th

p. 43 Combined use of neutralizing and screening effect of poison gas facilitated the disengagement.

Fighting around the east side of 橋上 on May 5th

p. 44 Blockade with "Yellow-shells" on route to advancing enemy to facilitate evacuation of the troops.

Fighting around 鄭村 on Oct 31st

Sect VI Fighting in special topographical/position/

Part 1. Fighting in hilly districts. pp 45-47

Part 2. Fighting around rivers pp 48-50

Part 3. Fighting in inhabited districts. pp 51-53

Part 4. Fighting around caves. pp 53.

p. 45 Discharge of "Red-shells" utilizing characteristic feature of valley wind enabled capture of a steep hill point causing much damage to the enemy.

Battle around the elevated parts of 觀音堂
on June 21st

p. 46. Discharge of "Red-shells" utilizing characteristic feature of valley wind enabled to frustrated the enemy's attempt at ^{the} attack.

Fighting around 牛頭山 on Nov. 17th.

p. 47. "Red-shells" hanged down from a summit and brought an advancing enemy to a collapse.
Fighting around 龜山 on Sept 16th.

p. 48. Use of "red-shells" in a river-crossing attack
to trap and annihilate the enemy
fighting around 歌山 on May 19th

p. 49. Discharge of "red-shells" through mortar guns
facilitated river crossing.

Fighting around 戴家山 on Oct. 25th

p. 50 "Red shells and bombs" used on a large
scale and facilitated crossing of a river
in enemy's front

Fight around 修水河 on Feb 21(?)

p. 51 Combined use of Red-shells and smoke with
close collaboration with a close combat
unit successfully trapped and annihilated
the enemy

Fighting around 勝庄 on May 3rd.

p. 52. Dropping of "red-shells" facilitated the
attack of a castle

Fighting around "Castle 光州城"
on Sept. 17th.